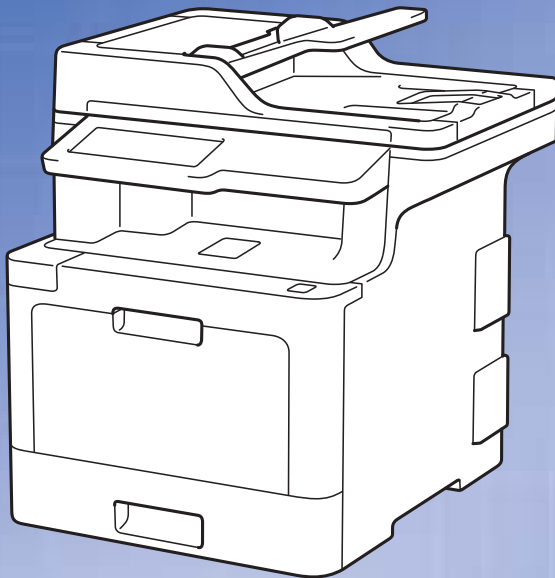


MFC-L8610CDW MFC-L9570CDW

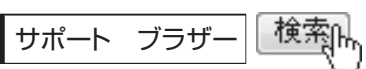
ユーザーズガイド応用編



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな? と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1  ユーザーズガイド基本編 第4章「困ったときには」で調べる

2  ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
support.brother.co.jp

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。
オンラインユーザー登録 ▶ <https://online.brother.co.jp>

全体にかかわる設定

ファクス送信

ファクス受信

転送・リモコン

レポート・リスト

USBダイレクトプリント

必要なときに
確認してほしいこと

目 次

目 次	2
本ガイドの表記	6
マークについて	6
商標について	7
編集ならびに出版における通告	7
第 1 章 全体にかかわる設定	8
用紙設定	8
機能に合わせて使用するトレイを選択する	8
電話回線設定	9
手動で回線種別を設定する	9
利用中の電話回線の種別を調べる	9
音量設定	10
着信音量を設定する	10
ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量&ブザー音量〕	10
スピーカー音量を設定する	10
省エネ設定	11
トナーを節約する〔トナー節約モード〕	11
静音モードを設定する	11
スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕	11
ディープスリープモードについて	11
自動電源オフを設定する	12
画面設定	13
画面の明るさを調整する	13
照明ダウタイマーを設定する	13
画面の表示言語を設定する〔日本語・English〕	13
日付・時刻設定	14
時計を合わせる〔時計セット〕	14
タイムゾーンを設定する	14
セキュリティ設定	16
セキュリティ機能の種類	16
使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック 3.0〕	17
Active Directory® 認証	21
LDAP 認証	22
IPsec	23
設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	23
ナンバー・ディスプレイ設定	26
ナンバー・ディスプレイサービスとは	26
ナンバー・ディスプレイを設定する	26
第 2 章 ファクス送信	27
便利な送信方法	27
通話後にファクスを送信する	27
他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕	27
同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕	27
原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕	29
海外へ送信する〔海外送信モード〕	30
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	30

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕.....	31
便利な送信設定.....	32
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する〔発信元登録〕....	32
発信元登録を消去する	33
送付書を付けて送信する	33
送付書のオリジナルコメントを登録する	33
送付書を印刷する	34
ファクス送信待ちを確認または解除する	34
宛先情報表示を設定する	34
画質を設定する	35
原稿濃度を設定する	35
ガラス面の読み取りサイズを設定する	36
両面原稿の読み取りを設定する (MFC-L9570CDW のみ)	36
変更したファクス送信設定を保持する	36
便利な宛名指定機能.....	37
電話帳から検索する	38
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕.....	38
自動再ダイヤルを設定する.....	38
ファクス誤送信防止機能 (ダイヤル制限) を設定する.....	40
IP ファクスの設定をする	41
IP ファクスを設定する	41
通信速度を設定する	41
特別設定について.....	42
特別回線対応を設定する	42
ダイヤルトーン検出の設定をする	42
現在の電話回線状態を確認する (電話回線診断).....	42
安心通信モードを設定する.....	43
外線番号を設定する	43
第 3 章 ファクス受信	44
さまざまな受信方法.....	44
メモリー代行受信について.....	45
メモリー受信を設定する (メモリー保持)	45
メモリーに保持したファクスを印刷する	45
電話呼び出し機能を設定する.....	46
呼び出し中にファクスを受信する	46
通話後にファクスを受信する.....	47
親切受信で受信する	47
本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕....	48
受信時の設定	49
受信スタンプを設定する	49
受信したファクスを両面印刷する	49
受信拒否設定をする	49
自動的に縮小して印刷する.....	50
第 4 章 転送・リモコン.....	51
ファクス転送機能.....	51
他の場所のファクシミリに転送する	51
ファクスをパソコンで受信する〔PC ファクス受信〕.....	52

外出先から本製品を操作する：リモコン機能	53
暗証番号を設定する	53
外出先から本製品を操作する	53
リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕	55
第5章 レポート・リスト	57
レポート・リストの種類	57
送信結果レポートを表示する	57
レポートの出力を設定する	59
送信結果レポートの出力を設定する	59
通信管理レポートの出力間隔を設定する	59
第6章 USBダイレクトプリント	60
フォルダー構成やデータの一覧を印刷する	60
操作パネルから印刷の設定をする	61
第7章 必要なときに確認してほしいこと	62
色合いや色ずれを補正する	62
色補正	62
色ずれ補正	62
定期色ずれ補正	62
文字を入力する	63
入力画面例 (MFC-L8610CDW)	63
ひらがな / カタカナの文字の割り当て (MFC-L8610CDW)	64
機能ボタンの使いかた (MFC-L8610CDW)	64
入力例 (MFC-L8610CDW)	65
入力できる文字 (MFC-L9570CDW)	65
文字の入力方法 (MFC-L9570CDW)	66
入力制限 (入力できる文字の種類や文字数)	67
用紙のこと	68
用紙の印刷可能範囲	68
原稿のこと	69
原稿サイズ	69
原稿の読み取り範囲	69
製品情報	70
製品情報の確認 / 印刷	70
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします	72
設定機能の初期化	73
初期化とは	73
初期化のしかた	75
オプション	76
増設用紙トレイ (LT-330CL (MFC-L8610CDW) / LT-330CL、 LT-340CL (MFC-L9570CDW))	76
機能一覧 (MFC-L8610CDW)	77
【メニュー】 ボタン	77
【全てメニュー】 ボタン	78
【ファクス】 ボタン	99

【コピー】 ボタン	102
【スキャン】 ボタン	114
その他の機能	134
機能一覧 (MFC-L9570CDW)	140
【全てメニュー】 ボタン	140
【ファクス】 ボタン	160
【コピー】 ボタン	163
【スキャン】 ボタン	175
その他の機能	196
本製品の仕様	204
基本設定	204
原稿サイズ	206
用紙仕様	207
ファクス	208
コピー	209
スキャナー	209
プリンター	210
インターフェイス	210
ネットワーク	211
ダイレクトプリント	212
消耗品	212
Wi-Fi® 認証について	215
簡単無線 LAN 設定	215
停電がおきたときは	215
動作環境	216
索 引	217

本ガイドの表記

本製品の外観のイラストは、MFC-L9570CDWを代表で使用しています。
本製品のタッチパネルのイラストは、MFC-L8610CDWを代表で使用しています。

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
！ 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
 注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
 補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
⇒ XXX ページ 「XXX」	参照先を記載しています。(XXX はページ、参照先)
【XXX】	本製品の画面内の表示を表しています。
[XXX]	パソコン上の表示を表しています。

商標について

BROTHERは、ブラザー工業株式会社の商標または登録商標です。
Windows、Windows Server、OneNote、OneDriveおよびActive Directoryは、米国Microsoft Corporationの米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。
Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
macOSおよびAirPrintは、Apple Inc.の商標です。
Google Drive、Google クラウド プリントは、米国Google Inc.の商標です。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。
Nuance、PaperPortは、米国およびその他の国におけるNuance Communications, Inc. およびその子会社の商標または登録商標です。
FlickrはYahoo! Inc.の商標または登録商標です。
EvernoteはEvernote Corporationの登録商標であり、使用許諾を得て使用しています。
Intelは、Intel Corporationの商標です。
Wi-Fi、Wi-Fi DirectおよびWi-Fi Allianceは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
Wi-Fi Protected SetupおよびWi-Fi Protected Setupのロゴは、Wi-Fi Alliance®の商標です。
各ガイドに製品名が記載されている各ソフトウェアの開発会社は、著作プログラムに特定したソフトウェアライセンス契約を有します。
ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2017 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

用紙設定

機能に合わせて使用するトレイを選択する

機能によって使用するトレイを設定することができます。給紙するトレイに優先順位を付ける場合は、【A > B】を選択するとAトレイ、Bトレイの順に用紙を給紙します。

機能の種類	内容	操作
コピー	コピーするときに使用する用紙トレイを選択します。 - 原稿台ガラスからコピーする場合 優先順位を付けている場合、優先されるトレイに用紙がなくなったときは自動的に優先順位の高いトレイから給紙されます。 - ADF からコピーする場合 原稿サイズが A4 の場合、優先順位に関係なく A4 が設定されているトレイから給紙されます。	【トレイ選択：コピー】
ファクス	受信したファクスを印刷するときに使用する用紙トレイを選択します。 用紙が用紙トレイにない場合 【用紙を送れません】が表示されて印刷することができなくなります。⇒ユーザズガイド 基本編を参照してください。	【トレイ選択：ファクス】
プリンター	パソコンに接続してプリンターとして使用するときの用紙トレイを選択します。 設定した内容とプリンタードライバーの用紙トレイの設定が一致していない場合 プリンタードライバーの設定が優先されます。 ただし、プリンタードライバーの設定が【自動選択】の場合に本製品で【用紙トレイ #1 のみ】、【多目的トレイのみ】、【用紙トレイ #2 のみ】、【用紙トレイ #3 のみ】、【用紙トレイ #4 のみ】※が設定されているときは、これらのトレイが優先されます。	【トレイ選択：プリント】

※：MFC-L9570CDW のみ

1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【用紙トレイ設定】 を押した後、設定する内容を選ぶ

表の「操作」を参照してください。

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

補足

MFC-L8610CDWをご使用の場合、 → 【トレイ設定】を順に押しても設定できます。

2 用紙トレイを選ぶ

3  を押す

電話回線設定

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【回線種別設定】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 回線種別を選ぶ

回線種別の詳細については、⇒9ページ「利用中の電話回線の種別を調べる」を参照してください。

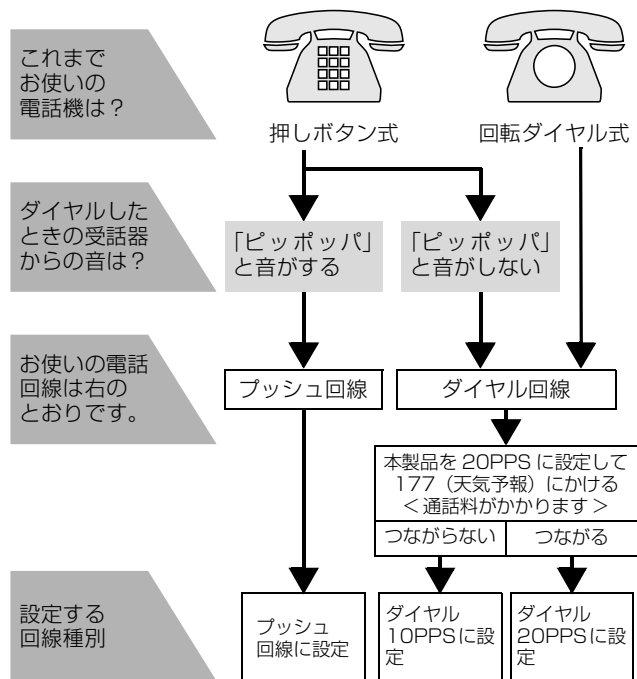
3 を押す

補足

- プッシュ回線または ISDN回線をお使いの場合は、【プッシュ回線】を選択してください。
- ひかり電話をお使いの場合は【プッシュ回線】を選択してください。
- 設定を誤ると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルーター、IPフォンアダプターなど）に本製品を接続する場合、本製品の回線種別設定は、電話会社と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、以下の手順で調べることができます。もし、分からないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。



補足

- 構内交換機（PBX）など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- 一度自動設定すると、電源を入れ直しても、再度回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定を変更してください。

音量設定

着信音量を設定する

呼び出しベルの音量を調節します。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【音量】 → 【着信音量】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 音量を選ぶ

- 3  を押す

ボタン確認音量を設定する 〔ボタン確認音量&ブザー音量〕

ボタン確認音（ダイヤルボタンなどを押したときに鳴る音）やブザー音（間違った操作をしたとき、紙づまりなど本製品に異常が起きたとき、ファクス送受信が終了したときに鳴る音）の音量を調節します。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【音量】 → 【ボタン確認音量】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 音量を選ぶ

- 3  を押す

補足

【切】（ボタン確認音なし）を選んでも、本製品に異常が起きたときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえる場合の音量を調節します。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【音量】 → 【スピーカー音量】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 音量を選ぶ

- 3  を押す

省エネ設定

トナーを節約する〔トナー節約モード〕

トナーを節約したいときは、トナー節約モードを【オン】に設定します。【オン】に設定すると印字が薄くなります。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【省エネモード】 → 【トナー節約モード】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【オン】を押す

- 3  を押す

静音モードを設定する

静音モードは、本製品の印刷時の動作音を静かにすることができます。静音モードが【オン】のときは、印字速度が遅くなります。

お買い上げ時の初期設定は、【オフ】に設定されています。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【省エネモード】 → 【静音モード】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【オン】を押す

- 3  を押す

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、ファクスの送受信には影響ありません。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【省エネモード】 → 【スリープモード】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 画面に表示されているテンキー、または操作パネルのダイヤル（数字）ボタンでスリープモードになるまでの時間を指定する
分単位で指定します。

- 3 【OK】を押す

- 4  を押す

補足

- 設定できる時間は、最大50分です。
- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために多少時間がかかります。

ディープスリープモードについて

本製品がスリープモードの場合、一定の時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われないと、自動的にディープスリープモードに切り替わります。ディープスリープモードでは、スリープモードより少ない消費電力となり、画面が消えてが点滅します。タッチパネルを押すか、パソコンからのデータ受信、ファクス受信をすると、自動的に起動します。

自動電源オフを設定する

本製品がディープスリープモードの状態です。一定の時間が経過すると、自動的に電源をオフにすることができます。

自動で電源がオフになった状態から本製品を起動するには、を押して電源をオンにします。

ディープスリープモードから自動的に電源をオフにするまでの時間を選択することができます。

お買い上げ時の初期設定は、【オフ】に設定されています。

補足

【無線LAN有効】が【オン】になっている場合、もしくは【セキュリティ印刷】に印刷データがある場合は、自動電源オフ機能は使用できません。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【省エネモード】 → 【自動電源オフ】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 自動的に電源をオフにするまでの時間を選ぶ

- 3  を押す

画面設定

画面の明るさを調整する

画面が見えにくいときは、明るさを調整します。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【画面の明るさ】 → 【画面の明るさ】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 明るさを選ぶ

- 3  を押す

照明ダウタイマーを設定する

画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定できます。(暗くなっても画面の表示は確認できます。) お買い上げ時の設定は【30秒】に設定されています。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【画面の明るさ】 → 【照明ダウタイマー】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 時間を選ぶ

- 3  を押す

画面の表示言語を設定する 〔日本語・English〕

画面に表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。
お買い上げ時の設定は、日本語表示です。

英語表示に切り替える

英語による説明を以下に示します。
This setting allows you to change LCD language to English.

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【表示言語設定】 を押す
(Press  ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【表示言語設定】)

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。
(For MFC-L9570CDW, start from 【全てのメニュー】)

- 2 【English】 を押す
(Press 【English】)

- 3  を押す
(Press 

日本語表示に切り替える

- 1  ※ → 【All Settings】 → 【Initial Setup】 → 【Local Language】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【All Settings】からの操作になります。

- 2 【日本語】 を押す

- 3  を押す

日付・時刻設定

時計を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は画面に表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がされていれば相手側の用紙にも日付と時刻が印刷されます。

日付を合わせる

- ＜MFC-L8610CDWの場合＞
 →  → 【日付】を押す

＜MFC-L9570CDWの場合＞
 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【時計セット】 → 【日付】を押す
- 以下の手順で日付を設定する

 - 年号（西暦の下2桁）を入力 → 【OK】
 例：2017 年の場合は【1】、【7】を入力
 - 月（2桁）を入力 → 【OK】
 例：8月の場合は【0】、【8】を入力
 - 日付（2桁）を入力 → 【OK】
 例：21日の場合は【2】、【1】を入力
-  を押す

時刻を合わせる

- ＜MFC-L8610CDWの場合＞
 →  → 【時刻】を押す

＜MFC-L9570CDWの場合＞
 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【時計セット】 → 【時刻】を押す
 - 時刻（24 時間制）を入力して【OK】を押す
 例：午後 3 時 5 分の場合は【1】、【5】、【0】、【5】を入力
 -  を押す
- 補足**
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1 ヶ月おきに合わせてください。
 - 60 時間以上停電した場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

タイムゾーンを設定する

お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、世界標準時間との時差になります。
 （例：日本は、UTC+09:00）
 ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。

- ＜MFC-L8610CDWの場合＞
 →  → 【タイムゾーン】を押す

＜MFC-L9570CDWの場合＞
 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【時計セット】 → 【タイムゾーン】を押す
- タイムゾーンを入力して【OK】を押す
-  を押す

補足

- UTC（協定世界時）
GMT（グリニッジ標準時）とほぼ同じ時刻ですが、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な世界標準時刻のことで、1972年1月1日より使用されています。
- お使いのウェブブラウザを使用して設定することもできます。詳しくは⇒[ユーザーズガイド](#) パソコン活用&ネットワークを参照してください。

セキュリティ設定

パスワードを登録して利用できる機能をユーザーごとに制限したり、設定変更を制限したりすることができます。

セキュリティ機能の種類

本製品のセキュリティ機能は以下の2種類があります。使用を制限したい内容に合わせて種類を選択してください。

補足

- パスワードが登録済みの場合、再登録の必要はありません。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

機能	対象	制限・設定できる内容	参照
セキュリティ機能ロック3.0	登録したユーザー(200人まで)または一般ユーザー	使用できる機能を制限 ・ファクス送信 ・ファクス受信 ・コピー ・スキャン※¹ ・USB ダイレクトプリント ・スキャン to (USB) ・印刷※² ・カラープリント ・クラウド接続 ・印刷枚数 ・ページカウンター ・カード ID (NFC ID) ※³ ・お役立ちツール	⇒17ページ「使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック3.0〕」
セキュリティ設定ロック	すべてのユーザー	 メニューボタン (MFC-L8610CDW) または  全てのメニュー (MFC-L9570CDW) の設定変更を制限	⇒23ページ「設定変更でできる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕」

※¹ : Brother iPrint&Scan を経由するスキャンジョブも含まれます。

※² : AirPrint、Google クラウド プリント™、Brother iPrint&Scan を経由する印刷ジョブも含まれます。Google クラウド プリント、Brother iPrint&Scan は一般モードの設定が適用されます。

※³ : MFC-L9570CDW のみ

使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック3.0〕

管理者が「ユーザー名」と「パスワード」を登録してユーザーに割り振り、使用できる機能をユーザーごとに制限することができます。セキュリティ機能ロックは、初期の設定や使用制限管理をネットワーク上のパソコンから行うため、本製品もネットワークに接続されている必要があります。ご利用になる場合は、本製品をいったんネットワークに接続してください。

セキュリティ機能ロック3.0の設定やユーザー登録は、BRAdmin Professional (Windows®のみ) やウェブブラウザを使用して行います。詳しい操作方法は、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

設定後は、本製品の操作パネルでユーザーを切り替えることができます。

(MFC-L9570CDWのみ)

カードをNFCセンサー部にタッチすることで、ユーザーを切り替えることができます。

補足

- 管理者だけが各ユーザーの機能ロックのオン/オフ、制限管理、変更を行えます。設定または変更するには、管理者パスワードが必要です。パスワードを忘れた場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
- セキュリティ機能ロックを利用する場合は、個別ユーザー以外の一般ユーザー用に、「一般モード」の使用制限を設定してください。
- セキュリティ機能ロックがオンの場合でも、【ファクス画質/両面ファクス/原稿濃度/同報送信/タイマー送信/リアルタイム送信/送付書/海外送信モード/原稿台スキャンサイズ】は設定できます。ただし、ファクス送信が制限されている場合は、すべてのファクス設定がロックされます。
- ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、受信ファクスはメモリーに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、蓄積されたファクスを印刷するか確認するメッセージが表示されます。

セキュリティ機能ロックを使用する前に

ネットワーク上のパソコンでウェブブラウザを起動し、セキュリティ機能ロックの設定画面を表示させます。

補足

ここで設定するパスワードは、本製品の設定画面を表示するためのものです。セキュリティ機能ロックの管理者パスワードではありません。

1 本製品のIPアドレスを調べる

設定には、本製品のIPアドレス情報が必要です。あらかじめ、【ネットワーク設定リスト】を印刷して、IPアドレスをご確認ください。⇒57ページ「レポート・リストの種類」

2 パソコンでウェブブラウザを起動する

3 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

例：192.168.1.2の場合は、
「http://192.168.1.2/」と入力します。

4 [ログイン] に管理者パスワードを入力し、[→] をクリックする

はじめて設定画面を表示したときは、ここでパスワードを設定します。
⇒18ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面をはじめて表示したときは」



セキュリティ機能ロックの設定画面をはじめて表示したときは

パスワードを設定してください。

- 1 [パスワードを設定してください] をクリックする
- 2 [新しいパスワードの入力] にパスワードを入力する
8～32文字まで入力できます。
- 3 [新しいパスワードの確認] に、パスワードをもう一度入力する
- 4 [OK] をクリックする

セキュリティ機能ロックをオン/オフにする

セキュリティ機能ロックをオンにすると、一般モードが有効になります。個別ユーザーの設定を有効にするには、⇒20ページ「ユーザーを切り替える」を参照してください。

1 [管理者設定] タブの [制限機能] をクリックする

2 [セキュリティ機能ロック] を選択する

3 [OK] をクリックする

補足

セキュリティ機能ロックがオンに設定されると、ホーム画面の左上にセキュリティ機能ロックのアイコンが表示されます。



セキュリティ機能ロックを設定する

一般モードとグループの制限機能を設定します。グループを個々のユーザーに割り当てることで各ユーザーの機能制限が可能となります。各ユーザーにはパスワードとカードID (NFC ID) ※を登録してください。

セキュリティ機能ロックを有効にすると、個別のユーザーに切り替えない限り、本製品は常時一般モードとなります。

※ MFC-L9570CDWのみ

1 [管理者設定] タブの [機能制限] をクリックする

2 [ユーザーリスト/機能制限] にグループ名またはユーザー名を入力する 15文字まで入力できます。

機能制限									
この画面ではユーザーごとに機能利用許可/禁止を設定することができます。機能制限画面									
ユーザーリスト/機能制限	機能								
	印刷	コピー	スキャン	ファックス 送信 受信	USBダイレクト ダイレクトプリント	スキャン アップロード	クラウド接続 ダウンロード		
一般モード	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
1	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
2	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
3	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
4	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
5	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
6	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒

3 [一般モード] で使用制限したい機能のチェックを外す

一般モードは、本製品を使用するときにパスワード入力が必要としないモードです。

4 このグループまたはユーザーで使用制限したい機能のチェックを外す

印刷できるページ枚数を制限するには、[枚数制限] の [オン] にチェックを入れて、[最大ページ数] に枚数を入力します。

5 必要に応じて、手順2～4を繰り返し、他のグループまたはユーザーを登録する

6 画面下部の【OK】をクリックする

7 【ユーザーリスト】をクリックする

8 【ユーザーリスト】に、ユーザー名を入力する
20文字まで入力できます。

ユーザーリスト

ユーザーリスト欄にPCログイン名を入力してください。PCから印刷する際に、PCログイン名によってユーザー認証し

	ユーザーリスト	パスワード	カードID	ユーザーリスト機能制限
1				...
2				...
3				...
4				...
5				...
6				...

9 【パスワード】に、このユーザー用のパスワードを4桁の数字で入力する

10 (MFC-L9570CDWのみ)
【カードID】に、カード番号を入力する
0～9の数字とA～Fの文字の中から16桁まで入力できます。

11 【ユーザーリスト/機能制限】のドロップダウンリストから、手順2で設定したグループを選択する

12 必要に応じて、手順8～11を繰り返し、他のユーザーを登録する

13 画面下部の【OK】をクリックして登録を終了する

カード認証するユーザーを登録する (MFC-L9570CDWのみ)

カード認証するユーザーを登録する前に、機能制限を設定します。⇒18ページ「セキュリティ機能ロックを設定する」を参照してください。

1 ホーム画面で、個別ユーザーに切り替える

⇒20ページ「ユーザーを切り替える」を参照してください。

2  を押す
XXXXXXは現在の個別ユーザーの登録名です。

3 【カード情報を登録する】を押す

4 カードを NFC センサー部にタッチする

5 【OK】を押す

補足

- カードID (NFC ID)を変更するには、手順4で新しいカードをNFCセンサー部にタッチしてください。
- ケースやカバーをご使用の場合は、タッチをしても反応しない場合があります。その場合は、ケースやカバーをはずしてからご使用ください。

ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックがオンのときに、登録されている個別のユーザーが本製品を使用できるように切り替えます。

1 ホーム画面の【一般モード】または【XXXXX】を押す

2 【ユーザー切替】を押す

3 切り替えたいユーザーを選ぶ

4 このユーザー用に設定されたパスワードを入力して、【OK】を押す

補足

- 一般モードに戻るには、 を押し、【一般モードへ切替】を押します。
- 個別のユーザーが本製品を使用した後、一般モードに戻さず放置しても、1分後に自動で一般モードに戻ります。

NFCセンサー部を使用してユーザーを切り替える (MFC-L9570CDWのみ)

1  を押す

2 カードを NFC センサー部にタッチする

補足

- 本製品が一般モードの場合や他のユーザーで使用できる状態の場合でも、カードを NFC センサー部にタッチすることで、ユーザーを切り替えることができます。
- ケースやカバーをご使用の場合は、タッチをしても反応しない場合があります。その場合は、ケースやカバーをはずしてからご使用ください。

Active Directory®認証

Active Directory® 認証機能を有効にすることにより、本製品の使用を制限することができます。Active Directory®認証が有効に設定されている場合、操作パネルがロックされます。本製品を使用するには、ユーザーID、パスワードを入力し、認証を行う必要があります。

認証に成功すると以下の機能が実行されます。

- メモリーに蓄積された印刷データまたは受信ファクスを印刷する
- スキャンデータをEメールで送信するためのEメールアドレスを、LDAPサーバーから取得する

Active Directory®認証は、BRAAdmin Professional (Windows® のみ)、またはウェブブラウザを経由して設定することができます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

Active Directory®認証をオン/オフにする

1 パソコンでウェブブラウザを起動する

2 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

例：192.168.1.2の場合は、
「http://192.168.1.2/」と入力します。

3 [管理者設定] タブの [制限機能] をクリックする

4 [Active Directory認証] または [オフ] を選択する

5 [OK] をクリックする

補足

- Active Directory®認証を利用するには、Active Directory®サーバーの設定が必要です。
- Active Directory®サーバー設定後に操作パネルロックが有効になります。

LDAP認証

LDAP認証機能を有効にすることにより、本製品の使用を制限することができます。LDAP 認証が有効に設定されている場合、操作パネルがロックされます。本製品を使用するにはユーザー ID、パスワードを入力し、認証を行う必要があります。

- メモリーに蓄積された印刷データまたは受信ファクスを印刷する
- スキャンデータをEメールで送信するためのEメールアドレスを、LDAPサーバーから取得する

LDAP 認証は、BRAdmin Professional (Windows® のみ)、またはウェブブラウザを経由して設定することができます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

LDAP認証をオン/オフにする

1 パソコンでウェブブラウザを起動する

2 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

例：192.168.1.2の場合は、
「http://192.168.1.2/」と入力します。

3 [管理者設定] タブの [制限機能] をクリックする

4 [LDAP認証] または [オフ] を選択する

5 [OK] をクリックする

補足

- LDAP 認証を利用するには、LDAPサーバーの設定が必要です。
- LDAPサーバーとLDAP検索設定後に操作パネルロックが有効になります。

IPsec

IPsec (Internet Protocol Security) は、IP プロトコルのオプション機能で、IP パケット単位でデータの改ざん防止や、秘匿機能を提供するセキュリティプロトコルです。本機能はネットワーク上をいかにデータ、例えばパソコンからプリンターに送られる印刷データ等を、IPsec を使用して暗号化します。ネットワーク層で暗号化を行うため、その上位のプロトコルを利用するアプリケーションソフトは、IPsec を意識する必要なく IPsec を利用することができます。

IPsec は次の機能をサポートしています。

- IPsec 送受信
- IPsec 設定

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕

セキュリティ設定ロック機能の設定の流れを説明します。

補足

セキュリティ設定ロックが設定されている場合でも、各モードボタンから一時的に設定変更することは可能です。また、ウェブブラウザを使用して設定することもできます。

STEP 1 パスワードを登録する

セキュリティ設定ロックを管理するためのパスワードを登録します。

⇒ 24 ページ「パスワードを登録する」

STEP 2 設定をオンにする

セキュリティ設定ロックを有効にします。

⇒ 24 ページ「セキュリティ設定ロックをオンにする」

パスワードを登録する

MFC-L8610CDWの場合

- 1  → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【セキュリティ設定ロック】を押す
- 2 以下の手順でパスワードを入力する
 - 1 パスワード（4桁）を入力 → 【OK】
 - 2 再度パスワードを入力 → 【OK】
- 3  を押す

MFC-L9570CDWの場合

- 1  【管理者メニュー】 → 【ログインパスワード設定】を押す
- 2 以下の手順でパスワードを入力する
 - 1 パスワード（8～32文字）を入力 → 【OK】
 - 2 再度パスワードを入力 → 【OK】
- 3 画面に従って設定をする
- 4  を押す

セキュリティ設定ロックをオンにする

MFC-L8610CDWの場合

- 1  → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【セキュリティ設定ロック】 → 【ロック オフ⇒オン】を押す
- 2 パスワード（4桁）を入力して、【OK】を押す

MFC-L9570CDWの場合

- 1  【管理者メニュー】を押す

補足

このパスワードは他の【管理者メニュー】の機能やウェブブラウザのログインでも有効です。

- 2 パスワード（8～32文字）を入力して、【OK】を押す
- 3 【制限管理】 → 【セキュリティ設定ロック】 → 【オン】を押す
- 4 画面に従って設定をする
- 5  を押す

パスワードを変更する

MFC-L8610CDWの場合

1  → 【全てのメニュー】 → 【基本設定】 → 【セキュリティ設定ロック】 → 【パスワード設定】 を押す

2 以下の手順でパスワードを変更する
 1 現在のパスワード（4桁）を入力 → 【OK】
 2 新しいパスワード（4桁）を入力 → 【OK】
 3 再度新しいパスワードを入力 → 【OK】

3  を押す

MFC-L9570CDWの場合

1  【管理者メニュー】 を押す

2 パスワード（8～32文字）を入力して、【OK】 を押す

3 【ログインパスワード設定】 を押す

4 以下の手順でパスワードを変更する
 1 現在のパスワード（8～32文字）を入力 → 【OK】
 2 新しいパスワード（8～32文字）を入力 → 【OK】
 3 再度新しいパスワードを入力 → 【OK】

5  を押す

セキュリティ設定ロックをオフにする

MFC-L8610CDWの場合

1 ホーム画面の  を押す

2 パスワード（4桁）を入力して、【OK】 を押す

MFC-L9570CDWの場合

1  【管理者メニュー】 を押す

2 パスワード（8～32文字）を入力して、【OK】 を押す

3 【制限管理】 → 【セキュリティ設定ロック】 → 【オフ】 を押す

ナンバー・ディスプレイ設定

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に画面に表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。

本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- **電話番号表示機能**
電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。
- **名前表示機能**
電話帳に名前が登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前と電話番号が画面に表示されます。
- **着信履歴機能**
電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。(30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。)
着信履歴の電話番号を電話帳に登録する方法は、⇒ユーザーズガイド 基本編「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」を参照してください。

補足

- 本製品はキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
- IP電話を利用されているときは、VoIPアダプター（IP電話対応機器）の設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイサービスを利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。⇒安全にお使いいただくためにを参照してください。
- 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバー・ディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

電話番号の表示方法は以下の中から選択できます。

- **【オン】**
本体の画面に相手の電話番号または名前が表示されます。
- **【オフ】**
相手の電話番号または名前が表示されません。
- **【外付け電話優先】**
本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

1 ※→【全てのメニュー】→【ファクス】→【ナンバーディスプレイ】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 電話番号の表示方法を選ぶ

3 を押す

注意

【外付け電話優先】で使用する場合、本製品の受信モードを【F/T=自動切換え】に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

補足

- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社との契約が必要です。契約していない場合は【オフ】にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【オン】、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオフにしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【外付け電話優先】、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオンにしてください。
- 【外付け電話優先】に設定した場合、着信履歴は本製品に残りません。

便利な送信方法

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後にファクスを送信します。

- 1
相手先のファクシミリのスタートボタンを押してもらう
- 2
原稿をセットして、【ファクス】→【オンフック】→【スタート】→【送信】を押す
- 3
本製品に接続されている電話機の受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む【デュアルアクセス】

ファクスの送受信や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、画面には新しいジョブ番号が表示されます。

補足

ファクスを手動で送信しているときや、リアルタイム送信時は、次に送りたいファクス原稿の読み込みができません。

同じ原稿を数か所に送信する【同報送信】

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されている電話帳、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大50か所、電話帳、グループダイヤルと合わせて最大350か所まで指定できます）。

補足

同報送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

- 1
原稿をセットする
- 2
【ファクス】を押す
みただけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。
- 3
【ファクス送信】を押す
- 4
【設定変更】→【同報送信】を押す
- 5
【番号追加】を押す
- 6
番号の入力方法を選択する
【手動入力】 / 【電話帳から選択】 / 【検索して選択】から選びます。

【手動入力】を選んだ場合**7 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す**

- 次の相手先を選ぶ場合
⇒手順5へ
- すべての相手先を選び終わった場合
⇒手順8へ

【電話帳から選択】を選んだ場合**7 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す****補足**

グループダイヤルで相手先を指定する場合には、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド基本編 第2章の「グループダイヤルを登録する」を参照してください。

- 次の相手先を選ぶ場合
⇒手順5へ
- すべての相手先を選び終わった場合
⇒手順8へ

【検索して選択】を選んだ場合**7 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭頭文字で可）を入力して【OK】を押す、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ**

- 次の相手先を選ぶ場合
⇒手順5へ
- すべての相手先を選び終わった場合
⇒手順8へ

8 送信する相手先を確認し、【OK】※を押す

※：MFC-L9570CDWはを押します。

9 【スタート】を押す

ADFに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？ /はい/いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順11へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順10へ

10 【はい】を押す、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順11に進みます。

11 【いいえ】を押す

すべての相手先を送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

補足

- 送信途中でキャンセルするには、を押してからを押してください。画面に送信先をキャンセルするかどうかを確認するメッセージが表示されるので、画面の表示に従ってください。
- 送信先を間違えたときは、を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によって制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、重複した相手先が自動的に削除されます。
- 原稿読み込み中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら、【中止する】またはを押して中止してください。原稿が複数枚の場合は、【読み取り分送信】を押して読み込まれた分だけ送信することもできます。

原稿を読み取りながら送信する 【リアルタイム送信】

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。
ここで変更した設定は、ファクス送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。⇒36ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

補足

リアルタイム送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】→【リアルタイム送信】を押す

5 リアルタイム送信の設定を選ぶ

- ・【オン】：リアルタイム送信で送ります。
- ・【オフ】：通常の送信で送ります。

6 【OK】※を押す

※：MFC-L9570CDW は【OK】が表示されません。次の手順に進んでください。

7 相手のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

補足

- リアルタイム送信を【オン】に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- リアルタイム送信が【オン】に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。
- 原稿台ガラスから送信する場合、原稿は1枚しか送信できません。
- 原稿台ガラスから送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- リアルタイム送信が【オフ】に設定されていても、メモリーがいっぱいになるとリアルタイム送信されます。
- IP ファクスを使ってリアルタイム送信はできません。データコネクト設定のIPファクスが【専用】、または【優先】の場合、メモリー送信となります。詳しくは、⇒41ページ「IPファクスの設定をする」を参照してください。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを【オン】に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 原稿をセットする

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】→【海外送信モード】→【オン】→【OK】※を押す

※：MFC-L9570CDW は【OK】が表示されません。次の手順に進んでください。

5 相手先のファクス番号を入力する

6 【スタート】を押す

ファクスが送られます。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信することができます。

補足

タイマー送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】→【タイマー送信】→【タイマー送信】→【オン】→【指定時刻】を押す

5 送信時刻を入力して、【OK】を押す

送信時刻は、24時間制で入力します。
午後3時5分の場合は【1】、【5】、【0】、【5】と入力します。

6 【OK】※を押す

※：MFC-L9570CDW は【OK】が表示されません。次の手順に進んでください。

7 相手のファクス番号を入力する

ファクス番号を入力するか、【電話帳】または【履歴】から相手先を選ぶ

- ・【電話帳】の場合は、相手先を選択し【送信先に設定】を押します。
- ・【履歴】の場合は、発信履歴または着信履歴から相手先を選択し【送信先に設定】を押します。

8 【スタート】を押す

ADFに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？ /はい/いいえ】と表示されます。

- ・送る原稿が1枚の場合⇒手順10へ
- ・送る原稿が複数枚の場合⇒手順9へ

9 【はい】 を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】 を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順10に進みます。

10 【いいえ】 を押す

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果が確認できます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、5 分おきに3回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が【オン】に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。リアルタイム送信を【オフ】に設定してください。
⇒29ページ「原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕」を参照してください。
- 電源をOFFにした状態が60時間を超えると、タイマー送信設定（送信時刻）とともにファクスデータ（タイマー送信データ）がメモリーから消去されることがあります。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1 回の通信で設定された時間に送信することができます。

1 ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【送信設定】 → 【とりまとめ送信】 を押す

※ :MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 【オン】 を押す

3 を押す

便利な送信設定

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の用紙の先頭に印刷されます。

2017/08/21 15:25 03XXXXXXXX ブラザー 太郎 ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

- 1**  ※ → **【全てのメニュー】** → **【初期設定】**
→ **【発信元登録】** を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2** 以下の手順で発信元を登録する
- 1 **【ファクス】** → ファクス番号を入力 → **【OK】**
 - 2 **【電話】** → 電話番号を入力 → **【OK】**
 - 3 **【名前】** → 名前を入力 → **【OK】**

補足

- ファクス番号と電話番号は、20桁まで登録できます。カッコ【()】、ハイフン【-】は登録できません。
- 名前は20文字まで登録できます。
- 電話とファクスを同一回線（1番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号が同じ番号になりますのでファクス番号を入力してください。

- 3**  を押す

補足

- リモートセットアップ機能を利用すると、パソコンから発信元を登録することもできます。詳しくは⇒ ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ 63 ページ「文字を入力する」を参照してください。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については⇒ 33 ページ「送付書を付けて送信する」を参照してください。

発信元登録を消去する

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【発信元登録】 → 【ファクス】を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2  (1文字ずつ削除) → 【OK】を押す

補足

 を押し続けると、一括削除もできます。

- 3  を押す

送付書を付けて送信する

ここで変更した設定は、ファクス送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。⇒36ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

注意

発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと送付書送信の設定ができません。⇒32ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する〔発信元登録〕」を参照してください。

- 1 原稿をセットする

- 2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

- 3 【ファクス送信】を押す

- 4 【設定変更】 → 【送付書】 → 【送付書設定】 → 【オン】を押す

- 5 【送付書コメント】を押す

- 6 送付書のコメントを選択する

- 7 【枚数】を押す

- 8 送信枚数を入力して【OK】を押す

- 9  を押して、【OK】※を押す

※ : MFC-L9570CDW は【OK】が表示されません。次の手順に進んでください。

- 10 宛先を指定して、【スタート】を押す

補足

- オリジナルコメントの登録のしかたは⇒33ページ「送付書のオリジナルコメントを登録する」を参照してください。
- 送付書の「TO:」の名前は、あらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。⇒ユーザズガイド 基本編「電話帳の基本」を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

オリジナルコメントを作成し、送付書のコメントとして登録することができます。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【送信設定】 → 【送付書設定】 → 【送付書コメント】を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 以下の手順でコメントを登録する

- 1 コメントを登録する番号(5または6)を選択
- 2 コメントを入力 → 【OK】

補足

コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては⇒63ページ「文字を入力する」を参照してください。

- 3  を押す

送付書を印刷する

送付書のプリントサンプルを出力することができます。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【送信設定】 → 【送付書設定】 → 【印刷サンプル】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【はい】 を押す

- 3  を押す

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除することができます。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【通信待ち一覧】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 解除する内容を選択して、【停止】を押す

確認のみのときは  を押します。

- 3 解除するときは【はい】を押す
解除を中止するときは【いいえ】を押します。

- 4  を押す

補足

送信待ちのファクスがないときには【通信待ちはありません】と表示されます。

宛先情報表示を設定する

ファクス送信中、画面に相手先のFAX番号の表示を設定することができます。

- 【表示】：
画面に相手先の情報を表示する
- 【非表示】：
画面に相手先の情報を表示しない

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【送信設定】 → 【送信先表示】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【表示】 を押す

表示させたくない場合は、【非表示】を選択します。

- 3  を押す

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

画質は以下の中から選択できます。

- ・【標準】（標準モード）：
大きくはっきり見える文字のとき
- ・【ファイン】（ファインモード）：
小さい文字のとき
- ・【スーパーファイン】（スーパーファインモード）：
新聞のように細かい文字のとき
- ・【写真】（写真モード）：
写真を含む原稿のとき

補足

- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードで送信しても、相手側のファクシミリに標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると【標準】に戻ります。設定を保持することもできます。⇒36ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

1 原稿をセットする

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】→【ファクス画質】を選択する

5 画質を選んで【OK】※を押す

※：MFC-L9570CDW は【OK】が表示されません。次の手順に進んでください。

6 宛先を指定して、【スタート】を押す

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更して、ファクスを送信することができます。

原稿濃度は以下の中から選択できます。

- ・【自動】：
普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- ・【濃く】：
えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。
- ・【薄く】：
濃い色の原稿が多い場合に設定します。

ここで変更した設定は、ファクス送信が終わると【自動】に戻ります。設定を保持することもできます。⇒36ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

1 原稿をセットする

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】→【原稿濃度】を選択する

5 原稿濃度を選んで【OK】※を押す

※：MFC-L9570CDW は【OK】が表示されません。次の手順に進んでください。

6 宛先を指定して、【スタート】を押す

ガラス面の読み取りサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスを送るとき、読み取りサイズをあらかじめ設定しておくことができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。⇒ 36 ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

1 原稿をセットする

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】→【原稿台スキャンサイズ】を選択する

5 読み取りサイズを選んで【OK】※を押す

※：MFC-L9570CDW は【OK】が表示されません。次の手順に進んでください。

6 宛先を指定して、【スタート】を押す

両面原稿の読み取りを設定する (MFC-L9570CDWのみ)

両面原稿をファクス送信する場合の読み取り方向を設定することができます。

【オフ】 / 【両面スキャン：長辺と同じ原稿】 / 【両面スキャン：短辺と同じ原稿】 から選択します。

1 ADFに原稿をセットする

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

3 【ファクス送信】を押す

4 【設定変更】→【両面ファクス】を選択する

5 原稿のと同じ方向を選ぶ

6 宛先を指定して、【スタート】を押す

変更したファクス送信設定を保持する

以下のファクス送信設定を変更して保持することができます。

- ・ファクス画質 ⇒ 35 ページ「画質を設定する」
- ・原稿濃度 ⇒ 35 ページ「原稿濃度を設定する」
- ・原稿台スキャンサイズ ⇒ 36 ページ「ガラス面の読み取りサイズを設定する」
- ・リアルタイム送信 ⇒ 29 ページ「原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕」
- ・送付書 ⇒ 33 ページ「送付書を付けて送信する」
- ・海外送信モード ⇒ 30 ページ「海外へ送信する〔海外送信モード〕」

ここで変更された設定内容は、次回ファクス送信するときにも有効です。

1 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順3に進んでください。

2 【ファクス送信】を押す

3 【設定変更】を押す

4 【ファクス画質】、【原稿濃度】、【原稿台スキャンサイズ】、【リアルタイム送信】、【送付書】、【海外送信モード】を選択し、変更が必要な設定を変更し、確認する

5 【設定を保持する】を押す

【はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を押す

現在の設定が初期値として登録されます。

7 を押す

便利な宛名指定機能

宛先を指定するには以下の方法があります。

指定方法	詳細	準備しておくこと	参照
ダイヤルボタン	入力した番号に送信します。	—	⇒ユーザーズガイド 基本編「まずは使ってみましょう」
電話帳	電話帳に登録されている番号に送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」	⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳を使用する」
	電話帳に登録されている名前の読みがわからず番号を指定して送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」	⇒38ページ「電話帳から検索する」
	本製品がLDAPサーバー※と接続されている場合は、LDAPサーバー電話帳に登録されている情報を指定して送信します。	—	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
再ダイヤル	同じ相手にもう一度送信します。	—	⇒38ページ「同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕」
自動再ダイヤル	相手先が通話中などでファクス送信できないときは、5分おきに3回まで自動で再ダイヤルします。	—	⇒38ページ「自動再ダイヤルを設定する」

※ MFC-L8610CDW は、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

注意

ボタンを押し間違えたときは、必ず  を押し、消去してから再度送信先を入力してください。

電話帳から検索する

電話帳またはLDAPサーバーに登録した番号は、登録した名前の読みがなで検索することができます。検索のしかたは以下のとおりです。

1 原稿をセットする

2 【ファクス】→【電話帳】→を押す

3 検索したい名前の読みがなの最初の文字を入力→【OK】を押す

入力した文字から始まる名前が50音順およびアルファベット順に表示されます。LDAPサーバーから検索された場合、検索された順に表示されます。

4 表示されたリストから相手先を選ぶ

5 【送信先に設定】を押す

6 【スタート】を押す

補足

- 電話帳やグループダイヤルの登録のしかたについては⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」を参照してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたについては⇒57ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- 本製品が LDAP サーバーと接続されている場合に、LDAP サーバー電話帳を検索することができます。MFC-L8610CDWは、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒63ページ「文字を入力する」を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する 〔再ダイヤル〕

1 原稿をセットする

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は手順4に進んでください。

3 【ファクス送信】を押す

4 【再ダイヤル】を押して、最後にかけた番号が表示された後【スタート】を押す

※：MFC-L8610CDWは【オンフック】を押してから【再ダイヤル】を押します。

自動再ダイヤルを設定する

相手先が通話中などでファクス送信できなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。設定は以下の中から選択できます。

- 【オン】：
5分おきに3回まで自動で再ダイヤルを行います。お買い上げ時は【オン】に設定されています。
- 【オフ】：
自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。

1 ※→【全てのメニュー】→【ファクス】→【送信設定】→【自動再ダイヤル】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 【オン】を押す

3 を押す

補足

- 相手先を誤ってファクス送信すると、間違った相手を何度も呼び出すことになります。正しい番号であるか確認してください。
- 自動再ダイヤルでも送信できなかったときは、送信を中止し、送信結果レポートが印刷されます。「結果」の欄が「エラー」または「話し中」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
- 原稿台ガラスからリアルタイム送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの「受信が正しく行われたメッセージ」信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する

ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように、ダイヤル発信を制限することができます。

制限するダイヤルと制限内容は以下のとおりです。

制限の種類	操作
直接入力	 ※ ¹ →【全てのメニュー】→【ファクス】→【ダイヤル制限機能】→【直接入力】
電話帳	 ※ ¹ →【全てのメニュー】→【ファクス】→【ダイヤル制限機能】→【電話帳】
ショートカット	 ※ ¹ →【全てのメニュー】→【ファクス】→【ダイヤル制限機能】→【ショートカット】
LDAPサーバー※ ²	 ※ ¹ →【全てのメニュー】→【ファクス】→【ダイヤル制限機能】→【LDAPサーバー】

※¹：MFC-L9570CDW は【全てのメニュー】からの操作になります。

※²：MFC-L8610CDW は、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合にメニューが表示されます。

制限の設定は以下の中から選択できます。

- 【オフ】：
通常のファクス送信を行います。
- 【2度入力】：
ファクス番号の再入力が必要で、正しい番号を入力した場合にのみ、ファクス送信を行います。間違った番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
- 【オン】：
ファクス送信を禁止します。

注意

- 本製品に接続されている電話機では、ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）設定は働きません。
- 直接入力が【オン】に設定されている場合は、ダイヤルボタンを使用した直接入力、およびオンフック機能を使用したダイヤルボタン入力はできません。
- 外付け電話使用時や<オンフック>を押してからダイヤルする場合は、「2度入力」設定はできません。
- 【オン】または【2度入力】に設定すると、同報送信は使用できません。

IPファクスの設定をする

次世代ネットワーク（NGN）でIPファクスを使用する場合、データコネクトの設定を変更する必要があります。

補足

ウェブブラウザを使用して設定することもできます。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

IPファクスを設定する

IPファクスの設定は、以下の中から選択できます。

- ・【専用】：
ファクス送信がIPファクスのみとなります。ただし、手動送信の場合は、通常のファクス送信になります。
- ・【優先】：
相手先がIPファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
- ・【オフ】：
通常のファクス送信のみとなります。
お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

- 1  ※→【全てのメニュー】→
【ファクス】→【データコネクト設定】
→【IPファクス】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 設定を選択する

- 3  を押す

補足

IPファクスを使用する場合、TCP/IPのIP取得方法を【Auto】または【DHCP】に設定してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

通信速度を設定する

通信速度は、以下の中から選択できます。

- ・【自動】：
お買い上げ時は、【自動】に設定されています。
- ・【標準】：64kbps
- ・【高速】：512kbps
- ・【最高速】：1000kbps

- 1  ※→【全てのメニュー】→
【ファクス】→【データコネクト設定】
→【通信速度】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 通信速度を選択する

- 3  を押す

補足

各通信速度の利用料金については、NTTのホームページでご確認ください。

データコネクトとは

お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュアで安定した帯域確保型データ通信を実現するサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトでIPファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

注意

データコネクトは、NTTのフレッツ 光ネクストを契約している場合のみ利用できます。

補足

- データコネクトの設定は、設定内容リストで確認することができます。⇒57ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- 「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT東日本/NTT西日本のサービスです。

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに、使用している回線を特定して設定を行ってください。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【特別回線対応】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 回線を選ぶ

- 3  を押す

補足

【PBX】に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が【オフ】になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度【オン】にすると、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

本製品を構内交換機（PBX）やIP電話アダプターに接続していると、発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】にしてください。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【ダイヤルトーン設定】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 設定を選ぶ

- 3  を押す

現在の電話回線状態を確認する（電話回線診断）

本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。

- 1 用紙を用紙トレイにセットする

- 2  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【電話回線診断】 を押す

画面に【電話回線の接続状況を診断し 結果を印刷します 診断を開始しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 3 【はい】を押す

回線診断が始まります。診断は、回線接続チェック→外付電話接続チェック→ダイヤルトーンチェック→回線種別チェックの順に行われます。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線で、ファクスをより確実に送受信したいときに設定します。

【高速】→【標準】→【安心（VoIP）】の順で送受信時間は遅くなりますが、【標準】または【安心（VoIP）】に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。

1 ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【安心通信モード】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 設定を選択する

3 を押す

補足

- IPフォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを4つ）を付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様にご利用になっている電話会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、以下のような多くの要素があります。
 - ・ 通信回線の品質
 - ・ 信号レベル
 - ・ 通信相手機の影響
 - ・ 屋内線の配線や接続している機器の影響

本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

外線番号を設定する

構内交換機（PBX）などを利用している電話回線的环境下、外線発信するときに必要な外線（識別）番号をあらかじめ登録しておくことができます。外線番号を押してからダイヤルしたり、外線番号を付けて電話帳に登録したりする必要がなくなります。外線番号を必要としない場合は、登録しないでください。

1 ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 → 【外線番号】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 【オン】 → 【外線番号】 を押す

3 あらかじめ登録するダイヤルの内容を設定して、【OK】を押す

- ・ 登録できる番号は最大5桁です。
- ・ 【0】～【9】、【*】、【#】、【!】が登録できます。

4 を押す

補足

- 【!】は、単独でしか使用できません。（他の数字、記号と組み合わせることはできません。）
- PCファクス送信時は、PCファクスの外線番号の設定が優先されます。
- ダイヤル10PPS、ダイヤル20PPS回線をご利用の場合は【*】、【#】を登録できません。

さまざまな受信方法

ファクス受信には大きく分けて2つの方法があります。

- ・ 自動的に受信：一度設定すると、受信時の操作は必要ありません。
- ・ 手動で受信：受信時に本製品、または本製品に接続されている電話機を操作する必要があります。

以下の表を参考に受信方法を選択してください。

受信方法			内容	参照
自動的に 受信	自動受信	本体から用紙に印刷	設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にファクスを受信し、印刷します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「受信モードの種類」
	メモリー代行受信	本体のメモリーで受信	自動受信を設定しているときでも、用紙がないなど印刷できない場合には、自動的にメモリーに受信します。	⇒45ページ「メモリー代行受信について」
	メモリー受信		受信したファクスをメモリーに蓄積します。あとから印刷したり、外出先から取り出したりすることができます。	⇒45ページ「メモリー受信を設定する（メモリー保持）」 ⇒45ページ「メモリーに保持したファクスを印刷する」 ⇒56ページ「外出先からファクスを取り出す」
	電話呼び出し受信		受信したファクスをメモリーに蓄積して、登録しておいた電話番号に自動的にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。	⇒46ページ「電話呼び出し機能を設定する」
手動で受信	呼び出し中 受信	本製品の操作で受信	呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、本製品を操作してファクスを受信します。	⇒46ページ「呼び出し中にファクスを受信する」
		電話機のリモート操作で受信〔リモート受信〕	呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、電話機からのリモート操作でファクスを受信します。	⇒46ページ「呼び出し中にファクスを受信する」 ⇒48ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」
	通話後受信	本製品の操作で受信	相手と通話した後に本製品を操作してファクスを受信します。	⇒47ページ「通話後にファクスを受信する」
		電話機のリモート操作で受信〔リモート受信〕	相手と通話した後に本製品に接続されている電話機からのリモート操作でファクスを受信します。	⇒47ページ「通話後にファクスを受信する」 ⇒48ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」
	親切受信	電話機の受話器を取って受信	本製品に接続されている電話機の受話器を取ったとき相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま約7秒待つと自動的にファクスを受信することができます。	⇒47ページ「親切受信で受信する」

メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに蓄積します。

- カバーが開いているとき：
【カバーが開いています】※
- 用紙がなくなったとき：
【用紙を送れません】※
- トナーがなくなったとき：
【トナーを交換してください】※
- 用紙がつまったとき：
【紙詰まり XXXX】※
- 用紙のサイズを間違ってセットしたとき：
【用紙サイズが合いません】※

画面の指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

※ 状況に応じて画面に表示されるエラーメッセージです。

注意

メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信できません。

メモリー受信を設定する（メモリー保持）

メモリー受信（メモリー保持）を設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積して、あとから印刷したり、外出先から取り出すことができます。

補足

メモリー保持と、電話呼び出し機能、ファクス転送、PCファクス受信は同時に使用できません。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【メモリ受信】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【メモリ保持のみ】を押す

- 3  を押す

補足

- メモリー保持は最大500ページまでできます。（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します。）
- 用紙がないときは、メモリー受信の設定が【オフ】に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリーに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリー受信を【オフ】にすると【ファクスを消去しますか?】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーから消去されます。

メモリーに保持したファクスを印刷する

メモリー保持が設定されているときに、メモリー保持でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【ファクス出力】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【はい】を押す

補足

メモリーに何も蓄積されていないときは、画面に【データがありません】と表示されます。【閉じる】を押してください。

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に登録した呼び出し先の電話番号にダイヤルする機能です。電話に出ると、「ポッポッ」という音でファクスを受信したことを知らせます。

補足

電話呼び出し機能と、メモリー保持、ファクス転送、PCファクス受信は同時に使用することはできません。

1 ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【メモリ受信】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 以下の手順で電話呼び出しを設定する

- 1 【電話呼び出し】を押す
- 2 呼び出し番号を入力（最大20桁） → 【OK】

3 を押す

補足

電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。⇒56ページ「外出先からファクスを取り出す」を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

呼び出し中にファクスを受信する

呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、ファクスを受信します。

1 呼び出しベルが鳴ったら、本製品に接続されている電話機の受話器を取る

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受信操作を行う

- 本製品から受信する
【ファクス】 → 【スタート】 → 【受信】を押します。
- 電話機のリモート操作で受信する
本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで、リモート起動番号（#51）を押します。
リモート受信の詳細は⇒48ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 相手と通話した後にファクスを受信する
【ファクス】 → 【スタート】 → 【受信】を押してファクスを受信します。

3 受話器を戻す

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては⇒ユーザーズガイド 基本編「まずは使ってみましょう」を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を【オン】に設定している場合は、受話器を上げたまま約7秒間待つと、自動でファクスを受信できます。
⇒47ページ「親切受信で受信する」を参照してください。
- 呼び出しベル回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定されることをお勧めします。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 基本編「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。
- 相手が手動送信のファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認してから【ファクス】 → 【スタート】 → 【受信】を押してください。
- ADFに原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADFに原稿がセットされていないことを確認してください。ただし、リモート受信の場合は、ADFに原稿がセットされていても送信されずにファクス受信します。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後に、回線をつないだままファクスを受信することができます。

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受信操作を行う

- 本製品から受信する
【ファクス】→【スタート】→【受信】を押します。
- 電話機のリモート操作で受信する
本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで、リモート起動番号（#51）を押します。
リモート受信の詳細は⇒48ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある状態でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

3 受話器を戻す

親切受信で受信する

本製品に接続されている電話機の手話器を取ったときに相手がファクスだった場合、手話器を上げたまま約7秒待つと、自動的にファクスを受信することができます。

1 ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【親切受信】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 【オン】を押す

3 を押す

補足

受信時の操作

- 親切受信を【オン】に設定している場合
 - 本製品に接続されている電話機の手話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。画面に【受信中】と表示されたら手話器を戻します。
 - 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスに切り替わらないときがあります。そのときは、手話器を持ったまま、【ファクス】→【スタート】→【受信】を押して受信します。
 - 本製品に接続されている電話機からリモート受信することもできます。詳しくは、⇒48ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 親切受信を【オフ】に設定している場合
 - 本製品に接続されている電話機の手話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は相手がファクスですので、【ファクス】→【スタート】→【受信】を押して受信します。このとき、ADFに原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADFに原稿がセットされていないことを確認してください。
 - 本製品に接続されている電話機からリモート受信することもできます。詳しくは、⇒48ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と誤認識し、ファクスに切り替わってしまうことがあります。そのときは親切受信の設定を【オフ】に設定してください。
- 親切受信機能は、本製品に接続されている電話機を上げてから40秒間有効です。40秒以上経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機から ファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信がうまく働かないとき、または親切受信の設定が【オフ】になっている場合は、本製品に接続されている電話機を操作してファクスを受信させることができます。

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある状態でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

リモート受信の操作のしかた

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【リモート受信】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 もう一度【リモート受信】を押す

- 3 【オン】 →  を押す

- 4 本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、電話機のダイヤルボタンでリモート起動番号（#51）を入力する

受話器は約5秒後に戻します。
本製品がファクス受信を始めます。

補足

リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。⇒ 48 ページ「リモート起動番号を変更する」を参照してください。

リモート起動番号を変更する

リモート起動番号は自分の好きな番号に変更することができます。
お買い上げ時は「#51」に設定されています。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【リモート受信】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 もう一度【リモート受信】を押す

- 3 【オン】 → 【起動番号】 を押す

- 4 リモート起動番号（3桁）を上書きする

- 5 【OK】 →  を押す

補足

リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用するものです。

受信時の設定

受信スタンプを設定する

ファクスを印刷するときに、受信した日時と本製品の発信元情報を印刷することができます。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【受信スタンプ】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【オン】 を押す

- 3  を押す

注意

あらかじめ本製品の日付と時刻を正しく設定しておいてください。⇒ 14 ページ「時計を合わせる[時計セット]」を参照してください。

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力する際、両面印刷するように設定できます。両面印刷できる用紙は、A4サイズ(60g/m²~105g/m²)のみです。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【両面印刷】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【オン】 を押す

- 3  を押す

補足

両面印刷を【オン】にすると【自動縮小】の設定に関係なく、【自動縮小】が【オン】と同じ状態で印刷されます。

受信拒否設定をする

迷惑リストに登録することで、特定の相手先からの呼び出しベルを鳴らさずにファクス受信を防止することができます。

注意

ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、迷惑リストを設定することができません。

迷惑リストに登録する

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【迷惑リスト】 → 【登録】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 受信拒否したい相手先を選択する

- 3 【はい】 を押す

- 4  を押す

迷惑リストから削除する

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【迷惑リスト】 → 【消去】 を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 迷惑リストから削除したい相手先を選んで、【OK】 を押す

3 【はい】を押す

4 を押す

迷惑リストを印刷する

1 ※→【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【迷惑リスト】→【レポート印刷】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 【はい】を押す

3 を押す

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に用紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1 ※→【全てのメニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【自動縮小】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 【オン】を押す

3 を押す

補足

- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約375mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約375mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小でA4サイズに収まる原稿の長さは目安です。回線の状況により変わります。
- 【自動縮小】を【オフ】に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、【自動縮小】を【オン】に設定してください。

ファクス転送機能

ファクスがメモリーに蓄積されると、外出先のファクシミリへ転送（ファクス転送）したり、本製品と接続しているパソコンに転送（PCファクス受信）することができます。

他の場所のファクシミリに転送する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送することができます。

転送したファクスの印刷設定は以下の中から選択できます。

- ・【本体でも印刷する】：受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- ・【本体では印刷しない】：受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

補足

ファクス転送とメモリー保持、電話呼び出し機能、PCファクス受信を同時に使用することはできません。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【メモリ受信】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【ファクス転送】を押す

- 3 番号の入力方法を選択する

【手動入力】 / 【電話帳】 から選びます。

【手動入力】を選んだ場合】

- 4 転送先のファクス番号を入力して、
【OK】を押す

【電話帳】を選んだ場合】

- 4 リストから転送先を選び、送信する
ファクス番号を押す

- 5 印刷の設定を選ぶ

- 6  を押す

補足

- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。⇒56ページ「外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する」を参照してください。
- 転送先番号は最大20桁まで入力できます。（カッコ【()】やハイフン【-】は入力できません。）
- ファクスが転送されると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。
- ファクス転送前に停電が発生したり、転送先のファクシミリに問題が発生した場合、ファクスデータがメモリーに保存され、電源をオフにしても消去されません。

ファクスをパソコンで受信する〔PCファクス受信〕

受信したファクスを本製品と接続しているパソコンに転送することができます。
パソコンがオフの場合は、受信したファクスを本製品に蓄積して、パソコンがオンになったときに、まとめて転送します。

転送したファクスの印刷設定は以下の中から選択できます。

- ・【本体でも印刷する】： 受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- ・【本体では印刷しない】： 受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

補足

PCファクス受信とメモリー保持、電話呼び出し機能、ファクス転送を同時に使用することはできません。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【受信設定】 → 【PCファクス受信】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 以下の手順でPCファクス受信を設定する

- 1 【オン】（または【オフ】）を選ぶ → 【OK】
- 2 【<USB>】またはコンピューター名を選ぶ → 【OK】
- 3 印刷の設定を選ぶ

- 3  を押す

注意

パソコンでファクスを受信したい場合は、本製品の【PCファクス受信】の設定を必ず【オン】にしてください。

補足

- パソコン側での「PC-FAX受信」の起動については、⇒ユーザーガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- 受信したファクスのデータが本製品のメモリーに残っている場合は、手順2で【オフ】を選択しても設定はできません。【全てのファクスをプリントしますか？】または【ファクスを消去しますか？】と表示されたら【はい】を押して印刷または消去してから設定してください。
- ネットワーク接続されているパソコンでPCファクス受信を行う場合は、パソコン側で「PC-FAX受信」を起動してから行ってください。
- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法やパソコンからファクスを送信する方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

外出先から本製品を操作する：リモコン機能

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3桁の数字と*）を設定します。

注意

暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【ファクス】 → 【暗証番号】 を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 ダイヤルボタンで暗証番号（3桁の数字）を入力した後、【OK】を押す
（暗証番号は最後に【*】を加えた4桁の番号になります。4桁目の【*】は変えることができません。）

- 3  を押す

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字+（*））を入力する
「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

- 3 短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえている間に、リモコンコードを入力する

補足

リモコンコードは、外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。⇒55ページ「リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕」を参照してください。

- 4 リモコンアクセスを終了するときは、
⑨⑩を入力する

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングを以下に示します。
 - ・ **ファクス専用モードのとき**
メモリー受信の場合、本製品が応答すると、約 4 秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
 - ・ **自動切換えモードのとき**
本製品が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
 - ・ **外付け留守電モードのとき**
本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4～5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
 - ・ **電話モードのとき**
呼び出しベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を以下のように操作することができます。

機能	コード
メモリー受信を解除します。(電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます)	951
ファクス転送に設定します。(番号未登録時は設定できません)	952
電話呼び出しに設定します。(番号未登録時は設定できません)	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、 (#) を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送が設定されます。	954
メモリー受信を設定します。	956
メモリーに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを【留守＝外付け留守電】に変更します。	981
受信モードを【F/T＝自動切換え】に変更します。	982
受信モードを【FAX＝ファクス専用】に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法(962)」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法(954)」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+**(*)**)を入力する
「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。
- 3 「ピピッ」という音が聞こえたら、**(9)(6)(2)**を押す
- 4 外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に**(#)**を2回押す
ファクス番号は最大20桁まで入力できます。
- 5 受話器を戻す

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+**(*)**)を入力する
- 3 「ピピッ」という音が聞こえたら、**(9)(5)(4)**を押す
- 4 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に**(#)**を2回押す
転送番号は最大20桁まで入力できます。
- 5 「ピー」の後に「ピピッ」という応答音が聞こえたら、**(9)(0)**を押して受話器を戻す

正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 外出先からは「*」や「#」を転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入りたいときには、**(#)**を1回押します。
- (#)**を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしている、操作しているファクシミリによっては回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順2の操作を行ってください。

レポート・リストの種類

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

操作の入口： ※→【全てのメニュー】→【レポート印刷】→

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

レポート・リスト	内容
【送信結果レポート】	最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴のみを表示します。または最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
【電話帳リスト】	電話帳やグループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
【通信管理レポート】	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
【設定内容リスト】	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
【プリンター設定】	プリンターの設定内容を印刷します。
【ネットワーク設定リスト】	ネットワークの設定内容を印刷します。
【ファイルリスト印刷】	メモリー内のフォントとマクロの一覧を印刷します。
【ドラム汚れ印刷】 (ドラムチェックシート)	ドラムユニットを清掃するときに、感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 基本編を参照してください。
【無線LANレポート】	無線LANの接続状態や無線LAN情報を印刷します。
【着信履歴リスト】	着信した履歴を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- ・タイマー送信レポート
タイマー送信が終了すると印刷されます。
- ・同報送信レポート
同報送信が終了すると印刷されます。

注意

用紙サイズの設定がA4、USレター以外の場合は、レポートおよびリストを印刷できません。

送信結果レポートを表示する

送信結果レポートを表示します。表示内容は、送信した最新の最大200件分の結果と詳細についてです。

1  ※→【全てのメニュー】→【レポート印刷】→【送信結果レポート】を押す

※：MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 【表示】を押す
画面に通信結果が表示されます。

.....
3 通信結果を確認する
.....

4  を押す
.....

レポートの出力を設定する

送信結果レポートと通信管理レポートの出力に関することを設定します。

送信結果レポートの出力を設定する

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。
送信結果レポートの出力設定は以下の中から選択できます。

- **【送信毎に印刷】**：
送信後に毎回自動的に印刷します。
- **【送信毎に印刷 (+画像)】**：
【送信毎に印刷】の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- **【エラー時のみ】**：
通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
- **【エラー時のみ (+画像)】**：
【エラー時のみ】の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- **【印刷しない】**：
送信結果レポートは印刷されません。

補足

リアルタイム送信時には画像は印刷されません。

- 1  ※ → **【全てのメニュー】** → **【ファクス】** → **【レポート設定】** → **【送信結果レポート】** を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 印刷する送信結果レポートの出力設定を選ぶ

- 3  を押す

通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

- 1  ※ → **【全てのメニュー】** → **【ファクス】** → **【レポート設定】** → **【通信管理レポート】** を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 以下の手順で間隔を設定する

- 1 **【通信管理レポート】** を押して、出力間隔を選ぶ
- 2 必要に応じて **【印刷時刻指定】** を押し、印刷時刻を入力 → **【OK】**
印刷時刻指定は、**【50件ごと】**、**【レポート出力しない】** 以外を選択した場合のみ必要です。

必要に応じて **【曜日指定】** を押し、曜日を選ぶ
曜日指定は、**【7日ごと】** を選択した場合のみ必要です。

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリーから消去されます。

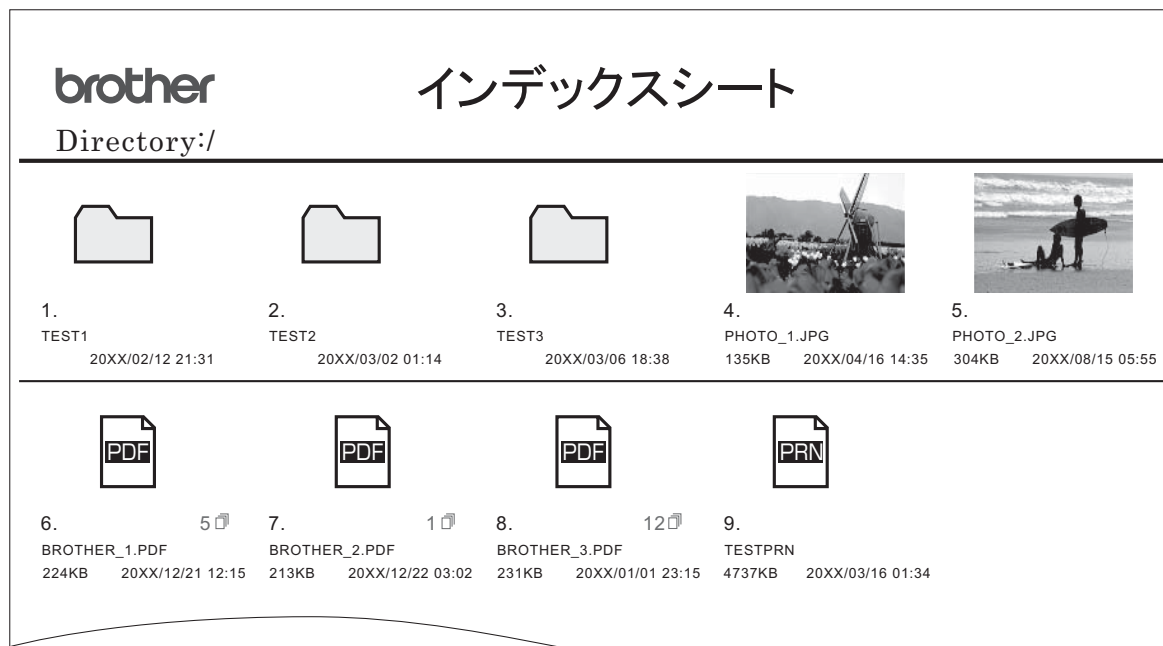
- 3  を押す

フォルダー構成やデータの一覧を印刷する

USBメモリー内にあるフォルダー構成やデータの一覧を印刷できます。(インデックスプリント)

フォルダーのアイコン、フォルダー名、更新年月日、および時刻が印刷されます。

ファイル形式を表すアイコンまたはサムネイル、ファイル名、ファイルサイズ、更新年月日、および時刻が印刷されます。PDFファイル、TIFFファイル、XPSファイルの場合は、ページ数も印刷されます。印刷できないデータのアイコンは「？」で印刷されます。



1 USBメモリーをUSBメモリー差込口に接続する

すでにUSBメモリーが接続されている場合は、ホーム画面から【USB】を押してください。

2 【USBダイレクトプリント】を押す

本製品の前面と背面にUSBメモリーが接続されている場合、どちらのUSBメモリーから印刷するか画面操作が必要になります。(MFC-L9570CDWのみ)

3 【インデックスプリント】を押す

4 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

【USBメモリーを抜かないでください】が表示されている間はUSBメモリーを抜かないでください。

5 [Home] を押す

操作パネルから印刷の設定をする

印刷に関するさまざまな設定は操作パネルから行います。設定した内容は次に変更するまで保存されます。

操作の入口：【USBダイレクトプリント】→【デフォルト設定】→

機能の種類	内容
【用紙タイプ】	印刷する用紙のタイプを設定します。
【用紙サイズ】	印刷する用紙のサイズを設定します。
【レイアウト】	レイアウトを設定します。
【印刷の向き】	印刷する方向を設定します。
【部単位】	部単位で印刷するかどうかを設定します。
【プリント画質】	印刷の画質を設定します。 【きれい】を選択すると、印刷に時間がかかることがあります。
【PDF オプション】	PDFデータを印刷するとき、印刷する内容を設定します。
【インデックスプリント】	インデックスシートの印刷方式を【簡易】または【詳細】に設定します。

色合いや色ずれを補正する

本製品の設置環境により、印刷画質に影響を与える場合があります。色合いや色ずれの補正を行うことで、印刷画質を改善することができます。

色補正

色補正は、色合いや色濃度を改善します。

色補正を行う

1  → 【色補正】を押す

2 【色補正実施】を押す

3 【はい】を押す

4  を押す

色補正リセット

1  → 【色補正】を押す

2 【リセット】を押す

3 【はい】を押す

4  を押す

色ずれ補正

色ずれ補正は、色位置のずれを改善します。

色ずれ補正を行う

1  → 【色ずれ補正】を押す

2 【はい】を押す

3  を押す

定期色ずれ補正

色補正と色ずれ補正を定期的に自動で実行する設定をします。

1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【プリンター】 → 【画質補正】 → 【定期色ずれ補正】を押す

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

2 【オン】を押す

3  を押す

文字を入力する

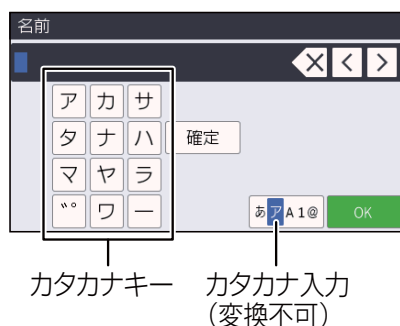
発信元登録、電話帳の登録などでは、タッチパネルの画面に表示されるキーボードや、操作パネル上のダイヤルボタンを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

入力画面例（MFC-L8610CDW）

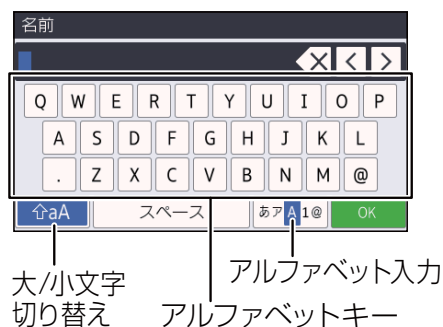
ひらがな/漢字入力画面



カタカナ入力画面



アルファベット入力画面



数字入力画面



記号入力画面



ひらがな/カタカナの文字の割り当て (MFC-L8610CDW)

ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお あいうえお	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよやゆよ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【ー】	ー
【は】	はひふへほ	【ゝ ゜】	(濁点、半濁点)

カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ アイウエオ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨヤユヨ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【ー】	ー
【ハ】	ハヒフヘホ	【ゝ ゜】	(濁点、半濁点)

機能ボタンの使いかた (MFC-L8610CDW)

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	【あ】 ～、【ア】 ～、【A】 ～、【1】 ～、 【!】 ～を押す
文字の種類を切り替える	【あ ア A 1 @】 を押す (ひらがな→カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな)
アルファベットの 大文字と小文字を切り替える	【aA】 を押す
カーソルを 左右に移動する	【<】 【>】 を押す
文字を削除する	【X】 を押す ・カーソルが文字列の最後の後方にあるときは、カーソルの左の1文字を削除する ・カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除する 【X】 を長押しする ・全ての文字を削除する
文字を挿入する	【<】 【>】 を押してカーソルを移動し、文字を入力する
ひらがなを漢字に変換する	【変換】 を押して、漢字を選択する (漢字項目が多い場合は、【^】 / 【v】 を押して漢字を選択する)
スペース (空白) を入れる	【スペース】 を押す
同じボタンで続けて文字を入力する	入力する
入力した文字を確定させる	【確定】 を押す

補足

変換範囲を変更することはできません。

入力例 (MFC-L8610CDW)

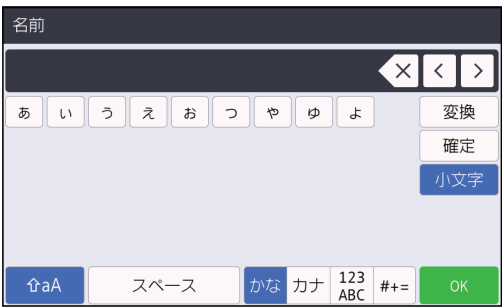
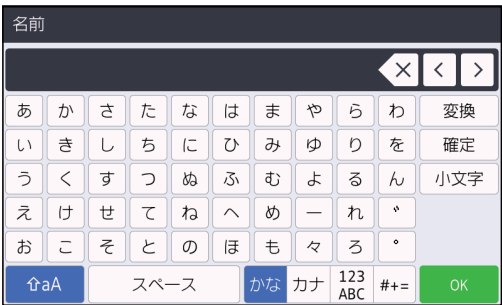
例：タッチパネルを使って、「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を3回押す	す
【>】を1回押す	す
【さ】を3回押す	すす
【ゝ】を1回押す	すす
【か】を2回押す	すすき
【変換】を1回押す	スズキ すすき 鈴木 画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あA1@】を1回押す	入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を4回押す	鈴木エ
【ラ】を2回押す	鈴木エリ

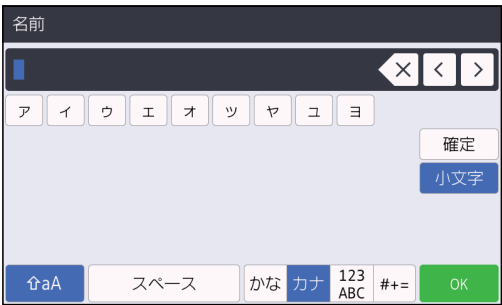
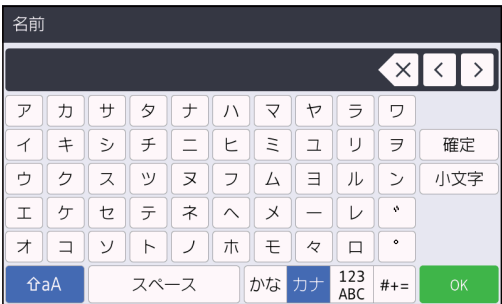
入力できる文字 (MFC-L9570CDW)

入力できる文字の種類は設定項目によって異なります。

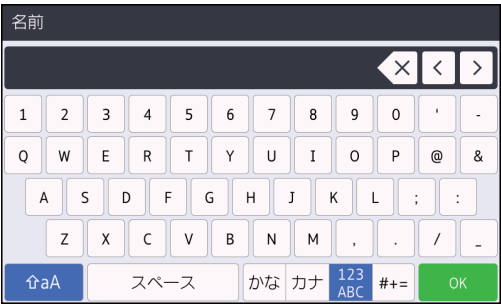
ひらがな/漢字入力



カタカナ入力



アルファベット/数字入力



記号入力



文字の入力方法 (MFC-L9570CDW)

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	あ ～、ア ～、A ～、1 ～、 ! ～を押す
文字の種類を 切り替える	かな カナ 123 ABC #+= を押す (ひらがな→カタカナ→アルファ ベット/数字→記号)
アルファベットの 大文字と小文 字を切り替える	⇧aA を押す
カーソルを左右 に移動する	◀ ▶ を押す
文字を削除する	✖ を押す ・カーソルが文字列の最後の後 方にあるときは、カーソルの 左の 1 文字を削除する ・カーソルが文字列上にあると きは、カーソル位置の 1 文字 を削除する
文字を挿入する	◀ ▶ を押してカーソルを移動 し、文字を入力する
ひらがなを漢字 に変換する	変換 を押して、漢字を選択す る (漢字項目が多い場合は、【^】/ 【v】を押して漢字を選択する)
スペース (空白) を入れる	【スペース】を押す
同じボタンで続 けて文字を入力 する	入力する
入力した文字を 確定させる	確定 を押す

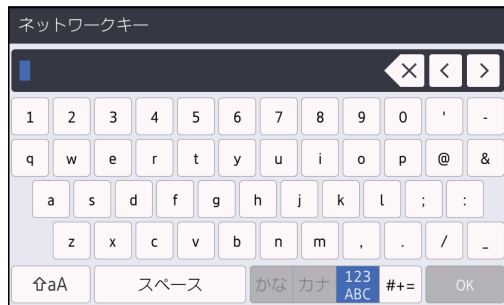
補足

変換範囲を変更することはできません。

無線設定時の文字入力について

無線LANの設定では、画面に表示されたキーボード(ボタン)から文字入力が必要な場合があります。英字(アルファベット)、数字、記号など、ボタンの種類の切り替えを行う場合は **123 ABC** または **#+=** を押してください。

⇧aA を押すと大文字と小文字が切り替わります。



スペースを入力する

スペースを入力する場合は、【スペース】を押してください。

入力した文字を変更する

間違って入力した文字を変更したい場合は、**⬅** または **➡** を押してカーソルを変更したい文字に移動させます。**✖** を押して文字を削除し、正しい文字を入力してください。文字を挿入する場合は、カーソルを移動させ、文字を入力してください。**✖** を押して文字を左側へ1つずつ削除することもできます。削除した後、正しい文字を入力してください。

入力制限 (入力できる文字の種類や文字数)

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
宛先番号	×	×	○*	20
ヨミガナ	×	○	○	16
名前	○	○	○	20

※ 電話帳登録での宛先番号入力時は、0～9、「*」、「#」、ポーズ（約3秒の待ち時間）のみ入力できます。ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に【p】で表示されます。発信元登録での電話番号入力時は0～9、「+」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

補足

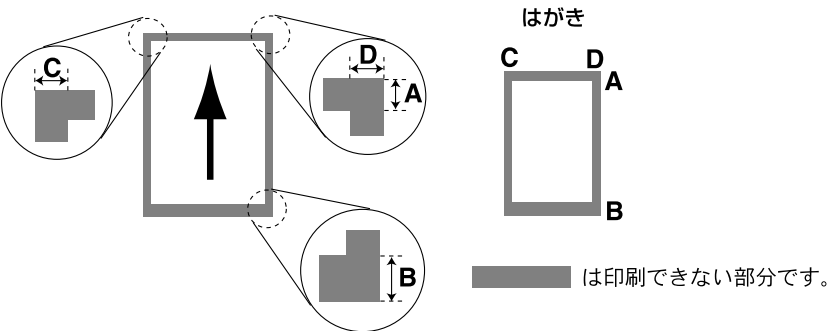
漢字はJIS第一水準および第二水準に対応しています。

用紙のこと

本製品で利用できる用紙について説明します。

用紙の印刷可能範囲

用紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。



(単位 : mm)

サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス※	4.0	1.0	1.0	1.0
	コピー	4.0	4.0	2.05	2.05
	プリンター	4.2	4.2	4.2	4.2
ハガキ (100mm×148mm)	コピー	4.0	4.0	1.9	1.9
	プリンター	4.2	4.2	4.2	4.2

※：自動縮小設定がオフの場合

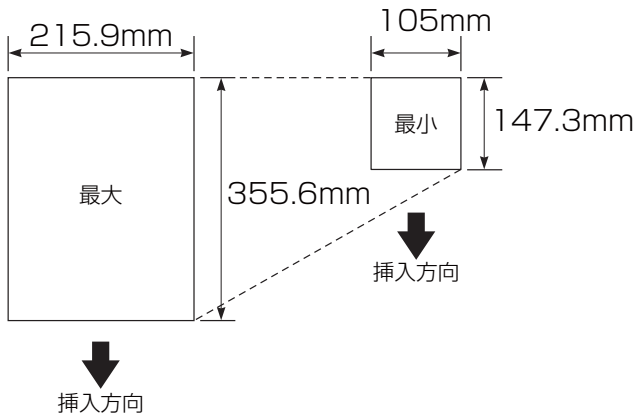
補足

印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの用紙やプリンタードライバーによっても値が変わってきます。

原稿のこと

原稿サイズ

ADF にセットできる原稿サイズは次のとおりです。
これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



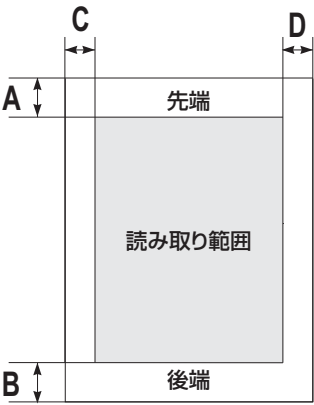
坪量 : 64g/m² ~ 90g/m²
(ADF 使用時)
最大質量 : 2kg (原稿台ガラス使用時)

補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADFか原稿台ガラスのどちらかを選択してください。
- ADFに原稿があるときはADFから読み込まれます。
ADFに原稿がないときは原稿台ガラスから読み込まれます。

原稿の読み取り範囲

A4 サイズの原稿を ADF または原稿台ガラスにセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。



(単位 : mm)

機能	A	B	C	D
ファクス	3		原稿台ガラス : 3 ADF : 1	
コピー	4		3	
スキャン	3		3	

補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と用紙に印刷できる範囲が異なります。⇒68ページ「用紙の印刷可能範囲」を参照してください。

製品情報

製品情報の確認/印刷

操作の入口：※→【全てのメニュー】→【製品情報】→

※：MFC-L9570CDW は【全てのメニュー】からの操作になります。

機能の種類		内容
確認	【シリアル No.】	シリアル番号を表示します。
	【ファームウェアバージョン】	以下のファームウェアバージョンを表示します。 • Main • Sub1
	【印刷枚数表示】	以下の項目についてカラー印刷、モノクロ印刷した枚数を表示します。 • 合計 • ファクス • コピー • プリンター • その他

操作の入口：※→【全てのメニュー】→【製品情報】→【消耗品寿命】→

※：MFC-L9570CDW は【全てのメニュー】からの操作になります。

機能の種類		内容
確認	【ドラム寿命】	ドラムユニットの寿命を表示します。
	【ベルト 寿命】	ベルトユニットの寿命を表示します。
	【ヒーター 寿命】	定着器ユニット（ヒーター）の寿命を表示します。
	【レーザー 寿命】	レーザーユニットの寿命を表示します。
	【PF キットMP 寿命】	多目的トレイ用のローラーホルダーと分離パッドの寿命を表示します。
	【PF キット1 寿命】	用紙トレイ1用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネの寿命を表示します。
	【PF キット2 寿命】※	用紙トレイ2用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネの寿命を表示します。
	【PF キット3 寿命】※	用紙トレイ3用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネの寿命を表示します。
	【PF キット4 寿命】※	用紙トレイ4用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネの寿命を表示します。

※：増設用紙トレイ（オプション）装着時のみ表示されます。

補足

表示される寿命はあくまで目安です。

操作の入口：※→【全てのメニュー】→【プリンター】→【プリンター オプション】→
※：MFC-L9570CDW は【全てのメニュー】からの操作になります。

機能の種類		内容
印刷	【フォント リスト】→（印刷する項目を選択）→【はい】	本製品の内蔵フォントを印刷します。
	【テストプリント】→【はい】	印刷の品質をテスト印刷します。

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることで、お手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバーを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体にトラブルがあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、support.brother.co.jp へ

設定機能の初期化

初期化とは

各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した情報をすべて消去したりすることができます。

初期化できる設定は以下のとおりです。

注意

- 初期状態に戻すと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。⇒57ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- セキュリティ設定ロックがオンになっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。セキュリティ設定ロックをオフにしてください。⇒25ページ「セキュリティ設定ロックをオフにする」を参照してください。

機能の種類	内容	操作
プリンター設定	 ※→【全てのメニュー】→【プリンター】で設定した項目をお買い上げ時の状態に戻します。	 ※→【全てのメニュー】→【プリンター】→【プリンター リセット】
機能設定	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	 ※→【全てのメニュー】→【初期設定】→【設定リセット】→【機能設定リセット】
ネットワーク設定	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	 ※→【全てのメニュー】→【初期設定】→【設定リセット】→【ネットワーク設定リセット】

機能の種類	内容	操作
電話帳・ファクスの登録情報	以下の項目の設定をお買い上げ時の状態に戻します。メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認ください。 • お客様の名前・電話番号 • 発信履歴の内容 • 送付書のコメント • 同報送信する相手先 • タイマー送信する相手先 • リモート起動番号 • 電話帳の内容 • グループダイヤルの内容 • 着信履歴の内容 • ファクス転送先の内容と転送設定 • メモリーの内容（受信データ） • PC ファクス受信データの未転送分（パソコンに転送したファクスのデータは消去されません） • リモコン暗証番号 • 通信管理レポート • 送信結果レポート • 回線種別設定 • 送信データ（タイマー送信 / 再ダイヤル） • 受信データ（メモリー受信 / 代行受信） • ショートカットの内容	※→【全てのメニュー】→【初期設定】→【設定リセット】→【電話帳&ファクスリセット】
全設定	上記すべてに関して設定した内容を初期値に戻します。	※→【全てのメニュー】→【初期設定】→【設定リセット】→【全設定リセット】
出荷状態リセット	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。	※→【全てのメニュー】→【初期設定】→【設定リセット】→【出荷状態リセット】

※：MFC-L9570CDW は【全てのメニュー】からの操作になります。

初期化のしかた

- 1  ※ → 【全てのメニュー】 → 【初期設定】 / 【プリンター】 → 【設定リセット】 / 【プリンター リセット】 を押した後、必要に応じて初期化する内容を選択する

表の「操作」を参照してください。

※ : MFC-L9570CDWは【全てのメニュー】からの操作になります。

- 2 【はい】 / 【OK】 を押す

【いいえ】 / 【キャンセル】 を押すと、初期化しないで設定メニューに戻ります。

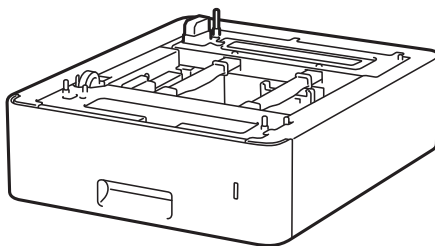
- 3 初期化を完了する

- プリンター設定を初期化した場合
 を押します。
 - プリンター設定以外を初期化する場合
【OK】 を2秒間押します。
- 再起動しないと設定は初期化されません。

オプション

増設用紙トレイ (LT-330CL (MFC-L8610CDW) / LT-330CL、LT-340CL (MFC-L9570CDW))

増設用紙トレイはLT-330CLの場合は最大250枚（80g/m²）、LT-340CLの場合は最大500枚（80g/m²）の用紙をセットすることができます。



本製品への取り付け方法は、増設用紙トレイ（LT-330CL（MFC-L8610CDW）、LT-330CL/LT-340CL（MFC-L9570CDW））に付属の説明書をご覧ください。

機能一覧(MFC-L8610CDW)

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージに従って、登録や設定を行います。下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

【メニュー】ボタン

ホーム画面の  を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
時計セット	⇒97ページ「時計セット」を参照してください。				
トナー	トナー残量	－	－	トナー残量を表示します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	テストプリント	－	－	印刷テストを行います。	
	色補正	色補正実施	－	色調正を行います。	
		リセット	－	色補正結果をリセットします。	
	色ずれ補正	－	－	色ずれ補正を行います。	
ネットワーク	有線LAN	有線LANを使用するときに必要なネットワーク設定メニューを表示します。 ⇒90ページ「有線LAN」を参照してください。			
	無線LAN	無線LANを使用するときに必要なネットワーク設定メニューを表示します。 ⇒92ページ「無線LAN」を参照してください。			
画面設定	⇒83ページ「画面設定」を参照してください。				
Wi-Fi Direct	⇒93ページ「Wi-Fi Direct」を参照してください。				
トレイ設定	⇒78ページ「用紙トレイ設定」を参照してください。				
全てのメニュー	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。				⇒78ページ

【全てメニュー】ボタン

ホーム画面の  →【全てのメニュー】を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

基本設定

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	用紙タイプ	多目的トレイ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙 光沢紙	用紙トレイにセットした用紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		用紙トレイ#1	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 ハガキ レターヘッド カラー用紙		
		用紙トレイ#2 ※1	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 レターヘッド カラー用紙		
		用紙トレイ#3 ※2	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 レターヘッド カラー用紙		
		用紙トレイ#4 ※3	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 レターヘッド カラー用紙		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	用紙サイズ	多目的トレイ	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒ユーザズガイド 基本編
		用紙トレイ#1	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 ハガキ		
		用紙トレイ#2 ※1	A4 USレター B5(JIS) A5 B6(JIS)		
		用紙トレイ#3 ※2	A4 USレター B5(JIS) A5 B6(JIS)		
		用紙トレイ#4 ※3	A4 USレター B5(JIS) A5 B6(JIS)		
	トレイ開閉時 確認	—	オン オフ	本体の設定と、用紙トレイにセットした用紙サイズが一致しているか確認を促すメッセージを表示するときは【オン】に設定します。	⇒ユーザズガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	トレイ選択: コピー	—	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1</u> トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1>トレイ2</u> 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 トレイ1>トレイ2>多目的トレイ トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-3</u> 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的 (増設用紙トレイを3台設置したとき) ※3 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 用紙トレイ#4のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-4</u> 多目的>トレイ4>トレイ3-1 トレイ1>トレイ2-4>多目的 トレイ4>トレイ3-1>多目的	コピーするときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒8ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	トレイ選択: ファクス	—	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 <u>トレイ1>多目的トレイ</u> (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ2 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 <u>トレイ1>トレイ2>多目的トレイ</u> トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ 多目的>トレイ1>トレイ2-3 多目的>トレイ3>トレイ2-1 <u>トレイ1>トレイ2-3>多目的</u> トレイ3>トレイ2-1>多目的 (増設用紙トレイを3台設置したとき) ※3 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 用紙トレイ#4のみ 多目的トレイのみ 多目的>トレイ1>トレイ2-4 多目的>トレイ4>トレイ3-1 <u>トレイ1>トレイ2-4>多目的</u> トレイ4>トレイ3-1>多目的	ファクスを印刷するときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒8ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	トレイ選択: プリント	—	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1</u> トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1>トレイ2</u> 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 トレイ1>トレイ2>多目的トレイ トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-3</u> 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的 (増設用紙トレイを3台設置したとき) ※3 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 用紙トレイ#4のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-4</u> 多目的>トレイ4>トレイ3-1 トレイ1>トレイ2-4>多目的 トレイ4>トレイ3-1>多目的	プリンター印刷するときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒8ページ
音量	着信音量	—	切 小 中 大	着信音量を設定します。	⇒10ページ
	ボタン確認 音量	—	切 小 中 大	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒10ページ
	スピーカー 音量	—	切 小 中 大	スピーカーの音量を設定します。	⇒10ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
画面の明るさ	画面の明るさ	—	明るく 標準 暗く	画面の明るさを設定します。	⇒13ページ
	照明ダウタイマー	—	10秒 30秒 1分 2分 3分 5分	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	⇒13ページ
画面設定	メインホーム画面	—	ホーム画面 1 ホーム画面 2 ホーム画面 3 ショートカット 1 ショートカット 2 ショートカット 3 ショートカット 4 ショートカット 5 ショートカット 6 ショートカット 7 ショートカット 8	 を押したときに表示される待機画面を設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	コピー画面	—	レシート 標準 2in1 (ID) 2in1 片面⇒両面 両面⇒両面 用紙節約	 を押したときに表示されるコピー画面を設定します。	
	スキャン画面	—	スキャン機能一覧 OCR ファイル イメージ USBメモリ Eメール添付 Eメール送信※4 FTP/SFTPサーバー ネットワーク SharePoint	 を押したときに表示されるスキャン画面を設定します。	
通知画面設定	スキャン結果 (白紙除去)	—	オン オフ	スキャン結果から白紙を取り除きます。	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
省エネモード	トナー節約モード	—	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。【オン】に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒11ページ
	スリープモード	—	1分 (0-50分)	スリープモードに切り替わるまでの時間を0～50分の間で設定します。	⇒11ページ
	静音モード	—	オン オフ	印刷時の動作音を静かにすることができます。【オン】に設定すると、印字速度が遅くなります。	⇒11ページ
	自動電源オフ	—	オフ 1時間 2時間 4時間 8時間	本製品がディープスリープモードの状態である一定の時間が経過すると、自動的に電源をオフにすることができます。	⇒12ページ
セキュリティ設定 ロック	パスワード設定	OK	現在のパスワード： (既にパスワードが設定されているときに表示されます。)	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	⇒24ページ
	ロック オフ⇒オン	—	—		
	新規のパスワード	—	新規のパスワード： (パスワードがすでに設定されている場合、この項目は表示されません。)		

- ※ 1：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。
 ※ 2：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。
 ※ 3：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL）を 3 台増設したときにメニューが表示されます。
 ※ 4：インターネットファクスのダウンロードが必要です。

ショートカット設定

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
(ショートカットボタンを選ぶ)	名前の変更	—	ショートカット 1～8の画面に登録するメニューや機能の編集をします。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	編集			
	消去			

ファクス

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
受信設定	受信モード	—	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	ファクスの受信モードを設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
受信設定	ファクス無鳴動受信	—	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	呼出ベル回数	—	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のとき、着信してから自動受信するまでの呼び出しベル回数を0～10回の間で設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	電話機の接続	—	ガイドに沿って設定 初期値に戻す	外付け電話を接続している場合に、外付け電話を使用するための設定をします。	
	再呼出ベル回数	—	8 15 20	受信モードが【F/T=自動切換え】のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼び出しベル回数を設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	みるだけ受信	—	オン(画面で確認) オフ(受信したら印刷)	ファクスを受信したときに印刷するか、画面で確認するかを設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	親切受信	—	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話を取ってしまった場合でも、本製品の【スタート】を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒47ページ
	リモート受信	リモート受信	オン オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒48ページ
		起動番号	#51		
	自動縮小	—	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒50ページ
	PCファクス受信	—	オン オフ	本製品と接続されているパソコンにファクスを受信させるときに設定します。【オン】に設定すると、メモリー受信は自動的に【オフ】に設定されます。	⇒52ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
受信設定	メモリ受信	—	オフ ファクス転送 電話呼び出し メモリ保持のみ ファクス クラウド転送	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。 【オフ】以外に設定すると、PCファクス受信は自動的に【オフ】に設定されます。	⇒45ページ
		ファクス転送	手動入力 OK 本体でも印刷する <u>本体では印刷しない</u> 電話帳 (登録されている相手先を選択) 本体でも印刷する <u>本体では印刷しない</u>		⇒51ページ
		電話呼び出し	(最大20桁)		⇒46ページ
	迷惑リスト	—	登録 消去 レポート印刷	迷惑リストを設定します。	⇒49ページ
	受信スタンプ	—	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	⇒49ページ
	両面印刷	—	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒49ページ
送信設定	とりまとめ送信	—	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒31ページ
	送付書設定	印刷サンプル	—	送付書をサンプルとして印刷します。	⇒34ページ
		送付書コメント	—	送付書のコメントを作成します。	⇒33ページ
	自動再ダイヤル	—	オン オフ	自動再ダイヤルの設定をします。	⇒38ページ
	送信先表示	—	表示 非表示	ファクス送信の宛先情報を画面に表示します。	⇒34ページ
電話回線診断	—	—	—	本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。	⇒42ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
レポート設定	送信結果レポート	—	送信毎に印刷 送信毎に印刷 (+画像) エラー時のみ <u>エラー時のみ (+画像)</u> 印刷しない	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒57、59ページ
	通信管理レポート	通信管理レポート	レポート出力しない <u>50件ごと</u> 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒59ページ
		印刷時刻指定	0:00	【通信管理レポート】で【レポート出力しない】、【50件ごと】以外に設定したときにレポートが印刷される時間を設定します。	
		曜日指定	<u>月曜日ごと</u> 火曜日ごと 水曜日ごと 木曜日ごと 金曜日ごと 土曜日ごと 日曜日ごと	【通信管理レポート】で【7日ごと】に設定したときにレポートが印刷される曜日を設定します。	
ファクス出力	—	—	—	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒45ページ
暗証番号	—	—	---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒53ページ
ダイヤル制限機能	直接入力	—	2度入力 オン <u>オフ</u>	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒40ページ
	電話帳	—	2度入力 オン <u>オフ</u>		
	ショートカット	—	2度入力 オン <u>オフ</u>		
	LDAPサーバー※	—	2度入力 オン <u>オフ</u>		
通信待ち一覧	—	—	—	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒34ページ
ナンバーディスプレイ	—	—	オン <u>オフ</u> 外付け電話優先	ナンバー・ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。	⇒26ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
データコネクト設定	IPファクス	—	専用 優先 オフ	IPファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	⇒41ページ
	通信速度	—	自動 標準 高速 最高速	IPファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	⇒41ページ

※：インターネットファクスのダウンロードが必要です。

プリンター

詳しくは、⇒ユーザズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容
エミュレーション	—	—	自動 HP LaserJet BR-Script 3	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。
画質	—	—	標準 高画質	印刷画質を選択します。
プリンター オプション	フォント リスト	HP LaserJet BR-Script 3	—	内蔵フォントの種類を印刷します。
	テストプリント	—	—	テストチャートを印刷します。
両面印刷	両面印刷	—	オフ 長辺とじ 短辺とじ	両面印刷時の内容を設定します。
	片面データ搬送方式	—	両面搬送経路 片面搬送経路	最終ページの印刷面が片面のときは、【片面搬送経路】を選択すると最終ページが片面搬送経路で排出されるために印刷時間を短縮できます。 レターヘッドや印刷済み用紙を使用する場合は、【両面搬送経路】を選択してください。【片面搬送経路】が選択されていると最終ページのみ印刷面が反対になります。
エラー解除	—	—	オン オフ	【オン】に設定すると、用紙サイズのエラーを自動解除して、用紙トレイにセットされた用紙を使用して給紙を続けます。
印刷カラー	—	—	自動 カラー モノクロ	プリンターから印刷するときのカラーモードを設定します。
HP トレイ コマンド	—	—	LJ4 LJ3	最新のHP LaserJetエミュレーションを選択します。
プリンター リセット	—	—	はい いいえ	プリンターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容
画質補正	色補正	色補正実施	—	色補正を行います。
		リセット	—	実行した色補正を初期値に戻します。
	色ずれ補正	—	—	各カラーの印刷位置を調整します。
	定期色ずれ補正	—	オン オフ	色補正と色ずれ補正を定期的に行う設定をします。
	カラー設定	設定元	本体から設定する ドライバーから設定する	カラー設定の設定元を選択します。
		カラーモード	標準 鮮やかな色合い なし 自動	カラーモードを選択します。
		グレーの色味を改善	オン オフ	グレー領域の画質の調整をします。
		黒を強調	オン オフ	グレーまたは黒の画像が正しく印刷されない場合は【オフ】にしてください。
		明るさ	-20 -10 0 +10 +20	明るさを調整します。
		コントラスト	-20 -10 0 +10 +20	コントラストを調整します。
		赤	-20 -10 0 +10 +20	赤色の色合いを調整します。
		緑	-20 -10 0 +10 +20	緑色の色合いを調整します。
		青	-20 -10 0 +10 +20	青色の色合いを調整します。

全体にかかわる設定

ファクス送信

ファクス受信

転送・リモコン

レポート・リスト

USBダイレクト
プリント

必要なときに
確認してほしいこと

ネットワーク

詳しくは、⇒ユーザズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容
有線LAN	TCP/IP	IP取得方法	—	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
			IP設定リトライ	3 [0-32767]	【IP取得方法】で【Static】以外を選択した場合に設定します。
		IP アドレス	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	IPアドレスを設定します。
		サブネット マスク	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		ノード名	—	BRNxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		WINS設定	—	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		WINS サーバー	プライマリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		DNS サーバー	プライマリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		APIPA	—	オン オフ	APIPAを設定します。
		IPv6	—	オン オフ	IPv6を設定します。
	イーサネット	—	—	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto : 自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/ 10B-FD/10B-HD : それぞれのリンクモードに 固定されます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
有線LAN	有線LAN状態	—	—	アクティブ1000B-FD アクティブ100B-FD アクティブ100B-HD アクティブ10B-FD アクティブ10B-HD 未接続 有線LANオフ	有線LANの接続状態を表示します。
	MACアドレス	—	—	—	MACアドレスを表示します。
	初期設定に戻す	—	—	はい いいえ	有線LAN のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	有線LAN有効	—	—	オン オフ	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
無線LAN	TCP/IP	IP取得方法	—	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
			IP設定リトライ	3 [0-32767]	【IP取得方法】で【Static】以外を選択した場合に設定します。
		IP アドレス	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	IPアドレスを設定します。
		サブネット マスク	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		ノード名	—	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		WINS設定	—	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		WINS サーバー	プライマリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		DNS サーバー	プライマリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		APIPA	—	オン オフ	APIPAを設定します。
		IPv6	—	オン オフ	IPv6を設定します。
	無線接続ウィザード	—	—	—	ウィザード形式で無線LANの設定をします。
	接続アシスタント	—	—	—	ドライバー / ユーティリティ CD-ROMを使用して無線LAN設定を行います。(Windows®のみ)
	WPS	—	—	—	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
	WPS (PINコード)	—	—	—	WPS (PINコード) で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
無線LAN	無線状態	接続状態	—	アクティブ(11b) アクティブ(11g) アクティブ(11n) 有線LANアクティブ 未接続 接続に失敗しました：	接続状態を表示します。
		電波状態	—	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
		SSID	—	—	SSID (ネットワーク名) を表示します。
		通信モード	—	インフラストラクチャ なし	通信モードを表示します。
	MACアドレス	—	—	—	MACアドレスを表示します。
	初期設定に戻す	—	—	はい いいえ	無線LANのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	無線LAN有効	—	—	オン オフ	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続	—	—	—	ボタンを押すだけで簡単にWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	PINコード接続	—	—	—	WPS (PIN方式) で簡単にWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	手動接続	—	—	—	手動でWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	グループオーナー	—	—	オン オフ	本製品をグループオーナーに設定できます。
	デバイス情報	デバイス名	—	(デバイス名)	デバイス名を表示します。
		SSID	—	(自分のSSID) (接続相手のSSID) 未接続	グループオーナーのSSID (ネットワーク名) を表示します。
		IPアドレス	—	—	本製品のIPアドレスを表示します。
	接続情報	接続状態	—	グループオーナー (**) クライアント アクティブ 未接続 Wi-Fi Direct オフ	接続状態を表示します。 (**) は接続数
		電波状態	—	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
	インターフェース有効	—	—	オン オフ	Wi-Fi Direct接続の有効/無効を設定します。 リセット後の60分間は初期値はオンになります。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
Eメール/IFAX ※1	メール アドレス	—	—	—	メールアドレスを設定します。(最大255文字)
	サーバー設定	SMTP	サーバー	サーバー名	SMTPサーバーを設定します。(最大64文字)
				IP アドレス 000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
			ポート	25 [1-65535]	SMTP認証を行うポート番号を設定します。
			SMTP認証	認証しない SMTP認証	SMTPの認証方式を設定します。
			SSL/TLS	認証しない SSL TLS	SMTPの暗号化方式を設定します。
			証明書の検証	オン オフ	SMTPサーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
		POP3/ IMAP4	プロトコル	POP3 IMAP4	インターネットに接続するプロトコルを設定します。
			サーバー	サーバー名 IP アドレス 000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	POP3またはIMAP4サーバーを設定します。(最大64文字)
			ポート	110 [1-65535]	POP3またはIMAP4で使用するポート番号を設定します。
			アカウント名	—	アカウント名を設定します。(最大60文字)
			パスワード	—	POP3またはIMAP4サーバーにログインするパスワードを設定します。(最大32文字)
			フォルダ選択※2	初期値 (受信トレイ) 特定のフォルダ	受信先を設定します。【特定のフォルダ】を指定する場合、アドレスも設定します。(最大60文字)
			SSL/TLS	認証しない SSL TLS	POP3またはIMAP4の暗号化方式を設定します。
			証明書の検証	オン オフ	POP3またはIMAP4サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
			APOP	オン オフ	アカウントやパスワードのセキュリティを保つため、APOPの設定を行います。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
Eメール/IFAX ※1	メール 受信設定	自動受信	自動受信	オン オフ	メールの自動受信を設定します。
			ポーリング間隔	1分 3分 5分 10分 30分 60分	【自動受信】で【オン】を選んだ場合に、POP3またはIMAP4サーバーへアクセスする間隔を設定します。
		ヘッダー印刷	—	全て ヘッダー のみ なし	メールヘッダー印刷を設定します。
		エラーメール 削除/閲覧	—	オン オフ	エラーメールの自動削除を設定します。
		受信確認	—	オン MDN オフ	通知メッセージを設定します。
	メール 送信設定	メール タイトル	—	Internet Fax Job	メールタイトルを設定します。
		サイズ制限	サイズ制限	オン オフ	メールサイズ制限と最大サイズを設定します。【オン】に設定すると、【最大サイズ (MB)】で設定したサイズより大きいときは警告が表示されメールを送信することができません。
			最大サイズ(MB)	—	
		受信確認要求	—	オン オフ	通知メッセージを設定します。
	リレー 設定	リレー 許可	—	オン オフ	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線でファクスに転送します。
		許可 ドメイン	—	リレー XX	転送を許可するドキュメント名を登録します。
		リレー レポート	—	オン オフ	転送したあとのレポート出力を設定します。
	手動受信	—	—	—	メールの手動受信を設定をします。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
Web接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	—	オン オフ	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。
		アドレス	—	—	プロキシサーバーのアドレスを設定します。
		ポート	—	8080 [1-65535]	プロキシサーバーのポート番号を表示します。
		ユーザー名	—	—	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。
		パスワード	—	—	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。
IPsec	—	—	—	オン オフ	IPsecの有効/無効を設定します。
ネットワーク設定リセット	—	—	—	OK キャンセル	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※ 1：インターネットファクスのダウンロードが必要です。

※ 2：【プロトコル】で【IMAP4】を選択した場合のみ。

レポート印刷

詳しくは、⇒57ページ「レポート・リスト」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	内容
送信結果レポート	表示	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。
	印刷	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
電話帳リスト	—	電話帳に登録されている内容を印刷します。
通信管理レポート	—	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
設定内容リスト	—	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
プリンター設定	—	プリンターの設定値内容を印刷します。
ネットワーク設定リスト	—	ネットワークの設定値内容を印刷します。
ファイルリスト印刷	—	メモリーに保存されたファイルの一覧を印刷します。
ドラム汚れ印刷	—	感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。
無線LANレポート	—	無線LANの現在の接続状況を印刷します。
着信履歴リスト	—	着信した履歴を印刷します。

製品情報

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	内容	参照ページ
シリアル No.	－	－	シリアルNo.を表示します。	⇒70ページ
ファームウェアバージョン	Main バージョン	－	本製品のファームウェアバージョンを表示します。	
	Sub1 バージョン	－		
印刷枚数表示	合計	カラー	お買い上げ時から今までに印刷したカラー、モノクロそれぞれの枚数を表示します。	
		モノクロ		
	ファクス	－		
	コピー	カラー		
		モノクロ		
	プリンター	カラー		
		モノクロ		
	その他	カラー		
		モノクロ		
消耗品寿命 ※1	ドラム寿命	－	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	
	ベルト 寿命	－	ベルトユニット寿命までの残り%を表示します。	
	ヒーター 寿命	－	定着器ユニット（ヒーター）（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
	レーザー 寿命	－	レーザーユニット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
	PF キットMP 寿命	－	用紙トレイPF キット（MP/1/2/3/4）（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
	PF キット1 寿命	－		
	PF キット2 寿命※2	－		
	PF キット3 寿命※3	－		
	PF キット4 寿命※4	－		

※ 1：使用環境や用紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

※ 2：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 3：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 4：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL）を 3 台増設したときにメニューが表示されます。

初期設定

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
時計セット	日付	<u>2018.01.01</u>	現在の日付を設定します。	⇒14ページ
	時刻	<u>00:00</u>	現在の時刻を設定します。	⇒14ページ
	タイム ゾーン	UTC+09:00	本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。	⇒14ページ
発信元登録	ファクス	—	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	⇒32ページ
	電話	—		
	名前	—		

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
回線種別設定	—	ブッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒9ページ
ダイヤルトーン設定	—	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	⇒42ページ
外線番号	—	オン オフ	構内交換機（PBX）使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。	⇒43ページ
特別回線対応	—	一般 PBX 光・ISDN	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒42ページ
安心通信モード	—	高速 標準 安心(VoIP)	安心通信モードに設定します。	⇒43ページ
設定リセット	機能設定リセット	OK キャンセル	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒73ページ
	ネットワーク設定リセット	OK キャンセル	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	
	電話帳&ファクスリセット	OK キャンセル	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。	
	全設定リセット	OK キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報を初期値に戻します。	
	出荷状態リセット	OK キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。	
表示言語設定	—	日本語 English	画面に表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	⇒13ページ

サービス

【印刷できません】などのエラーが解決されない場合に【サービス】メニューが表示されます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
データ転送	ファクス転送	—	ファクスが印刷できないときに、ファクスデータや通信管理レポートを別のファクス機で印刷します。	⇒ユーザズガイド 基本編
	レポート転送	—		

【ファクス】 ボタン

ホーム画面の  【ファクス】 を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

みるだけ受信がオフのとき

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
再ダイヤル	—	—	—	—	直前に送信した相手先をダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルから、ポーズボタンに変わります。	⇒38ページ
ポーズ	—	—	—	—		
オンフック	—	—	—	—	受話器を置いたままダイヤルします。押すと電話回線につながります。	⇒ユーザーズガイド 基本編
(ファクス画質)	⇒100ページ「ファクス画質」を参照してください。					—
(原稿濃度)	⇒100ページ「原稿濃度」を参照してください。					—
(原稿台スキャンサイズ)	⇒100ページ「原稿台スキャンサイズ」を参照してください。					—
(同報送信)	⇒100ページ「同報送信」を参照してください。					—
電話帳	 (検索)	—	—	—	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	⇒38ページ
	登録/編集	電話帳登録	名前 ヨミガナ 宛先	—		
		グループ登録	名前 ヨミガナ 追加/消去	—		
		変更	(登録されている相手先を選択)	名前 ヨミガナ 宛先		
			消去	—		
	(登録されている相手先を選択)	送信先に設定	—	—		
履歴	発信履歴	(履歴を選択)	設定	電話帳に登録 消去	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
			送信先に 設定	—		
	着信履歴	(履歴を選択)	設定	電話帳に登録 消去		
スタート	—	—	—	—	ファクスを送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	ファクス画質	—	—	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質を一時的に設定します。	⇒35ページ
	原稿濃度	—	—	自動 濃く 薄く	原稿のコントラスト（色の濃度）を調整します。	⇒35ページ
	原稿台スキャンサイズ	—	—	USレター A4	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒36ページ
	同報送信	番号追加	手動入力	—	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	⇒27ページ
			電話帳から選択	—		
			検索して選択	—		
	タイマー送信	タイマー送信	—	オン オフ	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒30ページ
		指定時刻	—	—		
	リアルタイム送信	—	—	オン オフ	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒29ページ
	送付書※ ¹	送付書設定	—	オン オフ	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒33ページ
		送付書コメント	—	1.コメント無し 2.お電話ください 3.至急 4.親展 5. 6.		
		枚数	—	—		
	海外送信モード	—	—	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒30ページ
	設定を保持する※ ²	ファクス画質 原稿濃度 原稿台スキャンサイズ リアルタイム送信 送付書 海外送信モード	—	はい いいえ	変更した設定を保持します。	⇒36ページ
	設定をリセットする※ ²	—	—	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—
ショートカット登録	—	—	—	送信先 ファクス画質 原稿濃度 原稿台スキャンサイズ 同報送信 リアルタイム送信 送付書設定 海外送信モード	ファクスに関する設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒134ページ

※ 1：【発信元登録】を設定していないときは無効になります。

※ 2：[セキュリティ機能ロック] または【セキュリティ設定ロック】の設定中は無効になります。

みるだけ受信がオンのとき

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
ファクス 送信	⇒99ページ「【ファクス】ボタン」を参照してください。					
受信 ファクス	印刷/消去	全て印刷 (新着ファクス)	－	－	受信したファクスを 印刷または消去しま す。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
		全て印刷 (既読ファクス)	－	－		
		全て消去 (新着ファクス)	－	はい いいえ		
		全て消去 (既読ファクス)	－	はい いいえ		
電話帳	⇒99ページ「電話帳」を参照してください。					⇒38ページ
履歴	⇒99ページ「履歴」を参照してください。					⇒ユーザーズ ガイド 基本編

【コピー】 ボタン

ホーム画面の【コピー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
モノクロ スタート	—	—	—	モノクロまたはグレースケールでコピーします。	—
カラー スタート	—	—	—	カラーコピーをします。	—
(コピー枚数を選択する)	—	—	—	—	—
(拡大/縮小)	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。				—
(コピー濃度)	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。				—
(トレイ選択)	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。				—
(両面コピー)	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。				—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	レシート	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒113ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒111ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒112ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒112ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒112ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒112ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒112ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒112ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	標準	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒113ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒111ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒112ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒112ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒112ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒112ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒112ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒112ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	2in1 (ID)	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒113ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒111ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒112ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒112ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒112ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒112ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒112ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒112ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	2in1	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒113ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒111ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒112ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒112ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒112ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒112ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒112ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒112ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	片面⇒両面	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒113ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒111ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒112ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒112ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒112ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒112ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒112ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒112ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	両面⇒両面	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒113ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒111ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒112ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒112ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒112ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒112ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒112ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒112ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

全体にかかわる設定

ファクス送信

ファクス受信

転送・リモコン

レポート・リスト

USBダイレクト
プリント

必要なときに
確認してほしいこと

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	用紙節約	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒113ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒110ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒110ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒111ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒111ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒111ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒112ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒112ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒112ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒112ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒112ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒112ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—
	モノクロ スタート	—	—	モノクロまたはグレースケールでコピーします。	—
	カラー スタート	—	—	カラーコピーをします。	—
	(コピー枚数を選択する)	—	—	—	—
	設定変更	⇒110ページ「設定変更」を参照してください。			

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	拡大/縮小 ※1	等倍 100%	－	－	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
		拡大	200% 141% A5 ⇒ A4 115% B5 ⇒ A4	コピーしたいサイズに合わせて 設定します。	
		縮小	97% USレター ⇒ A4 94% A4 ⇒ USレター 91% フルページ 87% A4 ⇒ B5 83% 最大 ⇒ A4 70% A4 ⇒ A5 50%		
		カスタム (25-400%)	<u>100</u> [25-400]		
	コピー濃度	－	-2 -1 0 +1 +2 【レイアウトコピー】で 【2in1 (ID)】を選択し たとき -2 <u>-1</u> 0 +1 +2	コピーの濃度を調整します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	トレイ選択	—	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1</u> トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台 設置したとき) ^{※2} 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1>トレイ2</u> 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 トレイ1>トレイ2>多目的トレイ トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台 設置したとき) ^{※3} 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-3</u> 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的 (増設用紙トレイを3台 設置したとき) ^{※4} 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 用紙トレイ#4のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-4</u> 多目的>トレイ4>トレイ3-1 トレイ1>トレイ2-4>多目的 トレイ4>トレイ3-1>多目的	コピーするときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
			オフ 両面⇒両面 片面⇒両面	両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		とじ方向	<u>長辺とじ</u> 短辺とじ		
	両面レイアウト コピー ^{※5} ^{※6}	—	<u>長辺とじ⇒長辺とじ</u> 長辺とじ⇒短辺とじ 短辺とじ⇒長辺とじ 短辺とじ⇒短辺とじ	複数の原稿を1枚の用紙に割り付けて両面コピーします。	⇒ユーザーズガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	コピー画質	—	自動 テキスト 写真 レシート (【レイアウトコピー】 で【2in1(ID)】を選択 したとき) 自動 明るめ	印刷品質に合わせて設定しま す。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
	コントラスト	—	-2 -1 Q +1 +2	コピーのコントラストを調整 します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
	スタック/ソート	—	スタックコピー ソートコピー	複数部コピーするとき、ペー ジごとまたは部数ごとを設定 します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
	レイアウト コ ピー ※7	—	オフ(1in1) 2in1(縦長) 2in1(横長) 2in1(ID) 4in1(縦長) 4in1(横長)	複数の原稿を1枚の用紙に割 り付けてコピーします。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
	カラー調整	レッド	-2 -1 Q +1 +2	画像の赤色部分の色合いを調 整します。	—
		グリーン	-2 -1 Q +1 +2	画像の緑色部分の色合いを調 整します。	—
		ブルー	-2 -1 Q +1 +2	画像の青色部分の色合いを調 整します。	—
	地色除去コピー	—	オフ 弱 中 強	原稿の地色（用紙色または背 景色）がカラーの場合の地色 を消してコピーできます。 白地でない用紙を使った原稿 をコピーするときに、背景に 色を付けるためにトナーが消 費されるのを防ぎます。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
ショートカット 登録	—	—	拡大/縮小 コピー濃度 トレイ選択 両面コピー 両面レイアウトコピー コピー画質 コントラスト スタック/ソート レイアウト コピー レッド グリーン ブルー 地色除去コピー	コピーの機能をお好みの設定 で、名前を付けて登録してお くことができます。	⇒134ページ

- ※ 1：【レイアウトコピー】で【オフ (1in1)】が選択されているときに選択できます。
- ※ 2：オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL) を 1 台増設したときにメニューが表示されます。
- ※ 3：オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL) を 2 台増設したときにメニューが表示されます。
- ※ 4：オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL) を 3 台増設したときにメニューが表示されます。
- ※ 5：【レイアウトコピー】で【2in1 (ID)】が選択されているときは無効になります。
- ※ 6：【両面コピー】で【両面⇒両面】が選択され、【レイアウトコピー】で【オフ (1in1)】が選択されているときは、無効になります。
- ※ 7：【拡大 / 縮小】で【等倍 100%】が選択されているときに選択できます。

【スキャン】 ボタン

ホーム画面の  【スキャン】 を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
USBメモリ	スキャン機能 切り替え	—	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
	(解像度)	⇒122ページ「解像度」を参照してください。				
	(ファイル形式)	⇒122ページ「ファイル形式」を参照してください。				
	(カラー設定)	⇒122ページ「カラー設定」を参照してください。				
	(原稿サイズ)	⇒122ページ「原稿サイズ」を参照してください。				
	設定変更	⇒122ページ「設定変更 (USBメモリのとき)」を参照してください。				
	ショートカッ ト 登録	—	—	解像度 ファイル形式 カラー設定 原稿サイズ 明るさ コントラスト ファイル名 ファイル名項目順序 ファイルサイズ ADF傾き補正 白紙除去 白紙除去レベル調整 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことがで きます。	⇒134ページ
	スタート	—	—	—	スキャンを開始し ます。	⇒ユーザズガイ ドパソコン活用& ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ	
PC	ファイル	スキャン機能切り替え	－	 【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。			
		<USB>	(解像度)	⇒124ページ「解像度」を参照してください。			
			(ファイル形式)	⇒124ページ「ファイル形式」を参照してください。			
			(カラー設定)	⇒124ページ「カラー設定」を参照してください。			
			(原稿サイズ)	⇒125ページ「原稿サイズ」を参照してください。			
			設定変更	⇒124ページ「設定変更（ファイルのとき）」を参照してください。			
			ショートカット 登録	⇒115ページ「ショートカット 登録」を参照してください。			
			スタート	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用＆ネットワーク	
		(PC選択)	(解像度)	⇒124ページ「解像度」を参照してください。			
			(ファイル形式)	⇒124ページ「ファイル形式」を参照してください。			
			(カラー設定)	⇒124ページ「カラー設定」を参照してください。			
			(原稿サイズ)	⇒125ページ「原稿サイズ」を参照してください。			
			設定変更	⇒124ページ「設定変更（ファイルのとき）」を参照してください。			
			ショートカット 登録	PC名 解像度 ファイル形式 カラー設定 原稿サイズ スキャン設定 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒134ページ	
			スタート	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用＆ネットワーク	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
PC	OCR	スキャン機能切り替え	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
		<USB>	(解像度)	⇒126ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒126ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒126ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(原稿サイズ)	⇒126ページ「原稿サイズ」を参照してください。		
			設定変更	⇒126ページ「設定変更 (OCRのとき)」を参照してください。		
			ショートカット 登録	⇒116ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
		(PC選択)	(解像度)	⇒126ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒126ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒126ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(原稿サイズ)	⇒126ページ「原稿サイズ」を参照してください。		
			設定変更	⇒126ページ「設定変更 (OCRのとき)」を参照してください。		
			ショートカット 登録	PC名 解像度 ファイル形式 カラー設定 原稿サイズ スキャン設定 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことが できます。	⇒134ページ
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
PC	イメージ	スキャン機能 切り替え	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
		<USB>	(解像度)	⇒127ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒127ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒127ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(原稿サイズ)	⇒127ページ「原稿サイズ」を参照してください。		
			設定変更	⇒127ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
			ショートカット 登録	⇒117ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
		(PC選択)	(解像度)	⇒127ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒127ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒127ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(原稿サイズ)	⇒127ページ「原稿サイズ」を参照してください。		
			設定変更	⇒127ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
			ショートカット 登録	PC名 解像度 ファイル形式 カラー設定 原稿サイズ スキャン設定 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことが できます。	⇒134ページ
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
PC	Eメール添付	スキャン機能切り替え	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
		<USB>	(解像度)	⇒127ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒127ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒127ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(原稿サイズ)	⇒127ページ「原稿サイズ」を参照してください。		
			設定変更	⇒127ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
			ショートカット 登録	⇒118ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
		(PC選択)	(解像度)	⇒127ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒127ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒127ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(原稿サイズ)	⇒127ページ「原稿サイズ」を参照してください。		
			設定変更	⇒127ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
			ショートカット 登録	PC名 解像度 ファイル形式 カラー設定 原稿サイズ スキャン設定 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことが できます。	⇒134ページ
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ	
Eメール送信 ※1	スキャン機能 切り替え	－	－	あて先を入力していないときに、  【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。			
	キャンセル	－	－	あて先を入力しているときに、  【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。			
	手動入力	－	－	スキャンしたファイルの送付先を入力します。(最大255文字)		⇒ユーザーズガイド パソコン活用＆ ネットワーク	
	電話帳	検索:	－	スキャンしたファイルの送付先を電話帳から設定します。			
		登録/編集	－				
		(電話帳選択)	OK				
	次へ	送信先一覧	－	－	－	－	
		(解像度)	⇒128ページ「解像度」を参照してください。				
		(ファイル形式)	⇒128ページ「ファイル形式」を参照してください。				
		(カラー設定)	⇒129ページ「カラー設定」を参照してください。				
		(原稿サイズ)	⇒129ページ「原稿サイズ」を参照してください。				
		設定変更	⇒128ページ「設定変更（Eメール送信のとき）」を参照してください。				
		ショートカット 登録	－	送信先 解像度 ファイル形式 カラー設定 原稿サイズ 明るさ コントラスト ファイル名 ファイル名項目順序 ファイルサイズ ADF傾き補正 白紙除去 白紙除去レベル調整 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことがで きます。	⇒134ページ	
		スタート	－	－	スキャンを開始し ます。		
		送信先一覧	(電話帳選択)	OK	－	－	－
自分宛	－	－	－	－	セキュリティ機能ロック、Active Directory®またはLDAP認証がオンで、メールアドレスが登録されている場合に表示されます。		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
(S)FTPサーバー	スキャン機能切り替え	—	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
	(プロファイル名選択)	(解像度)	⇒131ページ「解像度」を参照してください。			
		(ファイル形式)	⇒131ページ「ファイル形式」を参照してください。			
		(カラー設定)	⇒131ページ「カラー設定」を参照してください。			
		(原稿サイズ)	⇒131ページ「原稿サイズ」を参照してください。			
		設定変更	⇒131ページ「設定変更 (FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint®のとき)」を参照してください。			
		ショートカット 登録	—	(プロファイル名選択)	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒134ページ
		スタート	—	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
ネットワーク	スキャン機能切り替え	—	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
	(プロファイル名選択)	(解像度)	⇒131ページ「解像度」を参照してください。			
		(ファイル形式)	⇒131ページ「ファイル形式」を参照してください。			
		(カラー設定)	⇒131ページ「カラー設定」を参照してください。			
		(原稿サイズ)	⇒131ページ「原稿サイズ」を参照してください。			
		設定変更	⇒131ページ「設定変更 (FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint®のとき)」を参照してください。			
		ショートカット 登録	—	(プロファイル名選択)	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒134ページ
		スタート	—	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
自分のフォルダ	—	—	—	—	セキュリティ機能ロック、Active Directory®またはLDAP認証がオンで、メールアドレスが登録されている場合に表示されます。	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
SharePoint	スキャン機能切り替え	—	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
	(プロファイル名選択)	(解像度)	⇒131ページ「解像度」を参照してください。			
		(ファイル形式)	⇒131ページ「ファイル形式」を参照してください。			
		(カラー設定)	⇒131ページ「カラー設定」を参照してください。			
		(原稿サイズ)	⇒131ページ「原稿サイズ」を参照してください。			
		設定変更	⇒131ページ「設定変更 (FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint®のとき)」を参照してください。			
		ショートカット 登録	—	(プロファイル名選択)	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒134ページ
		スタート	—	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
クラウド	—	—	—	—	スキャンしたファイルをクラウドに保存します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
Webサービス ※2	スキャン機能切り替え	—	—	—	Webサービスプロトコルを使用してデータをスキャンします。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
	スキャン	—	—	—		
	電子メール用にスキャン	—	—	—		
	FAX用にスキャン	—	—	—		
	印刷用にスキャン	—	—	—		

※ 1：インターネットファクスのダウンロードが必要です。

※ 2：Web サービススキャン機能をインストールした場合に表示されます。

設定変更（USBメモリのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容
解像度	—	100 dpi 150 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi 自動※ ¹	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※ ¹ PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDF シングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDF シングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDF シングルページ※ ² 高圧縮PDF マルチページ※ ² XPS※ ¹ TIFF シングルページ※ ³ TIFF マルチページ※ ³	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定	—	<u>カラー</u> グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
原稿サイズ	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※ ⁴ USレター リーガル フォリオ	スキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ	—	-50 -40 -30 -20 -10 <u>0</u> +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。

サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
コントラスト ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ファイル名 ※5	—	BRNXXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。 【手動設定】を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。 (最大64文字)
ファイル名項目順序	—	名前_日付_カウンタ 名前_日付 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_名前 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。
ファイルサイズ ※7※8	—	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
ADF傾き補正	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去	—	オン※9 オフ	白紙除去機能を設定します。
白紙除去レベル調整 ※10	—	-5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5	白紙除去機能のレベルを設定します。
地色除去 ※1	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
設定を保持する ※11	解像度 ファイル形式 カラー設定 原稿サイズ 明るさ コントラスト ファイルサイズ ADF傾き補正 白紙除去 白紙除去レベル調整 地色除去	はい いいえ	設定を保持するかしないかを設定します。
設定をリセットする ※11	—	はい いいえ	設定をリセットするかしないかを設定します。

※ 1:【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。

※ 2:【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに選択できます。

※ 3:【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。

※ 4:【白紙除去】が【オン】に設定されているときは選択できません。

※ 5:【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは選択できません。

※ 6: ウェブブラウザからのみ名前を変更できます。

※ 7:【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに選択できます。

※ 8:【ファイル形式】が【高圧縮 PDF シングルページ】または【高圧縮 PDF マルチページ】に設定されているときは選択できません。

※ 9:【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは選択できません。

※ 10:【白紙除去】が【オフ】に設定されているときは選択できません。

※ 11: [セキュリティ機能ロック] または [セキュリティ設定ロック] の設定中は選択できません。

設定変更（ファイルのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
解像度 ※1	—	100 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式 ※1	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※2 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定 ※1	—	<u>カラー</u> グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
原稿サイズ ※1	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
スキャン設定 ※4	—	本体から設定する <u>パソコンから設定する</u>	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。
明るさ ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト ※1※2	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ADF傾き補正 ※1	—	自動 <u>オフ</u>	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去 ※1	—	オン <u>オフ</u>	白紙除去機能を設定します。
地色除去 ※1※2	—	<u>オフ</u> 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※ 1：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ選択できます。

※ 2：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。

※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。

※ 4：【設定変更】を押すと【本体から設定する】に変更されます。

設定変更（OCRのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
解像度 ※1	—	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式 ※1	—	Text HTML RTF	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定 ※1	—	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
原稿サイズ ※1	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
スキャン設定 ※2	—	本体から設定する パソコンから設定する	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。
明るさ ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 Q +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト ※1※3	—	-50 -40 -30 -20 -10 Q +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ADF傾き補正 ※1	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
白紙除去 ※1	—	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去 ※1※3	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※ 1：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ選択できます。

※ 2：【設定変更】を押すと【本体から設定する】に変更されます。

※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときは選択できません。

設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）

詳しくは、⇒ユーザズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
解像度 ※1	—	100 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式 ※1	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※2 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定 ※1	—	<u>カラー</u> グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
原稿サイズ ※1	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
スキャン設定 ※4	—	本体から設定する <u>パソコンから設定する</u>	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。
明るさ ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 <u>0</u> +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
コントラスト ※1※2	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ADF傾き補正 ※1	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去 ※1	—	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去 ※1※2	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※ 1：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ選択できます。

※ 2：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。

※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。

※ 4：【設定変更】を押すと【本体から設定する】に変更されます。

設定変更（Eメール送信のとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
インターネットファクスのダウンロードが必要です。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
解像度	—	100 dpi 150 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi 自動※1	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※1 PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDF シングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDF シングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDF シングルページ※2 高圧縮PDF マルチページ※2 XPS※1 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
カラー設定	—	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
原稿サイズ	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※4 USレター リーガル フォリオ	スキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ	—	-50 -40 -30 -20 -10 Q +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 Q +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ファイル名 ※5	—	BRNXXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。 【手動設定】を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。 (最大64文字)
ファイル名項目順序	—	名前_日付_カウンタ 名前_日付 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_名前 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。
ファイルサイズ ※7※8	—	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
ADF傾き補正	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
白紙除去	—	オン ^{※9} オフ	白紙除去機能を設定します。
白紙除去レベル調整 ※10	—	-5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5	白紙除去機能のレベルを設定します。
地色除去 ※1	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。
設定を保持する ※11	解像度 ファイル形式 カラー設定 原稿サイズ 明るさ コントラスト ファイルサイズ ADF傾き補正 白紙除去 白紙除去レベル調整 地色除去	はい いいえ	設定を保持するかしないかを設定します。
設定をリセットする ※11	—	はい いいえ	設定をリセットするかしないかを設定します。

※ 1：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。

※ 2：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに選択できます。

※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。

※ 4：【白紙除去】が【オン】に設定されているときは選択できません。

※ 5：【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは選択できません。

※ 6：ウェブブラウザからのみ名前を変更できます。

※ 7：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに選択できます。

※ 8：【ファイル形式】が【高圧縮 PDF シングルページ】または【高圧縮 PDF マルチページ】に設定されているときは選択できません。

※ 9：【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは選択できません。

※ 10：【白紙除去】が【オフ】に設定されているときは選択できません。

※ 11：【セキュリティ機能ロック】または【セキュリティ設定ロック】の設定中は選択できません。

設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint®のとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
解像度	—	100 dpi 150 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi 自動※ ¹	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※ ¹ PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDF シングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDF シングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDF シングルページ※ ² 高圧縮PDF マルチページ※ ² XPS※ ¹ TIFF シングルページ※ ³ TIFF マルチページ※ ³	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定	—	<u>カラー</u> グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
原稿サイズ	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※ ⁴ USレター リーガル フォリオ	スキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ	—	-50 -40 -30 -20 -10 <u>0</u> +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
コントラスト ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ファイル名 ※5	—	BRNXXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。 【手動設定】を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。 (S)FTPサーバー：最大32文字 (ネットワーク、SharePoint®：最大64文字)
ファイル名項目順序	—	名前_日付_カウンタ 名前_日付 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_名前 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。
ファイルサイズ ※7※8	—	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
ADF傾き補正	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去	—	オン※9 オフ	白紙除去機能を設定します。
白紙除去レベル調整 ※10	—	-5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5	白紙除去機能のレベルを設定します。
地色除去 ※1	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。
ユーザー名	—	—	ユーザー名を設定します。

第7章 必要なときに確認してほしいこと

- ※ 1:【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。
- ※ 2:【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに選択できます。
- ※ 3:【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。
- ※ 4:【白紙除去】が【オン】に設定されているときは選択できません。
- ※ 5:【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは選択できません。
- ※ 6: ウェブブラウザからのみ名前を変更できます。
- ※ 7:【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに選択できます。
- ※ 8:【ファイル形式】が【高圧縮 PDF シングルページ】または【高圧縮 PDF マルチページ】に設定されているときは選択できません。
- ※ 9:【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは選択できません。
- ※ 10:【白紙除去】が【オフ】に設定されているときは選択できません。

その他の機能

ホーム画面から以下の設定ができます。

トナーボタン

ホーム画面の  トナーボタンを押して表示される画面で、トナーに関する以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
トナー残量	—	—	トナーの残量を表示します。
テストプリント	—	—	印刷テストを行います。
色補正	色補正実施	—	色補正を行います。
	リセット	—	
色ずれ補正	—	—	各カラーの印刷位置を調整します。

WiFi Wi-Fi設定ボタン

ホーム画面の  Wi-Fi設定ボタンを押して表示される画面で、無線LANの設定ができます。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	内容
TCP/IP※	無線LANのTCP/IPの設定をします。
無線接続ウィザード	無線LANの機器を検索し、接続を行います。
接続アシスタント	ドライバー / ユーティリティ CD-ROMを使用して無線LAN設定を行います。
WPS	WPS機能を使って自動接続を行います。
WPS(PINコード)※	WPS (PINコード) で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
無線状態※	無線LANの接続状態を表示します。
MACアドレス※	無線LANのMACアドレスを表示します。
初期設定に戻す※	無線LANのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
無線LAN有効※	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。

※：無線 LAN 接続時に表示されます。

【ショートカット】 ボタン

ホーム画面の  【ショートカット】 ボタンを押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
編集/ 消去	(編集/消去する ショートカットを選 んでください)	名前の変更	—	選択したショートカットの 名前を編集します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
		編集※1	—	選択したショートカットの 設定内容を変更します。	
		消去	—	選択したショートカットを 消去します。	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
ショートカット登録	コピー	レシート	⇒102ページ「【コピー】ボタン」を参照してください。	ショートカットに登録する機能を選択します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		標準			
		2in1 (ID)			
		2in1			
		片面⇒両面			
		両面⇒両面			
		用紙節約			
	ファクス	送信先	⇒99ページ「【ファクス】ボタン」を参照してください。	ショートカットに登録する機能を選択します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		ファクス画質			
		原稿濃度			
		原稿台スキャンサイズ			
		同報送信			
		リアルタイム送信			
		送付書設定			
		海外送信モード			
	スキャン	ファイル	⇒114ページ「【スキャン】ボタン」を参照してください。	ショートカットに登録する機能を選択します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		OCR			
		イメージ			
		USBメモリ			
		Eメール添付			
		Eメール送信※2			
		ネットワーク			
		FTP/SFTPサーバー			
		SharePoint			
	クラウド	—	⇒136ページ「【クラウド】ボタン」を参照してください。	ショートカットに登録する機能を選択します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	お役立ちツール	手書きトリミングスキャン	⇒136ページ「【お役立ちツール】ボタン」を参照してください。	ショートカットに登録するお役立ちツールを選択します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
		手書きトリミングコピー			
		折りメモ			

※ 1：【クラウド】、【お役立ちツール】以外のショートカットのみ、ショートカット名を押すと表示されます。

※ 2：インターネットファクスのダウンロードが必要です。



【セキュリティ印刷】 ボタン

ホーム画面の 【セキュリティ印刷】 ボタンを押して表示される画面で、セキュリティ印刷を行います。セキュリティ印刷は、パソコンから文書の印刷を指示するとき、パスワードを設定して本製用紙品のメモリーにデータを保存します。印刷するときは、本製品の操作パネルからパスワードを入力することで印刷ができます。機密文書などを印刷するときに活用できます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
セキュリティ印刷	(ユーザー選択)	(印刷ジョブの選択)	4桁のパスワードを入力して、本機に保存したデータを印刷できます。 セキュリティ印刷データが本機に保存されているときに使用できます。



【クラウド】 ボタン

ホーム画面の 【クラウド】 ボタンを押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
OneDrive	ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
Dropbox		
Connect to Google Drive™		
EVERNOTE®		
Box		
Facebook		
OneNote		
FLICKR®		



【お役立ちツール】 ボタン

ホーム画面の 【お役立ちツール】 ボタンを押して表示される画面で、スキャンやコピーをよりいっそう便利にするクラウド上のアプリを利用することができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
手書きトリミングスキャン	スキャンやコピーをよりいっそう便利にするクラウド上のアプリを利用することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
手書きトリミングコピー		
折りメモ		



【USB】 ボタン

ホーム画面の 【USB】 ボタンを押して表示される画面で、USB メモリーへのスキャンデータの保存と USB メモリーから直接印刷ができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
スキャン to USB	スキャンしたデータをUSBメモリーに保存します。	⇒122ページ
USBダイレクトプリント	USBメモリー内のデータを直接印刷します。 ⇒137ページ「【USBダイレクトプリント】」を参照してください。	

【USBダイレクトプリント】

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
(表示されたUSBメモリー内のファイル名を選択)	テンポラリ設定	用紙タイプ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙 光沢紙	用紙タイプを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
		用紙サイズ	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙サイズを設定します。	
		レイアウト	1in1 2in1※1 4in1※1 9in1※1 16in1※1 25in1※1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	Nin1を設定します。	
		印刷の向き※2	縦長 横長	印刷方向を設定します。	
		両面印刷	オフ※1 長辺とじ 短辺とじ	両面印刷時の内容を設定します。	
		部単位	オン オフ	部単位で印刷するかどうかを設定します。	
		トレイ選択	自動 多目的トレイのみ 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ※3 用紙トレイ#3のみ※4 用紙トレイ#4のみ※5	USBダイレクトプリントするときに給紙する用紙トレイを設定します。	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
(表示された USB メモリー 内のファイル 名を選択)	テンポラリ設定	プリント画質	標準 きれい	印刷画質を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネット ワーク
		PDF オプション	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDF オプションを設定し ます。	
	(印刷枚数の設 定)	—	1~999	印刷枚数を1枚単位で設定 します。	
	モノクロ スタート	—	—	モノクロまたはグレース ケールでUSBダイレクト プリントを開始します。	
	カラー スタート	—	—	カラーでUSBダイレクト プリントを開始します。	
インデックス プリント	—	—	—	インデックスシートを印刷 します。	⇒60ページ
デフォルト設定	用紙タイプ	—	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙 光沢紙	用紙タイプを設定します。	⇒61ページ
	用紙サイズ	—	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙サイズを設定します。	
	レイアウト	—	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	Nin1 を設定します。	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
デフォルト設定	印刷の向き	—	縦長 横長	印刷方向を設定します。	⇒61ページ
	部単位	—	オン オフ	部単位を設定します。	
	プリント画質	—	標準 きれい	印刷画質を設定します。	
	PDF オプション	—	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	
	インデックスプリント	—	簡易 詳細	インデックスシート的方式を設定します。	

※ 1 : JPEG 形式時は表示されません。

※ 2 : JPEG 形式時のみ選択することができます。

※ 3 : オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL) を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 4 : オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL) を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 5 : オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL) を 3 台増設したときにメニューが表示されます。



【2 in 1 IDコピー】 ボタン

ホーム画面の  【2 in 1 IDコピー】 を押して、2in1 (ID) コピーを設定できます。
⇒105ページ「2in1(ID)」を参照してください。

機能一覧(MFC-L9570CDW)

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージに従って、登録や設定を行います。下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

【全てメニュー】ボタン

ホーム画面の  【全てのメニュー】を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

基本設定

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	用紙タイプ	多目的トレイ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙 光沢紙	用紙トレイにセットした用紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒ユーザズガイド 基本編
		用紙トレイ#1	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 ハガキ レターヘッド カラー用紙		
		用紙トレイ#2 ※1	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 レターヘッド カラー用紙		
		用紙トレイ#3 ※2	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 レターヘッド カラー用紙		
		用紙トレイ#4 ※3	普通紙 普通紙(厚め) 再生紙 レターヘッド カラー用紙		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	用紙サイズ	多目的トレイ	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	⇒ユーザズガイド 基本編
		用紙トレイ#1	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 ハガキ		
		用紙トレイ#2 ※1	A4 USレター B5(JIS) A5 B6(JIS)		
		用紙トレイ#3 ※2	A4 USレター B5(JIS) A5 B6(JIS)		
		用紙トレイ#4 ※3	A4 USレター B5(JIS) A5 B6(JIS)		
	用紙残量通知	用紙残量通知	オン オフ	用紙残量通知を表示するかどうかを設定します。表示するときは【オン】に設定します。	⇒ユーザズガイド 基本編
		通知レベル	残量 少 残量 極少	用紙残量通知を表示するときの、用紙残量レベルを設定します。	
	トレイ開閉時 確認	—	オン オフ	本体の設定と、用紙トレイにセットした用紙サイズが一致しているか確認を促すメッセージを表示するときは【オン】に設定します。	⇒ユーザズガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	トレイ選択: コピー	—	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1</u> トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1>トレイ2</u> 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 トレイ1>トレイ2>多目的トレイ トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-3</u> 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的 (増設用紙トレイを3台設置したとき) ※3 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 用紙トレイ#4のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-4</u> 多目的>トレイ4>トレイ3-1 トレイ1>トレイ2-4>多目的 トレイ4>トレイ3-1>多目的	コピーするときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒8ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	トレイ選択: ファクス	—	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1 <u>トレイ1>多目的トレイ</u> (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ 多目的トレイ>トレイ1>トレイ2 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 <u>トレイ1>トレイ2>多目的トレイ</u> トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ 多目的>トレイ1>トレイ2-3 多目的>トレイ3>トレイ2-1 <u>トレイ1>トレイ2-3>多目的</u> トレイ3>トレイ2-1>多目的 (増設用紙トレイを3台設置したとき) ※3 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 用紙トレイ#4のみ 多目的トレイのみ 多目的>トレイ1>トレイ2-4 多目的>トレイ4>トレイ3-1 <u>トレイ1>トレイ2-4>多目的</u> トレイ4>トレイ3-1>多目的	ファクスを印刷するときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒8ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
用紙トレイ設定	トレイ選択: プリント	—	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1</u> トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台設置したとき) ※1 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1>トレイ2</u> 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 トレイ1>トレイ2>多目的トレイ トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台設置したとき) ※2 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-3</u> 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的 (増設用紙トレイを3台設置したとき) ※3 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 用紙トレイ#4のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-4</u> 多目的>トレイ4>トレイ3-1 トレイ1>トレイ2-4>多目的 トレイ4>トレイ3-1>多目的	プリンター印刷するときに給紙する用紙トレイの優先順位を設定します。	⇒8ページ
音量	着信音量	—	切 小 中 大	着信音量を設定します。	⇒10ページ
	ボタン確認 音量	—	切 小 中 大	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒10ページ
	スピーカー 音量	—	切 小 中 大	スピーカーの音量を設定します。	⇒10ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
画面の明るさ	画面の明るさ	—	明るく 標準 暗く	画面の明るさを設定します。	⇒13ページ
	照明ダウタイマー	—	10秒 30秒 1分 2分 3分 5分	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	⇒13ページ
通知画面設定	スキャン結果 (白紙除去)	—	オン オフ	スキャン結果から白紙を取り除きます。	
省エネモード	トナー節約モード	—	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。【オン】に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒11ページ
	スリープモード	—	1分 (0-50分)	スリープモードに切り替わるまでの時間を0～50分の間で設定します。	⇒11ページ
	静音モード	—	オン オフ	印刷時の動作音を静かにすることができます。【オン】に設定すると、印字速度が遅くなります。	⇒11ページ
	自動電源オフ	—	オフ 1時間 2時間 4時間 8時間	本製品がディープスリープモードの状態である一定の時間が経過すると、自動的に電源をオフにすることができます。	⇒12ページ

※ 1：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL/LT-340CL）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 2：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL/LT-340CL）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 3：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL/LT-340CL）を 3 台増設したときにメニューが表示されます。

ショートカット設定

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
(ショートカットボタンを選ぶ)	名前の変更	－	ショートカット 1～8の画面に登録するメニューや機能の編集をします。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	編集			
	消去			
	NFCカードの登録	－	ショートカットをNFCカードに登録します。 登録したNFCカードを操作パネルにあるNFCマークに当てると、登録したショートカットがタッチパネルに表示されます。	
	NFCカード削除			

ファクス

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
受信設定	受信モード	—	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	ファクスの受信モードを設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	ファクス無鳴動受信	—	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	呼出ベル回数	—	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のとき、着信してから自動受信するまでの呼び出しベル回数を0～10回の間で設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	電話機の接続	—	ガイドに沿って設定 初期値に戻す	外付け電話を接続している場合に、外付け電話を使用するための設定をします。	
	再呼出ベル回数	—	8 15 20	受信モードが【F/T=自動切換え】のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼び出しベル回数を設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	みるだけ受信	—	オン(画面で確認) オフ(受信したら印刷)	ファクスを受信したときに印刷するか、画面で確認するかを設定します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
	親切受信	—	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話を取ってしまった場合でも、本製品の【スタート】を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒47ページ
	リモート受信	リモート受信	オン オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒48ページ
		起動番号	#51		
	自動縮小	—	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒50ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
受信設定	PCファクス受信	—	オン オフ	本製品と接続されているパソコンにファクスを受信させるときに設定します。【オン】に設定すると、メモリー受信は自動的に【オフ】に設定されます。	⇒52ページ
	メモリー受信	—	オフ ファクス転送 電話呼び出し メモリー保持のみ ファクス クラウド転送	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。【オフ】以外に設定すると、PCファクス受信は自動的に【オフ】に設定されます。	⇒45ページ
		ファクス転送	手動入力 OK 本体でも印刷する 本体では印刷しない 電話帳 (登録されている相手先を選択) 本体でも印刷する 本体では印刷しない		⇒51ページ
		電話呼び出し	(最大20桁)		⇒46ページ
	迷惑リスト	—	登録 消去 レポート印刷	迷惑リストを設定します。	⇒49ページ
	受信スタンプ	—	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	⇒49ページ
	両面印刷	—	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒49ページ
送信設定	とりまとめ送信	—	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒31ページ
	送付書設定	印刷サンプル	—	送付書をサンプルとして印刷します。	⇒34ページ
		送付書コメント	—	送付書のコメントを作成します。	⇒33ページ
	自動再ダイヤル	—	オン オフ	自動再ダイヤルの設定をします。	⇒38ページ
	送信先表示	—	表示 非表示	ファクス送信の宛先情報を画面に表示します。	⇒34ページ
電話回線診断	—	—	—	本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。	⇒42ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
レポート設定	送信結果レポート	—	送信毎に印刷 送信毎に印刷 (+画像) エラー時のみ <u>エラー時のみ (+画像)</u> 印刷しない	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒57、59ページ
	通信管理レポート	通信管理レポート	レポート出力しない <u>50件ごと</u> 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒59ページ
		印刷時刻指定	0:00	【通信管理レポート】で【レポート出力しない】、【50件ごと】以外に設定したときにレポートが印刷される時間を設定します。	
		曜日指定	月曜日ごと 火曜日ごと 水曜日ごと 木曜日ごと 金曜日ごと 土曜日ごと 日曜日ごと	【通信管理レポート】で【7日ごと】に設定したときにレポートが印刷される曜日を設定します。	
ファクス出力	—	—	—	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒45ページ
暗証番号	—	—	---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒53ページ
ダイヤル制限機能	直接入力	—	2度入力 オン <u>オフ</u>	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒40ページ
	電話帳	—	2度入力 オン <u>オフ</u>		
	ショートカット	—	2度入力 オン <u>オフ</u>		
	LDAPサーバー	—	2度入力 オン <u>オフ</u>		
通信待ち一覧	—	—	—	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒34ページ
ナンバーディスプレイ	—	—	オン <u>オフ</u> 外付け電話優先	ナンバー・ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。	⇒26ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
データコネクト設定	IPファクス	—	専用 優先 オフ	IPファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	⇒41ページ
	通信速度	—	自動 標準 高速 最高速	IPファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	⇒41ページ

プリンター

詳しくは、⇒ユーザズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容
エミュレーション	—	—	自動 HP LaserJet BR-Script 3	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。
画質	—	—	標準 高画質	印刷画質を選択します。
プリンター オプション	フォント リスト	HP LaserJet	—	内蔵フォントの種類を印刷します。
		BR-Script 3	—	
	テストプリント	—	—	テストチャートを印刷します。
両面印刷	両面印刷	—	オフ 長辺とじ 短辺とじ	両面印刷時の内容を設定します。
	片面データ搬送方式	—	両面搬送経路 片面搬送経路	最終ページの印刷面が片面のときは、【片面搬送経路】を選択すると最終ページが片面搬送経路で排出されるために印刷時間を短縮できます。 レターヘッドや印刷済み用紙を使用する場合は、【両面搬送経路】を選択してください。【片面搬送経路】が選択されていると最終ページのみ印刷面が反対になります。
エラー解除	—	—	オン オフ	【オン】に設定すると、用紙サイズのエラーを自動解除して、用紙トレイにセットされた用紙を使用して給紙を続けます。
印刷カラー	—	—	自動 カラー モノクロ	プリンターから印刷するときのカラーモードを設定します。
HP トレイ コマンド	—	—	LJ4 LJ3	最新のHP LaserJetエミュレーションを選択します。
プリンター リセット	—	—	はい いいえ	プリンターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容
画質補正	色補正	色補正実施	－	色補正を行います。
		リセット	－	実行した色補正を初期値に戻します。
	色ずれ補正	－	－	各カラーの印刷位置を調整します。
	定期色ずれ補正	－	オン オフ	色補正と色ずれ補正を定期的に行う設定をします。
	カラー設定	設定元	本体から設定する ドライバーから設定する	カラー設定の設定元を選択します。
		カラーモード	標準 鮮やかな色合い なし 自動	カラーモードを選択します。
		グレーの色味を改善	オン オフ	グレー領域の画質の調整をします。
		黒を強調	オン オフ	グレーまたは黒の画像が正しく印刷されない場合は【オフ】にしてください。
		明るさ	-20 -10 0 +10 +20	明るさを調整します。
		コントラスト	-20 -10 0 +10 +20	コントラストを調整します。
		赤	-20 -10 0 +10 +20	赤色の色合いを調整します。
		緑	-20 -10 0 +10 +20	緑色の色合いを調整します。
		青	-20 -10 0 +10 +20	青色の色合いを調整します。

ネットワーク

詳しくは、⇒ユーザズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容
有線LAN	TCP/IP	IP取得方法	－	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
			IP設定リトライ	3 [0-32767]	【IP取得方法】で【Static】以外を選択した場合に設定します。
		IP アドレス	－	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	IPアドレスを設定します。
		サブネット マスク	－	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ	－	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		ノード名	－	BRNxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		WINS設定	－	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		WINS サーバー	プライマリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		DNS サーバー	プライマリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		APIPA	－	オン オフ	APIPAを設定します。
		IPv6	－	オン オフ	IPv6を設定します。
	イーサネット	－	－	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto : 自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/ 10B-FD/10B-HD : それぞれのリンクモードに 固定されます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
有線LAN	有線LAN状態	—	—	アクティブ1000B-FD アクティブ100B-FD アクティブ100B-HD アクティブ10B-FD アクティブ10B-HD 未接続 有線LANオフ	有線LANの接続状態を表示します。
	MACアドレス	—	—	—	MACアドレスを表示します。
	初期設定に戻す	—	—	はい いいえ	有線LAN のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	有線LAN有効	—	—	オン オフ	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
無線LAN	TCP/IP	IP取得方法	—	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
			IP設定リトライ	3 [0-32767]	【IP取得方法】で【Static】以外を選択した場合に設定します。
		IP アドレス	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	IPアドレスを設定します。
		サブネット マスク	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ	—	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		ノード名	—	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		WINS設定	—	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		WINS サーバー	プライマリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	WINSサーバーを設定します。
			セカンダリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		DNS サーバー	プライマリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	DNSサーバーを設定します。
			セカンダリ	000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
		APIPA	—	オン オフ	APIPAを設定します。
		IPv6	—	オン オフ	IPv6を設定します。
	無線接続ウィザード	—	—	—	ウィザード形式で無線LANの設定をします。
	接続アシスタント	—	—	—	ドライバー / ユーティリティ CD-ROMを使用して無線LAN設定を行います。(Windows®のみ)
	WPS	—	—	—	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
	WPS (PINコード)	—	—	—	WPS (PINコード) で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
無線LAN	無線状態	接続状態	—	アクティブ(11b) アクティブ(11g) アクティブ(11n) 有線LANアクティブ 未接続 接続に失敗しました：	接続状態を表示します。
		電波状態	—	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
		SSID	—	—	SSID (ネットワーク名) を表示します。
		通信モード	—	インフラストラクチャ なし	通信モードを表示します。
	MACアドレス	—	—	—	MACアドレスを表示します。
	初期設定に戻す	—	—	はい いいえ	無線LANのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	無線LAN有効	—	—	オン オフ	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続	—	—	—	ボタンを押すだけで簡単にWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	PINコード接続	—	—	—	WPS (PIN方式) で簡単にWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	手動接続	—	—	—	手動でWi-Fi Directネットワーク接続ができます。
	グループオーナー	—	—	オン オフ	本製品をグループオーナーに設定できます。
	デバイス情報	デバイス名	—	(デバイス名)	デバイス名を表示します。
		SSID	—	(自分のSSID) (接続相手のSSID) 未接続	グループオーナーのSSID (ネットワーク名) を表示します。
		IPアドレス	—	—	本製品のIPアドレスを表示します。
	接続情報	接続状態	—	グループオーナー (**) クライアント アクティブ 未接続 Wi-Fi Direct オフ	接続状態を表示します。 (**) は接続数
		電波状態	—	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
	インターフェース有効	—	—	オン オフ	Wi-Fi Direct接続の有効/無効を設定します。 リセット後の60分間は初期値はオンになります。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
NFC	—	—	—	オン オフ	NFCの機能を有効/無効を設定します。
Eメール/IFAX	メール アドレス	—	—	—	メールアドレスを設定します。(最大255文字)
	サーバー設定	SMTP	サーバー	サーバー名	SMTPサーバーを設定します。(最大64文字)
				IP アドレス 000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
			ポート	25 [1-65535]	SMTP認証を行うポート番号を設定します。
			SMTP認証	認証しない SMTP認証	SMTPの認証方式を設定します。
			SSL/TLS	認証しない SSL TLS	SMTPの暗号化方式を設定します。
			証明書の検証	オン オフ	SMTPサーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
		POP3/ IMAP4	プロトコル	POP3 IMAP4	インターネットに接続するプロトコルを設定します。
			サーバー	サーバー名	POP3またはIMAP4サーバーを設定します。(最大64文字)
				IP アドレス 000.000.000.000 [000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]	
			ポート	110 [1-65535]	POP3またはIMAP4で使用するポート番号を設定します。
			アカウント名	—	アカウント名を設定します。(最大60文字)
			パスワード	—	POP3またはIMAP4サーバーにログインするパスワードを設定します。(最大32文字)
			フォルダ選択※	初期値 (受信トレイ) 特定のフォルダ	受信先を設定します。【特定のフォルダ】を指定する場合、アドレスも設定します。(最大60文字)
			SSL/TLS	認証しない SSL TLS	POP3またはIMAP4の暗号化方式を設定します。
			証明書の検証	オン オフ	POP3またはIMAP4サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
			APOP	オン オフ	アカウントやパスワードのセキュリティを保つため、APOPの設定を行います。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
Eメール/IFAX	メール 受信設定	自動受信	自動受信	オン オフ	メールの自動受信を設定します。
			ポーリング間隔	1分 3分 5分 10分 30分 60分	【自動受信】で【オン】を選んだ場合に、POP3またはIMAP4サーバーへアクセスする間隔を設定します。
		ヘッダー印刷	—	全て ヘッダー のみ なし	メールヘッダー印刷を設定します。
		エラーメール 削除/閲覧	—	オン オフ	エラーメールの自動削除を設定します。
		受信確認	—	オン MDN オフ	通知メッセージを設定します。
	メール 送信設定	メール タイトル	—	Internet Fax Job	メールタイトルを設定します。
		サイズ制限	サイズ制限	オン オフ	メールサイズ制限と最大サイズを設定します。【オン】に設定すると、【最大サイズ (MB)】で設定したサイズより大きいときは警告が表示されメールを送信することができません。
			最大サイズ(MB)	—	
		受信確認要求	—	オン オフ	通知メッセージを設定します。
	リレー 設定	リレー 許可	—	オン オフ	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線でファクスに転送します。
		許可 ドメイン	—	リレー XX	転送を許可するドキュメント名を登録します。
		リレー レポート	—	オン オフ	転送したあとのレポート出力を設定します。
	手動受信	—	—	—	メールの手動受信を設定をします。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
Web接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由 接続	—	オン オフ	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。
		アドレス	—	—	プロキシサーバーのアドレスを設定します。
		ポート	—	8080 [1-65535]	プロキシサーバーのポート番号を表示します。
		ユーザー名	—	—	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。
		パスワード	—	—	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。
IPsec	—	—	—	オン オフ	IPsecの有効/無効を設定します。
ネットワーク設定 リセット	—	—	—	OK キャンセル	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※：【プロトコル】で【IMAP4】を選択した場合のみ。

レポート印刷

詳しくは、⇒57ページ「レポート・リスト」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	内容
送信結果レポート	表示	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。
	印刷	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
電話帳リスト	—	電話帳に登録されている内容を印刷します。
通信管理レポート	—	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
設定内容リスト	—	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
プリンター設定	—	プリンターの設定値内容を印刷します。
ネットワーク設定リスト	—	ネットワークの設定値内容を印刷します。
ファイルリスト印刷	—	メモリーに保存されたファイルの一覧を印刷します。
ドラム汚れ印刷	—	感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。
無線LANレポート	—	無線LANの現在の接続状況を印刷します。
着信履歴リスト	—	着信した履歴を印刷します。

製品情報

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	内容	参照ページ
シリアル No.	－	－	シリアルNo.を表示します。	⇒70ページ
ファームウェアバージョン	Main バージョン	－	本製品のファームウェアバージョンを表示します。	
	Sub1 バージョン	－		
印刷枚数表示	合計	カラー	お買い上げ時から今までに印刷したカラー、モノクロそれぞれの枚数を表示します。	
		モノクロ		
	ファクス	－		
	コピー	カラー		
		モノクロ		
	プリンター	カラー		
		モノクロ		
	その他	カラー		
モノクロ				
消耗品寿命※1	ドラム 寿命	－	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	
	ベルト 寿命	－	ベルトユニット寿命までの残り%を表示します。	
	ヒーター 寿命	－	定着器ユニット（ヒーター）（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
	レーザー 寿命	－	レーザーユニット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
	PF キットMP 寿命	－	用紙トレイPF キット（MP/1/2/3/4）（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
	PF キット1 寿命	－		
	PF キット2 寿命※2	－		
	PF キット3 寿命※3	－		
	PF キット4 寿命※4	－		

※ 1：使用環境や用紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

※ 2：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL/LT-340CL）を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 3：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL/LT-340CL）を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 4：オプションの増設用紙トレイ（LT-330CL/LT-340CL）を 3 台増設したときにメニューが表示されます。

初期設定

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
時計セット	日付	<u>2018.01.01</u>	現在の日付を設定します。	⇒14ページ
	時刻	<u>00:00</u>	現在の時刻を設定します。	⇒14ページ
	タイム ゾーン	UTC+09:00	本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。	⇒14ページ
発信元登録	ファクス	—	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	⇒32ページ
	電話	—		
	名前	—		

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
回線種別設定	—	ブッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒9ページ
ダイヤルトーン設定	—	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	⇒42ページ
外線番号	—	オン オフ	構内交換機（PBX）使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。	⇒43ページ
特別回線対応	—	一般 PBX 光・ISDN	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒42ページ
安心通信モード	—	高速 標準 安心(VoIP)	安心通信モードに設定します。	⇒43ページ
設定リセット	機能設定リセット	OK キャンセル	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒73ページ
	ネットワーク設定リセット	OK キャンセル	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	
	電話帳&ファクスリセット	OK キャンセル	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。	
	全設定リセット	OK キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報を初期値に戻します。	
	出荷状態リセット	OK キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。	
表示言語設定	—	日本語 English	画面に表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	⇒13ページ

サービス

【印刷できません】などのエラーが解決されない場合に【サービス】メニューが表示されます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
データ転送	ファクス転送	—	ファクスが印刷できないときに、ファクスデータや通信管理レポートを別のファクス機で印刷します。	⇒ユーザズガイド 基本編
	レポート転送	—		

【ファクス】 ボタン

ホーム画面の  【ファクス】 を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

みるだけ受信がオフのとき

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
再ダイヤル	—	—	—	—	直前に送信した相手先をダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルから、ポーズボタンに変わります。	⇒38ページ
ポーズ	—	—	—	—		
オンフック	—	—	—	—	受話器を置いたままダイヤルします。押すと電話回線につながります。	⇒ユーザーズガイド 基本編
(ファクス画質)	⇒161ページ「ファクス画質」を参照してください。					—
(原稿濃度)	⇒161ページ「原稿濃度」を参照してください。					—
(両面ファクス)	⇒161ページ「両面ファクス」を参照してください。					—
電話帳	 (検索)	—	—	—	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	⇒38ページ
	登録/編集	電話帳登録	名前 ヨミガナ 宛先	—		
		グループ登録	名前 ヨミガナ 追加/消去	—		
		変更	(登録されている相手先を選択)	名前 ヨミガナ 宛先		
		消去	—	—		
	(登録されている相手先を選択)	送信先に設定	—	—		
履歴	発信履歴	(履歴を選択)	設定	電話帳に登録 消去	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
			送信先に 設定	—		
	着信履歴	(履歴を選択)	設定	電話帳に登録 消去		
スタート	—	—	—	—	ファクスを送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	ファクス画質	—	—	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質を一時的に設定します。	⇒35ページ
	原稿濃度	—	—	自動 濃く 薄く	原稿のコントラスト（色の濃度）を調整します。	⇒35ページ
	両面ファクス	—	—	オフ 両面スキャン長辺とじ原稿 両面スキャン短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒36ページ
	原稿台スキャンサイズ	—	—	USレター A4 リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒36ページ
	同報送信	番号追加	手動入力	—	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	⇒27ページ
			電話帳から選択	—		
			検索して選択	—		
	タイマー送信	タイマー送信	—	オン オフ	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒30ページ
		指定時刻	—	—		
	リアルタイム送信	—	—	オン オフ	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒29ページ
	送付書※ ¹	送付書設定	—	オン オフ	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒33ページ
		送付書コメント	—	1.コメント無し 2.お電話ください 3.至急 4.親展 5. 6.		
		枚数	—	—		
	海外送信モード	—	—	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒30ページ
	設定を保持する※ ²	ファクス画質 原稿濃度 原稿台スキャンサイズ リアルタイム送信 送付書 海外送信モード	—	はい いいえ	変更した設定を保持します。	⇒36ページ
	設定をリセットする※ ²	—	—	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—

全体にかかわる設定

ファクス送信

ファクス受信

転送・リモコン

レポート・リスト

USBダイレクト
プリント

必要
確認
必要なときに
確認してほしいこと

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
ショートカット 登録	—	—	—	送信先 ファクス画質 原稿濃度 両面ファクス 原稿台スキャンサイズ 同報送信 リアルタイム送信 送付書設定 海外送信モード	ファクスに関する設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒199ページ

※ 1：【発信元登録】を設定していないときは無効になります。

※ 2：[セキュリティ機能ロック] または【セキュリティ設定ロック】の設定中は無効になります。

みるだけ受信がオンのとき

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
ファクス 送信	⇒160ページ「【ファクス】 ボタン」を参照してください。					
受信 ファクス	印刷/消去	全て印刷 (新着ファクス)	－	－	受信したファクスを印刷または消去します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
		全て印刷 (既読ファクス)	－	－		
		全て消去 (新着ファクス)	－	はい いいえ		
		全て消去 (既読ファクス)	－	はい いいえ		
電話帳	⇒160ページ「電話帳」を参照してください。					⇒38ページ
履歴	⇒160ページ「履歴」を参照してください。					⇒ユーザーズ ガイド 基本編

【コピー】 ボタン

ホーム画面の【コピー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
モノクロ スタート	—	—	—	モノクロまたはグレースケールでコピーします。	—
カラー スタート	—	—	—	カラーコピーをします。	—
(コピー枚数を選択する)	—	—	—	—	—
(拡大/縮小)	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。				—
(コピー濃度)	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。				—
(トレイ選択)	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。				—
(両面コピー)	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。				—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	レシート	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒174ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒172ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒173ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒173ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒173ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒173ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒173ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒173ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	標準	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒174ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒172ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒173ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒173ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒173ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒173ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒173ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒173ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	2in1 (ID)	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒174ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒172ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒173ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒173ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒173ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒173ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒173ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒173ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	2in1	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒174ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒172ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒173ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒173ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒173ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒173ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒173ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒173ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	片面⇒両面	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒174ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒172ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒173ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒173ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒173ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒173ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒173ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒173ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	両面⇒両面	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒174ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒172ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒173ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒173ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒173ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒173ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒173ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒173ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
【>：簡単コピー】	用紙節約	モノクロ スタート	—	—	—
		カラー スタート	—	—	—
		(コピー枚数を選択する)	—	—	—
		(拡大/縮小)	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。		—
		(コピー濃度)	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。		—
		(トレイ選択)	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。		—
		(両面コピー)	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。		—
		ショートカット登録	⇒174ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		—
		簡単コピー	—	—	—
		設定変更	拡大/縮小	⇒171ページ「拡大/縮小」を参照してください。	—
			コピー濃度	⇒171ページ「コピー濃度」を参照してください。	—
			トレイ選択	⇒172ページ「トレイ選択」を参照してください。	—
			両面コピー	⇒172ページ「両面コピー」を参照してください。	—
			両面レイアウトコピー	⇒172ページ「両面レイアウトコピー」を参照してください。	—
			コピー画質	⇒173ページ「コピー画質」を参照してください。	—
			コントラスト	⇒173ページ「コントラスト」を参照してください。	—
			スタック/ソート	⇒173ページ「スタック/ソート」を参照してください。	—
			レイアウト コピー	⇒173ページ「レイアウトコピー」を参照してください。	—
			カラー調整	⇒173ページ「カラー調整」を参照してください。	—
			地色除去コピー	⇒173ページ「地色除去コピー」を参照してください。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	拡大/縮小 ※1	等倍 100%	－	－	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
		拡大	200% 141% A5 ⇒ A4 115% B5 ⇒ A4	コピーしたいサイズに合わせて 設定します。	
		縮小	97% USレター ⇒ A4 94% A4 ⇒ USレター 91% フルページ 87% A4 ⇒ B5 83% 最大 ⇒ A4 70% A4 ⇒ A5 50%		
		カスタム (25-400%)	<u>100</u> [25-400]		
	コピー濃度	－	-2 -1 0 +1 +2 【レイアウトコピー】で 【2in1 (ID)】を選択し たとき -2 <u>-1</u> 0 +1 +2	コピーの濃度を調整します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	トレイ選択	—	用紙トレイ#1のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1</u> トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを1台 設置したとき) ^{※2} 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 多目的トレイのみ <u>多目的トレイ>トレイ1>トレイ2</u> 多目的トレイ>トレイ2>トレイ1 トレイ1>トレイ2>多目的トレイ トレイ2>トレイ1>多目的トレイ (増設用紙トレイを2台 設置したとき) ^{※3} 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-3</u> 多目的>トレイ3>トレイ2-1 トレイ1>トレイ2-3>多目的 トレイ3>トレイ2-1>多目的 (増設用紙トレイを3台 設置したとき) ^{※4} 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ 用紙トレイ#3のみ 用紙トレイ#4のみ 多目的トレイのみ <u>多目的>トレイ1>トレイ2-4</u> 多目的>トレイ4>トレイ3-1 トレイ1>トレイ2-4>多目的 トレイ4>トレイ3-1>多目的	コピーするときに給紙する用 紙トレイの優先順位を設定し ます。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
		—	オフ 両面⇒両面 片面⇒両面 両面⇒片面	両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を 行い、うら面のコピー方向を 決定します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
		とじ方向	<u>長辺とじ</u> 短辺とじ		
	両面レイアウト コピー ^{※5}	—	<u>長辺とじ⇒長辺とじ</u> 長辺とじ⇒短辺とじ 短辺とじ⇒長辺とじ 短辺とじ⇒短辺とじ	複数の原稿を1枚の用紙に割 り付けて両面コピーします。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
設定変更	コピー画質	—	自動 テキスト 写真 レシート (【レイアウトコピー】 で【2in1(ID)】を選択 したとき) 自動 明るめ	印刷品質に合わせて設定しま す。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
	コントラスト	—	-2 -1 Q +1 +2	コピーのコントラストを調整 します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
	スタック/ソート	—	スタックコピー ソートコピー	複数部コピーするとき、ペー ジごとまたは部数ごとを設定 します。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
	レイアウト コ ピー ※6	—	オフ(1in1) 2in1(縦長) 2in1(横長) 2in1(ID) 4in1(縦長) 4in1(横長)	複数の原稿を1枚の用紙に割 り付けてコピーします。	⇒ユーザーズ ガイド 基本編
	カラー調整	レッド	-2 -1 Q +1 +2	画像の赤色部分の色合いを調 整します。	—
		グリーン	-2 -1 Q +1 +2	画像の緑色部分の色合いを調 整します。	—
		ブルー	-2 -1 Q +1 +2	画像の青色部分の色合いを調 整します。	—
	地色除去コピー	—	オフ 弱 中 強	原稿の地色（用紙色または背 景色）がカラーの場合の地色 を消してコピーできます。 白地でない用紙を使った原稿 をコピーするときに、背景に 色を付けるためにトナーが消 費されるのを防ぎます。	—

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
ショートカット 登録	—	—	拡大/縮小 コピー濃度 トレイ選択 両面コピー 両面レイアウトコピー コピー画質 コントラスト スタック/ソート レイアウト コピー カラー調整 地色除去コピー	コピーの機能をお好みの設定 で、名前を付けて登録してお くことができます。	⇒199ページ

- ※ 1：【レイアウトコピー】で【オフ (1in1)】が選択されているときに選択できます。
- ※ 2：オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL/LT-340CL) を 1 台増設したときにメニューが表示されます。
- ※ 3：オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL/LT-340CL) を 2 台増設したときにメニューが表示されます。
- ※ 4：オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL/LT-340CL) を 3 台増設したときにメニューが表示されます。
- ※ 5：【レイアウトコピー】で【2in1 (ID)】が選択されているときは無効になります。
- ※ 6：【拡大 / 縮小】で【等倍 100%】が選択されているときに選択できます。

【スキャン】 ボタン

ホーム画面の  【スキャン】 を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
USBメモリ	スキャン機能 切り替え	—	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
	(解像度)	⇒183ページ「解像度」を参照してください。				
	(ファイル形式)	⇒183ページ「ファイル形式」を参照してください。				
	(カラー設定)	⇒183ページ「カラー設定」を参照してください。				
	(両面スキャン)	⇒183ページ「両面スキャン」を参照してください。				
	設定変更	⇒183ページ「設定変更 (USBメモリのとき)」を参照してください。				
	ショートカッ ト 登録	—	—	解像度 ファイル形式 カラー設定 両面スキャン 原稿サイズ 明るさ コントラスト ファイル名 ファイル名項目順序 ファイルサイズ ADF傾き補正 白紙除去 白紙除去レベル調整 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことがで きます。	⇒199ページ
	スタート	—	—	—	スキャンを開始し ます。	⇒ユーザーズガイ ドパソコン活用& ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
PC	ファイル	スキャン機能 切り替え	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
		<USB>	(解像度)	⇒185ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒185ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒185ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(両面スキャン)	⇒185ページ「両面スキャン」を参照してください。		
			設定変更	⇒185ページ「設定変更（ファイルのとき）」を参照してください。		
			ショートカット 登録	⇒176ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
		(PC選択)	(解像度)	⇒185ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒185ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒185ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(両面スキャン)	⇒185ページ「両面スキャン」を参照してください。		
			設定変更	⇒185ページ「設定変更（ファイルのとき）」を参照してください。		
			ショートカット 登録	PC名 解像度 ファイル形式 カラー設定 両面スキャン 原稿サイズ スキャン設定 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことが できます。	⇒199ページ
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
PC	OCR	スキャン機能 切り替え	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
		<USB>	(解像度)	⇒187ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒187ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒187ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(両面スキャン)	⇒187ページ「両面スキャン」を参照してください。		
			設定変更	⇒187ページ「設定変更 (OCRのとき)」を参照してください。		
			ショートカット 登録	⇒177ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
		(PC選択)	(解像度)	⇒187ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒187ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒187ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(両面スキャン)	⇒187ページ「両面スキャン」を参照してください。		
			設定変更	⇒187ページ「設定変更 (OCRのとき)」を参照してください。		
			ショートカット 登録	PC名 解像度 ファイル形式 カラー設定 両面スキャン 原稿サイズ スキャン設定 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことが できます。	⇒199ページ
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ	
PC	イメージ	スキャン機能切り替え	－	 【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。			
		<USB>	(解像度)	⇒188ページ「解像度」を参照してください。			
			(ファイル形式)	⇒188ページ「ファイル形式」を参照してください。			
			(カラー設定)	⇒188ページ「カラー設定」を参照してください。			
			(両面スキャン)	⇒188ページ「両面スキャン」を参照してください。			
			設定変更	⇒188ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。			
			ショートカット 登録	⇒178ページ「ショートカット 登録」を参照してください。			
			スタート	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク	
		(PC選択)	(解像度)	⇒188ページ「解像度」を参照してください。			
			(ファイル形式)	⇒188ページ「ファイル形式」を参照してください。			
			(カラー設定)	⇒188ページ「カラー設定」を参照してください。			
			(両面スキャン)	⇒188ページ「両面スキャン」を参照してください。			
			設定変更	⇒188ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。			
			ショートカット 登録	PC名 解像度 ファイル形式 カラー設定 両面スキャン 原稿サイズ スキャン設定 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンの詳細を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒199ページ	
			スタート	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
PC	Eメール添付	スキャン機能切り替え	—	 【スキャン】	を押して表示される画面に戻ります。	
		<USB>	(解像度)	⇒188ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒188ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒188ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(両面スキャン)	⇒188ページ「両面スキャン」を参照してください。		
			設定変更	⇒188ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
			ショートカット 登録	⇒179ページ「ショートカット 登録」を参照してください。		
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク
		(PC選択)	(解像度)	⇒188ページ「解像度」を参照してください。		
			(ファイル形式)	⇒188ページ「ファイル形式」を参照してください。		
			(カラー設定)	⇒188ページ「カラー設定」を参照してください。		
			(両面スキャン)	⇒188ページ「両面スキャン」を参照してください。		
			設定変更	⇒188ページ「設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）」を参照してください。		
			ショートカット 登録	PC名 解像度 ファイル形式 カラー設定 両面スキャン 原稿サイズ スキャン設定 明るさ コントラスト ADF傾き補正 白紙除去 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことが できます。	⇒199ページ
			スタート	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ	
Eメール送信	スキャン機能切り替え	—	—	あて先を入力していないときに、  【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。			
	キャンセル	—	—	あて先を入力しているときに、  【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。			
	手動入力	—	—	スキャンしたファイルの送付先を入力します。(最大255文字)		⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク	
	電話帳		—	スキャンしたファイルの送付先を電話帳から設定します。			
		登録/編集	—				
		(電話帳選択)	OK				
	次へ	送信先一覧	—	—	—	—	
		(解像度)	⇒190ページ「解像度」を参照してください。				
		(ファイル形式)	⇒190ページ「ファイル形式」を参照してください。				
		(カラー設定)	⇒190ページ「カラー設定」を参照してください。				
		(両面スキャン)	⇒190ページ「両面スキャン」を参照してください。				
		設定変更	⇒190ページ「設定変更（Eメール送信のとき）」を参照してください。				
		ショートカット 登録	—	送信先 解像度 ファイル形式 カラー設定 両面スキャン 原稿サイズ 明るさ コントラスト ファイル名 ファイル名項目順序 ファイルサイズ ADF傾き補正 白紙除去 白紙除去レベル調整 地色除去	スキャンの詳細を 名前を付けて登録 しておくことが できます。	⇒199ページ	
		スタート	—	—	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用&ネットワーク	
		送信先一覧	(設定した送信先)	OK	—	—	—
自分宛	—	—	—	—	セキュリティ機能ロック、Active Directory®またはLDAP認証がオンで、メールアドレスが登録されている場合に表示されます。		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
(S)FTPサーバー	スキャン機能切り替え	－	－	 【スキャン】 を押して表示される画面に戻ります。		
	(プロファイル名選択)	(解像度)	⇒193ページ「解像度」を参照してください。			
		(ファイル形式)	⇒193ページ「ファイル形式」を参照してください。			
		(カラー設定)	⇒193ページ「カラー設定」を参照してください。			
		(両面スキャン)	⇒193ページ「両面スキャン」を参照してください。			
		設定変更	⇒193ページ「設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint®のとき）」を参照してください。			
	ショートカット 登録	－	(プロファイル名選択)	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒199ページ	
	スタート	－	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用＆ネットワーク	
ネットワーク	スキャン機能切り替え	－	－	 【スキャン】 を押して表示される画面に戻ります。		
	(プロファイル名選択)	(解像度)	⇒193ページ「解像度」を参照してください。			
		(ファイル形式)	⇒193ページ「ファイル形式」を参照してください。			
		(カラー設定)	⇒193ページ「カラー設定」を参照してください。			
		(両面スキャン)	⇒193ページ「両面スキャン」を参照してください。			
		設定変更	⇒193ページ「設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint®のとき）」を参照してください。			
	ショートカット 登録	－	(プロファイル名選択)	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒199ページ	
	スタート	－	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用＆ネットワーク	
自分のフォルダ	－	－	－	セキュリティ機能ロック、Active Directory®またはLDAP認証がオンで、メールアドレスが登録されている場合に表示されます。		

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
SharePoint	スキャン機能切り替え	－	－	 【スキャン】を押して表示される画面に戻ります。		
	(プロファイル名選択)	(解像度)	⇒193ページ「解像度」を参照してください。			
		(ファイル形式)	⇒193ページ「ファイル形式」を参照してください。			
		(カラー設定)	⇒193ページ「カラー設定」を参照してください。			
		(両面スキャン)	⇒193ページ「両面スキャン」を参照してください。			
		設定変更	⇒193ページ「設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint®のとき）」を参照してください。			
	ショートカット 登録	－	(プロファイル名選択)	プロファイル名の設定を名前を付けて登録しておくことができます。	⇒199ページ	
	スタート	－	－	スキャンを開始します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用＆ネットワーク	
クラウド	－	－	－	スキャンしたファイルをクラウドに保存します。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用＆ネットワーク	
Webサービス※	スキャン機能切り替え	－	－	－	Webサービスプロトコルを使用してデータをスキャンします。	⇒ユーザーズガイドパソコン活用＆ネットワーク
	スキャン	－	－	－		
	電子メール用にスキャン	－	－	－		
	FAX用 to スキャン	－	－	－		
	印刷用にスキャン	－	－	－		

※：Web サービススキャン機能をインストールした場合に表示されます。

設定変更（USBメモリのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー2	サブメニュー3	選択項目	内容
解像度	—	100 dpi 150 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi 自動※ ¹	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※ ¹ PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDF シングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDF シングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDF シングルページ※ ² 高圧縮PDF マルチページ※ ² XPS※ ¹ TIFF シングルページ※ ³ TIFF マルチページ※ ³	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定	—	<u>カラー</u> グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
両面スキャン	—	<u>オフ</u> 長辺とじ原稿 短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
原稿サイズ	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※ ⁴ USレター リーガル フォリオ	スキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ	—	-50 -40 -30 -20 -10 <u>0</u> +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。

サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
コントラスト ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ファイル名 ※5	—	BRXXXXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。 【手動設定】を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。 (最大64文字)
ファイル名項目順序	—	名前_日付_カウンタ 名前_日付 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_名前 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。
ファイルサイズ ※7※8	—	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
ADF傾き補正	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去	—	オン※9 オフ	白紙除去機能を設定します。
白紙除去レベル調整 ※10	—	-5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5	白紙除去機能のレベルを設定します。
地色除去 ※1	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

全体にかかわる設定

ファクス送信

ファクス受信

転送・リモコン

レポート・リスト

USBダイレクト
プリント

必要なときに
確認してほしいこと

サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
設定を保持する ※11	解像度 ファイル形式 カラー設定 両面スキャン 原稿サイズ 明るさ コントラスト ファイルサイズ ADF傾き補正 白紙除去 白紙除去レベル調整 地色除去	はい いいえ	設定を保持するかしないかを設定します。
設定をリセットする ※11	—	はい いいえ	設定をリセットするかしないかを設定します。

※ 1：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。

※ 2：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに選択できます。

※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。

※ 4：【白紙除去】が【オン】に設定されているときは選択できません。

※ 5：【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは選択できません。

※ 6：ウェブブラウザからのみ名前を変更できます。

※ 7：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに選択できます。

※ 8：【ファイル形式】が【高圧縮 PDF シングルページ】または【高圧縮 PDF マルチページ】に設定されているときは選択できません。

※ 9：【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは選択できません。

※ 10：【白紙除去】が【オフ】に設定されているときは選択できません。

※ 11：【セキュリティ機能ロック】または【セキュリティ設定ロック】の設定中は選択できません。

設定変更（ファイルのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
解像度 ※1	—	100 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式 ※1	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※2 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定 ※1	—	<u>カラー</u> グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
両面スキャン	—	<u>オフ</u> 長辺とじ原稿 短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
原稿サイズ ※1	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
スキャン設定 ※4	—	本体から設定する <u>パソコンから設定する</u>	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。
明るさ ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト ※1※2	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ADF傾き補正 ※1	—	自動 <u>オフ</u>	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去 ※1	—	オン <u>オフ</u>	白紙除去機能を設定します。
地色除去 ※1※2	—	<u>オフ</u> 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※ 1：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ選択できます。

※ 2：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。

※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。

※ 4：【設定変更】を押すと【本体から設定する】に変更されます。

設定変更（OCRのとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
解像度 ※1	—	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式 ※1	—	Text HTML RTF	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定 ※1	—	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
両面スキャン	—	オフ 長辺とじ原稿 短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
原稿サイズ ※1	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
スキャン設定 ※2	—	本体から設定する <u>パソコンから設定する</u>	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。
明るさ ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 <u>0</u> +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト ※1※3	—	-50 -40 -30 -20 -10 <u>0</u> +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
ADF傾き補正 ※1	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去 ※1	—	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去 ※1※3	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※ 1：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ選択できます。

※ 2：【設定変更】を押すと【本体から設定する】に変更されます。

※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときは選択できません。

設定変更（イメージ、Eメール添付のとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
解像度 ※1	—	100 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式 ※1	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※2 TIFF シングルページ※3 TIFF マルチページ※3	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定 ※1	—	カラー グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
両面スキャン	—	オフ 長辺とじ原稿 短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
原稿サイズ ※1	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
スキャン設定 ※4	—	本体から設定する <u>パソコンから設定する</u>	スキャンの設定を本体から設定するかパソコンから設定するかを設定します。

サブメニュー 4	サブメニュー 5	選択項目	内容
明るさ ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。
コントラスト ※1※2	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ADF傾き補正 ※1	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去 ※1	—	オン オフ	白紙除去機能を設定します。
地色除去 ※1※2	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

※ 1：【スキャン設定】が【本体から設定する】に設定されているときにのみ選択できます。

※ 2：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。

※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。

※ 4：【設定変更】を押すと【本体から設定する】に変更されます。

設定変更（Eメール送信のとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
解像度	—	100 dpi 150 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi 自動※ ¹	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※ ¹ PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDF シングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDF シングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDF シングルページ※ ² 高圧縮PDF マルチページ※ ² XPS※ ¹ TIFF シングルページ※ ³ TIFF マルチページ※ ³	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定	—	<u>カラー</u> グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
両面スキャン	—	<u>オフ</u> 長辺とじ原稿 短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
原稿サイズ	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※ ⁴ USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ	—	-50 -40 -30 -20 -10 <u>0</u> +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
コントラスト ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ファイル名 ※5	—	BRXXXXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。 【手動設定】を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。 (最大64文字)
ファイル名項目順序	—	名前_日付_カウンタ 名前_日付 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_名前 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。
ファイルサイズ ※7※8	—	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
ADF傾き補正	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去	—	オン※9 オフ	白紙除去機能を設定します。
白紙除去レベル調整 ※10	—	-5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5	白紙除去機能のレベルを設定します。
地色除去 ※1	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
設定を保持する ※11	解像度 ファイル形式 カラー設定 両面スキャン 原稿サイズ 明るさ コントラスト ファイルサイズ ADF傾き補正 白紙除去 白紙除去レベル調整 地色除去	はい いいえ	設定を保持するかしないかを設定します。
設定をリセットする ※11	—	はい いいえ	設定をリセットするかしないかを設定します。

- ※ 1：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。
- ※ 2：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに選択できます。
- ※ 3：【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。
- ※ 4：【白紙除去】が【オン】に設定されているときは選択できません。
- ※ 5：【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは選択できません。
- ※ 6：ウェブブラウザからのみ名前を変更できます。
- ※ 7：【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに選択できます。
- ※ 8：【ファイル形式】が【高圧縮 PDF シングルページ】または【高圧縮 PDF マルチページ】に設定されているときは選択できません。
- ※ 9：【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは選択できません。
- ※ 10：【白紙除去】が【オフ】に設定されているときは選択できません。
- ※ 11：【セキュリティ機能ロック】または【セキュリティ設定ロック】の設定中は選択できません。

設定変更（FTP/SFTPサーバー、ネットワーク、SharePoint®のとき）

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
解像度	—	100 dpi 150 dpi <u>200 dpi</u> 300 dpi 600 dpi 自動※ ¹	スキャンする解像度を設定します。
ファイル形式	—	PDF シングルページ <u>PDF マルチページ</u> JPEG※ ¹ PDF/A シングルページ PDF/A マルチページ パスワード付PDF シングルページ パスワード付PDF マルチページ 電子署名付PDF シングルページ 電子署名付PDF マルチページ 高圧縮PDF シングルページ※ ² 高圧縮PDF マルチページ※ ² XPS※ ¹ TIFF シングルページ※ ³ TIFF マルチページ※ ³	スキャンするファイル形式を設定します。
カラー設定	—	<u>カラー</u> グレー モノクロ	スキャンするときのカラーモードを設定します。
両面スキャン	—	<u>オフ</u> 長辺とじ原稿 短辺とじ原稿	両面原稿のとじ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。
原稿サイズ	—	A4 ハガキ 名刺 A5 B5 A6 2L判 L判 長尺※ ⁴ USレター リーガル フォリオ	原稿台ガラスからスキャンするときの読み取りサイズを設定します。
明るさ	—	-50 -40 -30 -20 -10 <u>0</u> +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときの明るさを設定します。

サブメニュー 3	サブメニュー 4	選択項目	内容
コントラスト ※1	—	-50 -40 -30 -20 -10 0 +10 +20 +30 +40 +50	スキャンするときのコントラストを設定します。
ファイル名 ※5	—	BRXXXXXXXXXXXXXXX Mitsumori※6 Report※6 Cyumon-syo※6 <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。 【手動設定】を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。 (S)FTPサーバー：最大32文字 (ネットワーク、SharePoint®：最大64文字)
ファイル名項目順序	—	名前_日付_カウンタ 名前_日付 名前_カウンタ 日付_名前_カウンタ 日付_名前 日付_カウンタ	保存するファイル名につける項目の順序を設定します。
ファイルサイズ ※7※8	—	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。
ADF傾き補正	—	自動 オフ	ADFからスキャンするときの傾き補正を設定します。
白紙除去	—	オン※9 オフ	白紙除去機能を設定します。
白紙除去レベル調整 ※10	—	-5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5	白紙除去機能のレベルを設定します。
地色除去 ※1	—	オフ 弱 中 強	地色除去機能を設定します。
ユーザー名	—	—	ユーザー名を設定します。

第7章 必要なときに確認してほしいこと

- ※ 1:【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときには選択できません。
- ※ 2:【カラー設定】が【カラー】または【グレー】、かつ【解像度】が【300 dpi】に設定されているときに選択できます。
- ※ 3:【カラー設定】が【モノクロ】に設定されているときに選択できます。
- ※ 4:【白紙除去】が【オン】に設定されているときは選択できません。
- ※ 5:【ファイル名項目順序】が【日付 _ カウンタ】に設定されているときは選択できません。
- ※ 6: ウェブブラウザからのみ名前を変更できます。
- ※ 7:【カラー設定】が【カラー】または【グレー】に設定されているときに選択できます。
- ※ 8:【ファイル形式】が【高圧縮 PDF シングルページ】または【高圧縮 PDF マルチページ】のどれかに設定されているときは選択できません。
- ※ 9:【原稿サイズ】が【長尺】に設定されているときは選択できません。
- ※ 10:【白紙除去】が【オフ】に設定されているときは選択できません。

その他の機能

ホーム画面から以下の設定ができます。

有線LANボタン

ホーム画面の  有線LAN設定ボタンを押して表示される画面で、有線LANの設定ができます。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	内容
TCP/IP※	有線LANのTCP/IPの設定をします。
イーサネット	イーサネットの接続設定をします。
有線LAN状態	有線LANの接続状態を表示します。
MACアドレス	有線LANのMACアドレスを表示します。
初期設定に戻す	有線LANのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
有線LAN有効	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。

Wi-Fi設定ボタン

ホーム画面の  Wi-Fi設定ボタンを押して表示される画面で、無線LANの設定ができます。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	内容
TCP/IP※	無線LANのTCP/IPの設定をします。
無線接続ウィザード	無線LANの機器を検索し、接続を行います。
接続アシスタント	ドライバー / ユーティリティ CD-ROMを使用して無線LAN設定を行います。
WPS	WPS機能を使って自動接続を行います。
WPS(PINコード)※	WPS (PINコード) で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
無線状態※	無線LANの接続状態を表示します。
MACアドレス※	無線LANのMACアドレスを表示します。
初期設定に戻す※	無線LANのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
無線LAN有効※	無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。

※：無線 LAN 接続時に表示されます。

トナーボタン

ホーム画面の  トナーボタンを押して表示される画面で、トナーに関する以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
トナー残量	—	—	トナーの残量を表示します。
テストプリント	—	—	印刷テストを行います。
色補正	色補正実施	—	色補正を行います。
	リセット	—	
色ずれ補正	—	—	各カラーの印刷位置を調整します。



管理者メニュー

ホーム画面の  管理者メニューボタンを押して表示される画面で、以下の設定ができます。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
ホーム画面設定	アイコン	(登録アイコンを選択)	—	左移動 右移動 入れ替え 消去	ホーム画面上のアイコンの移動や削除などの設定をします。
		一括消去	—	—	
		(ショートカットアイコンの追加)	—	ファクス スキャン コピー クラウド お役立ちツール セキュリティ印刷 2 in 1 ID Copy USB 全てのメニュー トレイ設定 受信モード みるだけ受信 Wi-Fi Direct 音量	未登録の【+】を選択して、ショートカットを登録します。
	画面背景色	—	—	ホワイト ブラック	タッチパネルの背景色を変更します。
	タブ	タブ名編集	タブ1	—	タブの名前を変更します。 (最大32文字)
			タブ2		
			タブ3		
			タブ4		
			タブ5		
			タブ6		
			タブ7		
			タブ8		
		メインホーム画面	—	タブ1 タブ2 タブ3 タブ4 タブ5 タブ6 タブ7 タブ8	タブの中からメインホーム画面を設定します。
	ホーム画面設定リセット	—	—	はい いいえ	ホーム画面の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	選択項目	内容
その他画面設定	コピー画面	—	—	レシート 標準 2in1 (ID) 2in1 片面⇒両面 両面⇒両面 用紙節約	コピー画面の初期値を設定します。
	スキャン画面	—	—	スキャン機能一覧 OCR ファイル イメージ USBメモリ Eメール添付 Eメール送信 FTP/SFTPサーバー ネットワーク SharePoint	スキャン画面の初期値を設定します。
制限管理	制限機能	—	—	オフ セキュリティ機能ロック AD認証機能 LDAP認証機能	制限機能の有効/無効を設定します。
	セキュリティ設定 ロック	—	—	オフ オン	セキュリティ設定ロックの オン/オフを設定します。
	セキュリティ設定 ロック 詳細*	—	—	基本設定 ショートカット設定 ファクス プリンター ネットワーク レポート印刷 製品情報 初期設定 サービス 電話帳	セキュリティ設定ロックで 制限する機能を設定します。
ログインパスワード設定	—	—	—	—	管理者設定メニューにログインするパスワードを設定します。(最大32文字)

全体にかかわる設定

ファクス送信

ファクス受信

転送・リモコン

レポート・リスト

USBダイレクト
プリント

必要なときに
確認してほしいこと

+【ショートカット】 ボタン

ホーム画面の +【ショートカット】 ボタンを押して表示される画面で、以下の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
ショートカット登録	コピー	レシート	⇒163ページ「【コピー】ボタン」の選択項目を参照してください。	ショートカットに登録する機能を選択します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		標準			
		2in1 (ID)			
		2in1			
		片面⇒両面			
		両面⇒両面			
		用紙節約			
	ファクス	送信先	⇒160ページ「【ファクス】ボタン」の選択項目を参照してください。	ショートカットに登録する機能を選択します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		ファクス画質			
		原稿濃度			
		両面ファクス			
		原稿台スキャンサイズ			
		同報送信			
		リアルタイム送信			
	スキャン	送付書設定	⇒175ページ「【スキャン】ボタン」の選択項目を参照してください。	ショートカットに登録する機能を選択します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		海外送信モード			
		ファイル			
		OCR			
		イメージ			
		USBメモリ			
		Eメール添付			
	クラウド	Eメール送信	⇒200ページ「【クラウド】ボタン」の選択項目を参照してください。	ショートカットに登録する機能を選択します。	⇒ユーザーズガイド 基本編
		ネットワーク			
		FTP/SFTPサーバー			
		SharePoint			
		－			
		－			
		－			
	お役立ちツール	手書きトリミングスキャン	⇒200ページ「【お役立ちツール】ボタン」の選択項目を参照してください。	ショートカットに登録するお役立ちツールを選択します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
		手書きトリミングコピー			
		折りメモ			

【セキュリティ印刷】 ボタン

ホーム画面の【セキュリティ印刷】 ボタンを押して表示される画面で、セキュリティ印刷を行います。セキュリティ印刷は、パソコンから文書の印刷を指示するとき、パスワードを設定して本製用紙品のメモリーにデータを保存します。印刷するときは、本製品の操作パネルからパスワードを入力することで印刷ができます。機密文書などを印刷するときに活用できます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
セキュリティ印刷	(ユーザー選択)	(印刷ジョブの選択)	4桁のパスワードを入力して、本機に保存したデータを印刷できます。 セキュリティ印刷データが本機に保存されているときに使用できます。

【クラウド】 ボタン

ホーム画面の【クラウド】 ボタンを押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
OneDrive®	ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
Dropbox		
Google Drive™		
EVERNOTE®		
Box		
Facebook		
OneNote®		
FLICKR®		

【お役立ちツール】 ボタン

ホーム画面の【お役立ちツール】 ボタンを押して表示される画面で、スキャンやコピーをよりいっそう便利にするクラウド上のアプリを利用することができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
手書きトリミングスキャン	スキャンやコピーをよりいっそう便利にするクラウド上のアプリを利用することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
手書きトリミングコピー		
折りメモ		

【USB】 ボタン

ホーム画面の【USB】 ボタンを押して表示される画面で、USB メモリーへのスキャンデータの保存と USB メモリーから直接印刷ができます。

メインメニュー	内容	参照ページ
スキャン to USB	スキャンしたデータをUSBメモリーに保存します。	⇒183ページ
USBダイレクトプリント	USBメモリー内のデータを直接印刷します。 ⇒201ページ「【USBダイレクトプリント】」を参照してください。	

【USBダイレクトプリント】

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
(表示されたUSBメモリー内のファイル名を選択)	テンポラリ設定	用紙タイプ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙 光沢紙	用紙タイプを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
		用紙サイズ	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙サイズを設定します。	
		レイアウト	1in1 2in1※ ¹ 4in1※ ¹ 9in1※ ¹ 16in1※ ¹ 25in1※ ¹ 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	Nin1を設定します。	
		印刷の向き※ ²	縦長 横長	印刷方向を設定します。	
		両面印刷※ ¹	オフ 長辺とじ 短辺とじ	両面印刷時のとじ辺と原稿の向きを設定します。	
		部単位	オン オフ	部単位で印刷するかどうかを設定します。	
		トレイ選択	自動 多目的トレイのみ 用紙トレイ#1のみ 用紙トレイ#2のみ※ ³ 用紙トレイ#3のみ※ ⁴ 用紙トレイ#4のみ※ ⁵	USBダイレクトプリントするときに給紙する用紙トレイを設定します。	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
(表示された USBメモリ 内のファイル 名を選択)	テンポラリ設定	プリント画質	標準 きれい	印刷画質を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネット ワーク
		PDF オプション	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定し ます。	
	(印刷枚数の設 定)	—	1~999	印刷枚数を1枚単位で設定 します。	
	モノクロ スタ ート	—	—	モノクロまたはグレース ケールでUSBダイレクト プリントを開始します。	
	カラー スタート	—	—	カラーでUSBダイレクト プリントを開始します。	
インデックス プリント	—	—	—	インデックスシートを印刷 します。	⇒60ページ
デフォルト設定	用紙タイプ	—	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 超厚紙 再生紙 ラベル紙 封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め) ハガキ レターヘッド カラー用紙 光沢紙	用紙タイプを設定します。	⇒61ページ
	用紙サイズ	—	A4 USレター B5(JIS) A5 A5 L(A5 横置き) B6(JIS) A6 Com-10 モナーク C5 DL ハガキ 洋形4号封筒 長形3号封筒 長形4号封筒	用紙サイズを設定します。	
	レイアウト	—	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	Nin1を設定します。	

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
デフォルト設定	印刷の向き	—	縦長 横長	印刷方向を設定します。	⇒61ページ
	部単位	—	オン オフ	部単位を設定します。	
	プリント画質	—	標準 きれい	印刷画質を設定します。	
	PDF オプション	—	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	
	インデックスプリント	—	簡易 詳細	インデックスシート的方式を設定します。	

※ 1 : JPEG 形式時は表示されません。

※ 2 : JPEG 形式時のみ選択することができます。

※ 3 : オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL/LT-340CL) を 1 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 4 : オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL/LT-340CL) を 2 台増設したときにメニューが表示されます。

※ 5 : オプションの増設用紙トレイ (LT-330CL/LT-340CL) を 3 台増設したときにメニューが表示されます。



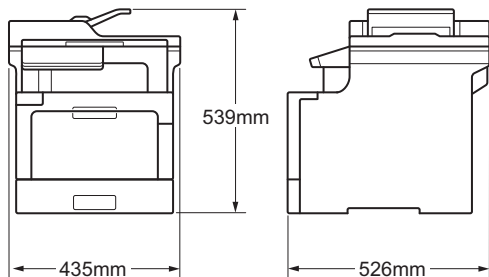
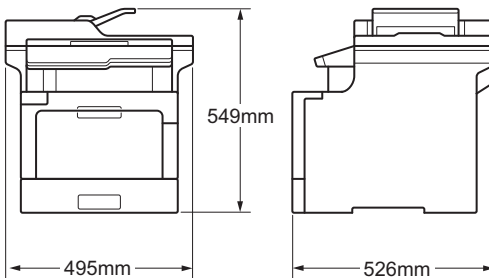
【2 in 1 ID Copy】ボタン

ホーム画面の  【2 in 1 ID Copy】を押して、2in1 (ID) コピーを設定できます。
⇒166ページ「2in1(ID)」を参照してください。

本製品の仕様

基本設定

		MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
プリントタイプ		レーザー	
プリント方式		電子写真方式レーザープリンター	
メモリー容量		512MB	1GB
液晶ディスプレイ		3.7インチ (93.4mm) TFTカラー液晶	7.0インチ (176.1mm) TFTカラー液晶
電源		AC100V (50/60Hz)	
ウォームアップタイム※ ¹		31秒以下 (スリープモードから) 34秒以下 (電源投入から)	
消費電力※ ²	ピーク時	1030W	
	印刷時	550W	
	印刷時 (静音モード)	350W	
	コピー時	530W	
	コピー時 (静音モード)	370W	
	スタンバイ時	75W	
	スリープ時	9.4W	
	ディープスリープ時	1.6W	1.7W
	電源オフ時※ ³ ※ ⁴	0.02W	
エネルギー消費効率※ ⁵		94kWh/年 (区分：複合機 a)	

外形寸法			MFC-L8610CDW	
				
			MFC-L9570CDW	
				
			MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
質量（消耗品を含む）			27.8Kg	29.7Kg
稼動音	音圧レベル	印刷時	LpAm = 49 dB(A)	
		印刷時 （静音モード）	LpAm = 44 dB(A)	
		スタンバイ時	LpAm = 不可聴	
	音響レベル※7	コピー時※6	カラー：LWAd = 6.41B（A） モノクロ：LWAd = 6.40B（A）	
		印刷時 （静音モード）	カラー：LWAd = 6.00B（A） モノクロ：LWAd = 6.00B（A）	
		スタンバイ時※6	LWAd = 不可聴	
温度	操作時	10～32℃		
	保管時	0～40℃		
湿度	操作時	20～80%（結露なきこと）		
	保管時	10～90%（結露なきこと）		
ADF			最大50枚まで	最大80枚まで
			推奨温度：20～30℃	
			推奨湿度：50～70%	
			用紙坪量：64～90g/m ²	

第7章 必要なときに確認してほしいこと

- ※ 1：温度 23℃、湿度 50% で測定した値です。
- ※ 2：本製品とパソコンを USB ケーブルで接続した場合
- ※ 3：IEC 62301 Edition 2.0 による測定値
- ※ 4：消費電力は、使用環境や部品の消耗により、異なる場合があります。
- ※ 5：省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた複合機・ページプリンター別の測定方法による数値
- ※ 6：稼動音（音響レベル）は RAL-UZ171 規格に基づいて、ISO17025 公認機関で測定した値です。
- ※ 7：表示 A 特性音響パワーレベル LWAd が 6.30B(A) を超える機器の場合、事務所とは別室に設置することをお勧めします。

原稿サイズ

両面：ADF使用時	原稿サイズ 幅	105～215.9mm
	原稿サイズ 長さ※	147.3～355.6mm

※：両面読み取りはリーガルサイズまでです。

用紙仕様

			MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
給紙	標準用紙 トレイ	用紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、再生紙、ハガキ、 レターヘッド、カラー用紙	
		用紙サイズ	A4、レター、B5（JIS）、A5、A5（横置き）、B6（JIS）、 A6、ハガキ（同等品）	
		用紙坪量	60～105g/m ² （ハガキ：185g/m ² ）	
		最大給紙枚数	250枚（80g/m ² ） ハガキ：30枚（185g/m ² ）	
	多目的トレイ	用紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、厚紙、超厚紙、再生紙、ラベル紙、 封筒、封筒（薄め）、封筒（厚め）、ハガキ、レターヘッド、 カラー用紙、コート紙/光沢紙	
		用紙サイズ	ユーザー定義サイズ （幅：76.2～215.9mm 長さ：127.0～355.6mm）	
		用紙坪量	60～163g/m ² （ハガキ：185g/m ² ）	
		最大給紙枚数	50枚（80g/m ² ） 封筒：10枚（厚さ10mm以下） ハガキ：10枚（185g/m ² ）	
	増設用紙 トレイ	用紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、再生紙、レターヘッド、カラー用紙	
		用紙サイズ	A4、レター、B5（JIS）、A5、B6（JIS）	
		用紙坪量	60～105g/m ²	
		最大給紙枚数	最大750枚（80g/m ² ） 250枚（LT-330CL）×3	最大1,000枚（80g/m ² ） 250枚（LT-330CL）×3 500枚（LT-340CL）×2 250枚（LT-330CL）+500枚 （LT-340CL）
排紙※ 1	上面排紙トレイ※2		150枚（80g/m ² ） ハガキ：15枚（185g/m ² ）	
両面	自動両面印刷	用紙種類	普通紙、普通紙（厚め）、レターヘッド、カラー用紙、再生紙、 コート紙/光沢紙	
		用紙サイズ	A4	
		用紙坪量	60～105g/m ²	

※ 1：ラベル紙は汚れ防止のため、印刷後排紙トレイからすぐに取り出してください。

※ 2：上面排紙トレイには、印字面が下向きに排紙されます。

ファクス

	MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
互換性	スーパー G3	
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG	
通信速度	33,600bps（自動フォールバック付き）	
受信ファクスの両面印刷	あり	
自動両面送信	なし	あり
ファクス読み取り幅	A4（ADF）：208mm A4（原稿台ガラス）：204mm レター（ADF/原稿台ガラス）：208mm	
受信ファクスの印刷幅	208 mm	
グレースケール	8ビット/256階調	
解像度	203×98dpi（標準） 203×196dpi（ファイン/写真） 203×392dpi（スーパーファイン）	
電話帳	300件	
グループダイヤル	20件	
同報送信	350件	
自動再ダイヤル	3回/5分間隔	
メモリー送信※	500枚	
メモリー代行受信※	500枚	

※：A4判 700字程度の原稿を標準的画質（203 × 98dpi）で蓄積した場合（MMR圧縮時）

コピー

	MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
コピー読み取り幅	A4 (ADF/原稿台ガラス) : 204mm レター (ADF/原稿台ガラス) : 210mm	
自動両面コピー	なし	あり
連続複写枚数	スタック 最大999枚	
複写倍率	25~400%の1%刻み	
コピー解像度	最高1200dpi×600dpi	
ファーストコピー アウトタイム※	スタンバイ時	モノクロ : 16秒以下 カラー : 17秒以下
	スリープ時	モノクロ : 35秒以下 カラー : 35秒以下
階調	256階調	

※ : 用紙トレイから印刷した場合。

スキャナー

	MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
カラー/モノクロ	あり	
TWAINドライバー対応OS	Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 / Windows® 10 macOS v10.10.5、v10.11.x、v10.12※ ¹	
WIAドライバー対応OS	Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 / Windows® 10	
ICAドライバー対応OS	macOS v10.10.5、v10.11.x、v10.12※ ¹	
階調	フルカラー	入力 : 48ビット、出力 : 24ビット
	グレースケール	入力 : 16ビット、出力 : 8ビット
スキャナー解像度	ADF使用時 : 1200×600dpi※ ² 原稿台ガラス使用時 : 1200×2400dpi※ ²	
スキャナー読み取り幅	A4 (ADF/原稿台ガラス) : 204mm レター (ADF/原稿台ガラス) : 210mm	
自動両面スキャン	なし	あり

※ 1 : macOS の最新のドライバーはサポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードすることができます。

※ 2 : WIA ドライバー (Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1 および Windows® 10 対応) では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。
([Scanner Utility] を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。)

プリンター

			MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
自動両面印刷			あり	
エミュレーション			PCL6、BR-Script3（日本語）、PDF Version 1.7、 XPS Version 1.0	
解像度			2400dpi（2400dpi × 600dpi）相当 600dpi × 600dpi	
プリント スピード（A4） ※3	片面	モノクロ	最高31枚/分※1※2	
		カラー	最高31枚/分※1※2	
	両面	モノクロ	最高14枚/分※1※2	
		カラー	最高14枚/分※1※2	
ファーストプリントタイム （レディー時）※4			モノクロ：15秒以下 カラー：15秒以下	

※1：用紙トレイから印刷した場合。

※2：プリントスピードは、印刷する文書やデータにより異なります。

※3：無線 LAN 接続時の場合は、プリントスピードが遅くなることがあります。

※4：用紙トレイ使用時、レディーモードから印刷した場合。

インターフェイス

			MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
USB			Hi-Speed USB 2.0※1 ※2 ※3	
イーサネット※4※5			10Base-T/100Base-TX/1000Base-T ※6	
無線LAN			IEEE802.11b/g/n（インフラストラクチャモード） IEEE802.11g/n（Wi-Fi Direct）	
Wi-Fi Direct®			あり	
NFC※7			なし	あり

※1：2.0m以下のUSBケーブル（タイプA/B）を推奨します。

※2：ご使用のパソコンがHi-Speed USB 2.0に対応している場合。
また、USB 1.1に対応しているパソコンでも接続することができます。

※3：サードパーティー製のUSBポートはサポートしていません。

※4：ネットワークの仕様については、⇒ユーザズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

※5：カテゴリ5e（10Base-T/100Base-TX/1000Base-T用）以上のストレートタイプのツイストペアケーブルをお使いください。

※6：ギガビットイーサネットネットワークに接続する場合は、1000Base-Tに対応したネットワーク機器を使用してください。

※7：外部ICカードリーダーを接続する場合は、HIDクラスドライバー対応デバイスを使用してください。

ネットワーク

		MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW
LAN		本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PCファクス送信機能、PCファクス受信機能（Windows®のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。 また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BRAdmin Light※ ¹ ※ ² も使用できます。	
ネットワークの プロトコル	IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA(Auto IP)、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、POP3※ ³ 、SMTP Client、IPP/IPPS、FTP Client and Server、CIFS Client、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、ICMP、Web Services (Print/Scan)、SNTP Client、LDAP、IMAP4※ ³	
	IPv6	NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、IPP/IPPS、POP3※ ³ 、SMTP Client、FTP Client and Server、CIFS Client、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、ICMPv6、SNTP Client、LDAP、Web Services (Print/Scan)、IMAP4※ ³	
ネットワークの セキュリティ	有線LAN	APOP※ ³ 、SMTP-AUTH、SSL/TLS (IPPS、HTTPS、SMTP、POP3※ ³ 、IMAP4※ ³)、SNMP v3、802.1x (EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS)、Kerberos、IPSec	
	無線LAN	APOP※ ³ 、SMTP-AUTH、SSL/TLS (IPPS、HTTPS、SMTP、POP3※ ³ 、IMAP4※ ³)、SNMP v3、802.1x (LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS)、Kerberos、IPSec	
無線セキュリティ		WEP 64/128 bit、WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (TKIP/AES)※ ⁴	
WPS		あり	

※ 1：サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）からダウンロードしてください（Windows®版のみ）。

※ 2：さらに高度な管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional (Windows®版のみ) をご利用ください。BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）から最新版をダウンロードしてご使用ください。

※ 3：MFC-L8610CDW は、インターネットファクスのダウンロードが必要です。

※ 4：Wi-Fi Direct は WPA2-PSK (AES) のみをサポートしています。

ダイレクトプリント

互換性	PDF version1.7※、JPEG、Exif+JPEG、 PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）、 TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）、XPS version 1.0
インターフェイス	USB

※：一部の JBIG2 イメージファイル、JPEG2000 イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルには対応しておりません。

消耗品

			MFC-L8610CDW	MFC-L9570CDW	型番
トナーカートリッジ	付属品	ブラック	約3,000枚※ ¹	約4,500枚※ ¹	—
		シアン、マゼンタ、イエロー	約1,800枚※ ¹	約4,000枚※ ¹	—
	標準	ブラック	約3,000枚※ ¹		TN-491BK
		シアン、マゼンタ、イエロー	約1,800枚※ ¹		TN-491C、TN-491M、TN-491Y
	大容量	ブラック	約4,500枚※ ¹		TN-493BK
		シアン、マゼンタ、イエロー	約4,000枚※ ¹		TN-493C、TN-493M、TN-493Y
	超大容量	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー	—	約9,000枚※ ¹	TN-499BK、TN-499C、TN-499M、TN-499Y
ドラムユニット			約50,000枚（3枚/ジョブ）※ ² 約30,000枚（1枚/ジョブ）※ ²		DR-491CL
ベルトユニット			約130,000枚（3枚/ジョブ）※ ² 約50,000枚（1枚/ジョブ）※ ²		BU-330CL
廃トナーボックス			約50,000枚※ ² ※ ³		WT-320CL

※¹：印刷可能枚数は JIS X 6932（ISO/IEC 19798）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6932（ISO/IEC 19798）とはカラー電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）

※²：使用環境や用紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

※³：A4 を印刷した場合、印刷内容などによって異なります。

製品のカラー / モノクロ設定

プリンタードライバーでのカラー / モノクロ設定は、以下のように変更できます。

カラー / モノクロ自動切換

文書内にカラー情報がある場合はカラー印刷され、ない場合はモノクロ印刷されます。初期設定は「カラー / モノクロ自動切換」です。

補足

グレーの文字やオフホワイトの背景をカラーとして認識することがあります。カラートナーを節約したい場合は、モノクロモードを設定してください。

カラー

カラー印刷されます。文書がモノクロであってもカラートナーが使用されます。

モノクロ

モノクロ印刷されます。文書がカラーであってもブラクトナーのみを使用します。

補足

カラー印刷中に、シアン、マゼンタ、イエローのいずれかがトナー交換時期になった場合、印刷することができません。ブラクトナーが使用可能な場合、印刷中のジョブを取り消し、モノクロモードに設定することで印刷することができます。

プリンタードライバーの設定方法については、「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。

トナーカートリッジの交換時期

以下の2つの方法でトナーカートリッジの交換時期を検出します。

- 印刷に使用される各色のドット数のカウントによる検出
- 現像ローラーの回転数のカウントによる検出

本製品は、印刷に使用される各色のドット数と、各トナーカートリッジの現像ローラーの回転数をカウントしています。

このいずれかが上限値になると印刷を停止し、画質劣化や製品損傷を防ぎます。

トナーカートリッジの交換時期は、【まもなくトナー交換】、または【トナーを交換してください】のメッセージでお知らせします。

【まもなくトナー交換】は、ドット数、または現像ローラーの回転数が上限値に近づいた場合に表示されます。

【トナーを交換してください】は、ドット数、または現像ローラーの回転数が上限値になった場合に表示されます。

色補正と色ずれ補正

現像ローラーは印刷時だけでなく、色補正、色ずれ補正時も回転します。

● 色補正（色濃度の調整）

安定した印刷画質を保つために色濃度を補正します。

補正が実行された場合、色濃度を補正するためのテストパターンがベルトユニット上に形成されます。

この補正は主に以下の場合に行われます。

- 操作パネルから色補正を実行したとき
（色濃度を改善する必要があるときは、補正を行なってください。）
- 新品のトナーカートリッジに交換したとき
- 温度と湿度が変化したとき
- 印刷枚数が所定の値に達したとき

● 色ずれ補正（色位置の補正）

各色を組み合わせで印刷するため、色ずれ（色位置のずれ）の発生する可能性があります。

補正が実行された場合、色位置を補正するためのテストパターンがベルトユニット上に形成されます。

この補正は主に以下の場合に行われます。

- 操作パネルから色ずれ補正を実行したとき
（色ずれを改善する必要があるときは、補正を行なってください。）
- 印刷枚数が所定の値に達したとき

Wi-Fi®認証について

この製品は、Wi-Fi Alliance®のWi-Fi製品IEEE802.11b/g/n認証を受けています。Wi-Fi Alliance認証プログラムは、IEEE無線標準規格802.11を基準とした他メーカーの無線LAN製品と互換して機能することを保証します。Wi-Fi Allianceと認証製品については、www.wi-fi.orgを参照してください。

簡単無線LAN設定

ご使用の無線LANアクセスポイントがWPS※¹（PBC※²）に対応している場合、1つのボタンを押すだけで無線LAN設定ができます。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

※ 1：Wi-Fi Protected Setup™

※ 2：Push Button Configuration

補足

上記の機能に対応した製品には、以下のマークが表示されています。



停電がおきたときは

停電中は本製品の機能はすべて使用できなくなります。本製品のメモリーに保存されている「各種登録、設定内容」は本製品内蔵のフラッシュメモリーに保存され、停電時も消去されません。

補足

停電復旧時は、日付や時刻などの再設定をしてください。

動作環境

OS		インターフェイス		プロセッサ	必要なディスク容量	
		USB ※ 1	10Base-T/ 100Base-TX/ 1000Base-T (イーサネット)		無線IEEE 802.11 b/g/n	ドライバー
Windows®	Windows® 7 / 8 / 8.1 ※2 ※3	プリント PCファクス※4 スキャン		32ビット (x86)または 64ビット (x64) プロセッサ	650MB	1.2GB
	Windows® 10 Home / 10 Pro / 10 Education / 10 Enterprise ※2 ※3					
	Windows Server® 2008	ー	プリント	64ビット (x64) プロセッサ	50MB	なし
	Windows Server® 2008 R2					
	Windows Server® 2012					
	Windows Server® 2012 R2					
	Windows Server® 2016					
Macintosh	macOS v10.10.5	プリント PCファクス（送信）※4 スキャン		Intel® プロセッサ	80MB	400MB
	macOS v10.11.x					
	macOS v10.12					

※ 1：サードパーティー製の USB ポートはサポートしていません。

※ 2：Nuance™ PaperPort™ 14SE は、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1 および Windows® 10 をサポートしています。

※ 3：WIA ドライバーでは、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。[Scanner Utility] を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。

※ 4：PC ファクスはモノクロモードにのみ対応します。

補足

- 最新のドライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）でご確認ください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

索引

A	
ADF	69
I	
IP ファクス	41
IP フォン	9, 43
ISDN 回線	9, 26
P	
PC ファクス受信	52
PDF オプション	61
PF キット MP 寿命	70
あ	
明るさ	13
暗証番号	53
安心通信モード	43
い	
印刷可能範囲	68
印刷の向き	61
印刷枚数表示	70
インデックスプリント	61
お	
オプション	76
オリジナルコメント	33
か	
海外送信モード	30
外出先から本製品を操作	53
回線種別	9
外線番号	43
画質	35
け	
原稿	69
原稿サイズ	69
原稿濃度	35
原稿の読み取り範囲	69
検索	38
こ	
コード一覧	55
コピー	209
さ	
再ダイヤル	37, 38

し	
時刻	14
自動再ダイヤル	38
自動受信	44
自動的に縮小	50
自動的に受信	44
写真モード	35
受信	44
受信スタンプ	49
手動で受信	44
仕様	204
照明ダウンタイマー	13
初期化	73
シリアル No.	70
親切受信	44, 47
す	
スーパーファインモード	35
スキャナー	209
スピーカー音量	10
スリープモード	11
せ	
静音モード	11
製品情報	70
セキュリティ機能ロック 3.0	16, 17
セキュリティ設定ロック	16, 23
設定内容リスト	57
そ	
操作パネル	61
送信結果レポート	57, 59
増設用紙トレイ LT-330CL (MFC-L8610CDW) / LT-330CL、LT-340CL (MFC-L9570CDW)	76
送付書	33, 34
た	
タイマー送信	30
タイマー送信レポート	57
タイムゾーン	14
ダイヤル回線	47
ダイヤル制限	40
ダイヤルトーン検出	42
ダイヤルボタン	37
ち	
着信音量	10
着信履歴リスト	57
つ	
通信管理レポート	57, 59

全体にかかわる設定

ファクス送信

ファクス受信

転送・リモコン

レポート・リスト

USBダイレクト
プリント

必要
なと
きに
確認
して
ほし
いこ
と

通話後受信	44
通話後にファクスを受信	47
通話後にファクスを送信	27

て

ディープスリープモード	11
データコネクト	41
テストプリント	71
デュアルアクセス	27
転送	51
電話回線	9
電話回線診断	42
電話帳	38
電話帳リスト	57
電話呼び出し	44
電話呼び出し機能	46

と

動作環境	216
同報送信	27
同報送信レポート	57
特別回線対応	42
トナー節約モード	11
ドラム寿命	70
ドラム汚れ印刷（ドラムチェックシート）	57
とりまとめ送信	31

な

ナンバー・ディスプレイ	26
-------------------	----

ね

ネットワーク設定リスト	57
-------------------	----

は

パスワード	24
発信元登録	32, 33

ひ

ヒーター寿命	70
日付	14
表記	6
表示言語	13
標準モード	35

ふ

ファイルリスト印刷	57
ファインモード	35
ファクス	208
ファクス誤送信防止機能	40
ファクス送信待ちの確認・解除	34
ファクス転送	51
フォントリスト	71

部単位	61
プリンター	210
プリンター設定	57
プリント画質	61

ほ

ボタン確認音量&ブザー音量	10
---------------------	----

む

無線 LAN	215
無線 LAN レポート	57

め

メモリー受信	44, 45
メモリー代行受信	44, 45
メモリーに受信したファクスを印刷	45

も

文字入力	63
------------	----

よ

用紙	8, 68
用紙サイズ	61
用紙仕様	207
用紙タイプ	61
呼び出し中受信	44
呼び出し中にファクスを受信	46

り

リアルタイム送信	29
リスト	57
リモート起動番号	48
リモート受信	48
リモート受信の操作	48
リモコン機能	53
リモコンコード	55
両面印刷	49

れ

レイアウト	61
レポート	57